取扱説明書

S51SE

はじめに

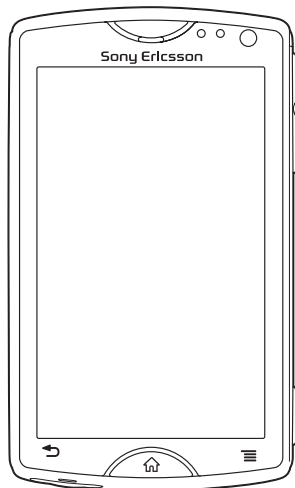
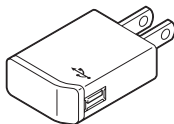
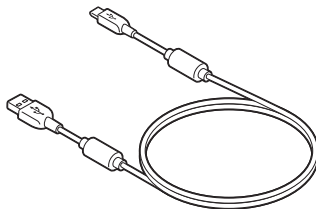
このたびは、携帯電話S51SE（以下、本機）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。またお読みになった後は、いつでも見られるようお手元に大切に保管してください。不明な点がございましたら、お問い合わせ先（P.181）までご連絡ください。

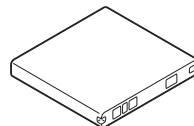
ご利用いただくにあたって

- 本機はイー・モバイルの提供するサービスエリアおよび国際ローミングのサービスエリアにおいてご使用になれます。
  This product can be used in the coverage that EMOBILE offers and the coverage of the international roaming.
- サービスエリア内であっても、屋内や電車の中、トンネル、地下、ビルの陰、山間部など電波の伝わりにくいところでは、通信ができない場合があります。また地域的に電波の伝わりにくい場所もありますので、あらかじめご了承ください。
- 電波状態が一定以上悪くなった場合には、突然通信が途切れることがあります。電波状態が良いところでも通信が途切れることがあります。あらかじめご了承ください。
- 本機は高い秘匿性を有しておりますが、電波を使用している以上、第三者に通信を傍受される可能性がないとはいえません。留意してご利用ください。
- 本機は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受けていただくことがあります。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようにご注意ください。
- EM chip（USIMカード）を取り付けていない状態では一部使用できない機能があります。
- 本書および本書に記載された製品の使用によって発生した損害、およびその回復に要する費用については、当社は一切の責任を負いません。
- 本機の使いかたを誤ったときや静電気、電気的ノイズの影響を受けたとき、また、故障・修理のときや電池交換の方法を誤ったときは登録している情報が消失するおそれがありますが、当社は一切の責任を負いません。
- 本機に登録した情報は必ず別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。

お買い上げ品の確認

お買い上げ品には、本機と付属品が同梱されています。
次の製品がすべて揃っていることをご確認ください。

● S51SE本体（保証書、リアカバー含む）

● ACアダプタ（PCS51SEZ10）（保証書含む）

《ACアダプタ》

《USBケーブル》

● 電池パック（PBS51SEZ10）

● かんたんガイド

● ご利用いただくにあたって

● イヤホンマイク（試供品）

● カラーリアカバー（ダークブルー／ダークピンク）（試供品）

● microSDカード（2GB）※1（試供品）

※1 お買い上げ時には、あらかじめ本機に取り付けられています。
また、microSDカードを取り付けていないと、一部使用できない機能があります。

本書の使いかた

本書では、次の方法で知りたい機能やサービスなどの説明が記載されている箇所を検索できます。

■ 索引を利用する

画面に表示される機能や利用するサービス名から、説明が記載されている箇所を検索できます。

■ 目次から

説明項目のタイトルから、説明が記載されている箇所を検索できます。

本書での表記について

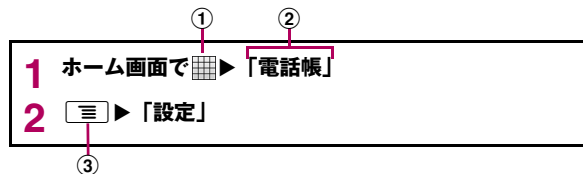
- 本書において「S51SE」は「本機」と表記しています。
- 本書で説明している画面、操作手順などは、お買い上げ時の設定を例に掲載しています。
- 本書内の画面やアイコンはイメージ画像であり、実際の画面とは異なる場合があります。また、予告なく変更することがあります。

本書の説明の見かた

本書では、P.4のように本機の機能やサービスについて説明しています。

■ 操作手順の表記について

本書では、メニュー操作など続けて行う操作手順を簡略化して次のように表記しています。

例：ホーム画面に表示されているアイコンを操作し、アプリケーションやメニュー項目などを続けて選択する操作手順

① 名称表示のないアイコン
② 名称表示のあるアイコンやメニューなどの選択項目
③ 本機のキー

また本書では、キーを1秒以上押し続ける操作を「長押し」と表記しています。

■ 掲載されているキー表示について

本書では、キーを簡略化して説明しています。詳細については、「各部の名称と機能」（P.29）をご参照ください。

■ページ内の記載内容

本項目の説明記載、およびページはサンプルです。本書の実際の記載とは、内容が異なります。

目次

電話帳 67

メール 73

Googleトーク 82

Timescape™ 83

Androidマーケット 87

カレンダー/時計/アラーム 90

アカウントと同期 93

インターネット 95

ミュージックプレーヤー 108

TrackID 113

FMラジオ 114

カメラ ... 116

ギャラリー ... 130

Bluetooth® ... 137

ファイル管理 ... 141

位置情報 ... 147

セキュリティ ... 151

ソフトウェア更新 ... 155

端末設定 ... 157

付録／索引 ... 161

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。お読みになった後は、必要なときにご覧になれるよう大切に保管してください。

■ 以下の注意事項は、ご使用になる方や他の方への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容が記載されていますので、よくお読みの上、必ずお守りください。

■ 本機の故障、誤作動または不具合などにより、通話や通信が困難となり、お客さま、または第三者の方が受けられた損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 絵表示の説明

絵表示とその意味は次のとおりです。内容をご理解の上、本文をお読みください。

⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される、および、物的損害の発生が想定される」内容です。

■ 絵表示の意味

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。	水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。	指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。	電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

1.S51SEの取り扱いについて

⚠危険

分解禁止

分解、改造をしないでください。
なお本機の改造は電波法違反になります。

禁止

強い日光や熱風が直接当たる所、炎天下の車内、暖房器具のそばなど、高温になる所での使用、放置はしないでください。
発熱、発火、機器の変形、変色や故障の原因となります。また、本機が高温になり、やけどの原因となる可能性があります。

禁止

強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。
発熱、発火、破裂、故障、本人や他の人のけがの原因となります。

濡れ手禁止

濡れた手で触らないでください。

水濡れ禁止

浴室などで使用したり、水の中につけたりしないでください。
発熱、発火、感電や故障の原因となります。

水濡れ禁止

コップのそばなど、液体がこぼれるおそれがある場所では使用しないでください。
液体がこぼれて濡れると、感電、発熱、故障の原因となります。

水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠警告

指示

必ず専用の機器をご使用ください。
指定以外の機器を使用すると、発熱、発火、破裂、故障の原因となります。

禁止

車両の運転中に本機を使用しないでください。
交通事故の原因となります。車両を安全な場所に止めてからご使用ください。

禁止

航空機内や病院など、使用を禁止されている場所では使用しないでください。
電子機器や医療機器に影響を及ぼすおそれがあり、事故の原因となります。

指示

歩行中の使用は、注意力が散漫になりやすいので、周囲には十分にご注意ください。

指示

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部位から22cm以上離して携行および使用してください。
電波の影響で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器が誤作動することがあります。

指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、電源を切り、本機の使用を控えてください。
電波の影響で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器が誤作動することがあります。

指示

医療機関の屋内では以下のことを守って使用してください。
- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には本機を持ち込まないでください。
- 病棟内では、電源を切り、本機を使用しないでください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、電源を切り、本機を使用しないでください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- 自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。電波の影響で、電子機器の動作に影響を及ぼすおそれがあります。
- 高精度な電子機器の近くでは電源を切ってください。
  電子機器の動作に影響を及ぼすおそれがあります。
  ※ 影響を受けるおそれがある機器の例：
  心臓ペースメーカー・補聴器・その他医用電気機器・火災報知器・自動ドアなど。心臓ペースメーカーやその他医療用電子機器をお使いの場合は、電波による影響について各機器メーカー、もしくは販売業者にご相談ください。

指示

本機について、次のことをお守りください。
発熱、発火、破裂や感電の原因となります。
- 電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
- ガソリンスタンドなど引火、爆発のおそれがある場所では使用しないでください。
- 本機に無理な力を加えないでください。

禁止

すき間から異物を入れないでください。
万一、異物（金属片・水・液体）が製品の内部に入った場合は、まずACアダプタをコンセントから抜き、本機の電源を切り、電池パックを外し、お問い合わせ先（P.181）までご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。

指示

煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態には、すぐにACアダプタをコンセントから抜き、本機の電源を切り、電池パックを外してください。
また、パソコンとUSBケーブルで接続中に異常状態になった場合は、パソコンから取り外し、本機の電源を切り、電池パックを外してください。
そのまま使用し続けると、発熱、発火の原因となります。
煙が出なくなったことを確認してお問い合わせ先（P.181）までご連絡ください。

落雷のおそれがあるときは、すぐにACアダプタをコンセントから抜き、電源を切ってください。
落雷、感電、発火の原因となります。また屋外の場合は安全な場所へ移動してください。

⚠注意

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
落下して、けがや故障の原因となります。

自動車の電子機器に影響が出る場合は使用しないでください。
安全走行を損なうおそれがあります。

人が密集している場所では、使用しないでください。

禁止

本機を長時間肌にふれたままご使用になると、低温やけどになるおそれがあります。特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。

故障の原因となりますので、ほこりや湿気の少ない場所に保管してください。

指示

皮膚に異常が生じた場合は、ただちに使用を止め、医師の診断を受けてください。
お客さまの体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じる場合があります。
本機は以下に記載の材料の使用や表面処理を施しております。

使用箇所	使用材料	表面処理
外装ケース（フロント）	PC樹脂	UV塗装処理
ハードウェアキー（ホームキー）	PMMA樹脂	-
透明板（ディスプレイ）	強化ガラス＋PET樹脂	ハードコート処理
透明板（受話口）	PMMA樹脂	-
ホームキー周辺部	PMMA樹脂	不連続蒸着＋UV塗装処理
microUSB接続端子カバー	TPU樹脂	-
イヤホンマイク接続端子	PBT樹脂	-
透明板（通知LED）	PC樹脂	-
ハードウェアキー（電源キー/画面ロックキー）	PC樹脂	UV塗装処理
ハードウェアキー（音量キー/ズームキー）	PC樹脂	不連続蒸着＋UV塗装処理
ハードウェアキー（カメラキー）	PC樹脂	不連続蒸着＋UV塗装処理
側面飾りパネル	PC樹脂/ABS	不連続蒸着＋UV塗装処理
透明板（カメラレンズカバー）	PMMA樹脂	AR塗装処理＋AS塗装処理
透明板（フォトライトカバー）	PMMA樹脂	-
外装ケース（リアカバー）	PC樹脂	PU塗装処理（ブラック／ホワイト） UV塗装処理（ダークピンク／ダークブルー）

小児が使用する際には、保護者が本書の内容を教え、また、使用の途中においても、本書どおりに使用しているかどうか注意してください。
間違った使用はけがの原因となる可能性がありますので十分にご注意ください。

指示

3D画像機能については、次のことをお守りください。

- 本機で撮影した3D画像を3D対応モニターでご覧になる場合、長時間見ないようご注意ください。目の疲労、疲れ、気分が悪くなるなどの不快な症状が出ることがあります。
- 3D画像を視聴するときは、定期的に休憩をとることをおすすめします。必要な休憩の長さや頻度は個人によって異なりますので、ご自身でご判断ください。
- 不快な症状が出たときは、回復するまで3D画像の視聴をやめ、必要に応じて医師にご相談ください。本機に接続する機器やソフトウェアの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 小児（特に6歳未満の子）の視覚は発達段階にあります。小児が3D画像を視聴する前に、小児科や眼科などの医師にご相談ください。大人のかたは、小児が上記注意点を守るよう監督してください。

禁止

クレジットカードなどを本機に近づけないでください。
クレジットカードなどの磁気カードデータが消えるおそれがあります。

2. 電池パックの取り扱いについて

■ **電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。**

表示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

⚠危険

指示

電池パック（リチウムイオン電池パック）について、次のことをお守りください。
発熱、発火、破裂や感電の原因となります。

- 本機で使用できる電池パックは付属の電池パックPBS51SEZ10のみです。これ以外の電池パックは使用しないでください。
- 装着するとき、電池パックの向きが決められています。本機にうまく装着できないときは、無理をしないでください。電池パックの向きを確かめてから取り付けてください。
- 充電には、付属のACアダプタPCS51SEZ10以外のものを使用しないでください。また、電池パックは指定機器以外の機器には使用しないでください。
- 直接日光の当たる所や、炎天下の車内、火やストーブのそばなどの高温の場所に放置しないでください。
- 針を刺す、ハンマーでたたく、踏みつけるなどの強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
- 外傷、変形の著しい電池パックは使用しないでください。
- 分解、改造、ハンダ付けをしないでください。
- 水や火の中に投入したり、加熱しないでください。
- 端子をショートさせないでください。金属小物（鍵、アクセサリー、ネックレスなど）と一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
- 電源コンセントや自動車のシガレットライターの差し込み口等に直接接続しないでください。
- ガソリンスタンドなど引火、爆発のおそれがある場所では電源を切ってください。

指示

電池パックからもれた液が眼に入ったときには、きれいな水で洗い、すぐに医師の治療を受けてください。
失明のおそれがあります。

指示

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。

水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠警告

指示

次のことをお守りください。
液もれ、発熱、発火、破裂の原因となります。
- 電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
- 濡れた手で触らないでください。
- コップのそばなど、液体がこぼれるおそれがある場所では使用しないでください。
- 水や海水に浸けたり、雨滴などで濡らさないでください。万一、濡れた場合には、直ちに使用をやめてください。
- 電池パックから液がもれたり異臭がするときには、直ちに使用をやめて火気より遠ざけてください。
- 液もれ、変色、変形など今までと異なることに気がついたときは、使用しないでください。
- 充電時に所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を止めてください。

指示

煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態の場合は、すぐにACアダプタをコンセントから抜き、本機の電源を切り、電池パックを外し、お問い合わせ先（P.181）までご連絡ください。
また、パソコンとUSBケーブルで接続中に異常な状態になった場合は、パソコンから取り外し、本機の電源を切り、電池パックを外し、お問い合わせ先（P.181）までご連絡ください。
そのまま使用し続けると、発熱、発火の原因となります。

⚠注意

指示

充電は必ず周囲温度5℃～35℃の範囲で行ってください。

指示

次のことをお守りください。
- 小児が使用する際には、保護者が本書の内容を教え、また、使用の途中においても、本書どおりに使用しているかどうか注意してください。感電やけがの原因となります。
- 乳幼児の手の届かない所に保管してください。また、使用する際にも、乳幼児が本機から電池パックを取り出さないように注意してください。間違えて飲み込むなど、事故やけがの原因となります。

指示

電池パック内部の液が皮膚や衣類に付着した場合には、すぐにきれいな水で洗い流してください。
皮膚がかぶれたりする原因となることがあります。

指示

電池パックを本機に装着する際に、サビ、異臭・発熱その他異常と思われたときは、電池パックを本機に装着しないでお問い合わせ先（P.181）までご連絡ください。

3. ACアダプタの取り扱いについて

⚠危険

指示

ACアダプタについて、次のことをお守りください。
発熱、発火、破裂や感電の原因となります。
- 分解、改造をしないでください。
- 火のそばや、ストーブのそば、直射日光の強いところや炎天下の車内などの高温の場所で使用、放置しないでください。
- 濡らさないでください。水やペットの尿などの液体が入ると、感電、火災、故障の原因となります。使用場所、取り扱いにご注意ください。

⚠警告

指示

本機で使用できるACアダプタは付属のACアダプタPCS51SEZ10のみです。これ以外のACアダプタは使用しないでください。

指示

このACアダプタはコンセントに直接接続してください。
タコ足配線は過熱し、火災の原因となります。

指示

煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態の場合は、そのまま使用し続けると、発熱、発火の原因となります。
すぐにACアダプタをコンセントから抜き、本機の電源を切り、電池パックを外し、お問い合わせ先（P.181）までご連絡ください。
また、パソコンと接続中に異常状態になった場合は、パソコンから取り外し、本機の電源を切り、電池パックを外し、お問い合わせ先（P.181）までご連絡ください。

禁止

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。それ以外の電圧で使用されますと、火災の原因となります。
ACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。

濡れ手禁止

濡れた手でACアダプタを抜き差ししないでください。
感電のおそれがあります。

水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

指示

次のことをお守りください。
発熱、発火、破裂や感電の原因となります。
- ACアダプタに強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
- ACアダプタに針金などの金属を差し込んだりしないでください。
- USBケーブルを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりするとUSBケーブルを傷め、火災や感電の原因となります。

電源プラグを抜く

落雷のおそれがあるときは、落雷による感電・火災の防止のため、本機の電源を切り、ACアダプタをコンセントから抜いてください。

電源プラグを抜く

使用されないときは、安全のため、ACアダプタをコンセントから抜き、USBケーブルを本機から外しておいてください。

⚠注意

禁止

ACアダプタを抜くときは、USBケーブルを引っ張らないでください。
USBケーブルが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

指示

火災や感電の原因となることがあります。次のことをお守りください。
- 周囲温度5℃～35℃、湿度35%～85%の範囲でご使用ください。
- 直射日光の当たる場所で使用および放置しないでください。
- ほこりの多い場所に置かないでください。
- 落下させたり衝撃を与えないでください。
- USBケーブルの根元部分を無理に曲げないでください。
- 重いものを載せないでください。
- 電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
- 布などでくるまないでください。

指示

小児が使用する際には、保護者が本書の内容を教え、また、使用の途中においても、本書どおりに使用しているかどうか注意してください。
感電やけがの原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない所に保管してください。

4. USBケーブルの取り扱いについて

⚠危険

指示

USBケーブルについて、次のことをお守りください。
発熱、発火や感電の原因となります。
- 分解、改造をしないでください。
- 火のそばや、ストーブのそば、直射日光の強いところや炎天下の車内などの高温の場所で使用、放置しないでください。
- 濡らさないでください。水やペットの尿などの液体が入ると、感電、火災、故障の原因となります。使用場所、取り扱いにご注意ください。

⚠警告

指示

本機で使用できるUSBケーブルは付属のUSBケーブルのみです。これ以外のUSBケーブルは使用しないでください。

指示

次のことをお守りください。
発熱、発火や感電の原因となります。

- 電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に、入れないでください。
- 強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。
- 端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）が触れないようにしてください。また、内部に入れないようにしてください。
- 雷が鳴り出したら、USBケーブルには触れないでください。

⚠注意

指示

小児が使用する際には、保護者が本書の内容を教え、また、使用の途中においても、本書どおりに使用しているかどうか注意してください。
感電やけがの原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない所に保管してください。
間違えて飲み込むなど、事故やけがの原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用や保管はしないでください。
故障の原因となります。

指示

USBケーブルを取り外す場合は、ケーブル部分を引っ張らずプラグ部分を持って抜いてください。
ケーブル部分を引っ張るとケーブル部分が傷つき、感電、火災の原因となります。

禁止

USBケーブルの上に重いものを載せたりしないでください。
感電、火災の原因となります。

禁止

USBケーブルの根元部分を無理に曲げないでください。

5.EM chip（USIMカード）の取り扱いについて

⚠警告

指示

EM chipを本機へ取り付けや取り外す際、手や指を傷つける可能性があります。また、取り付け、取り外しの際には過剰な力を加えますと故障の原因にもなりますのでご注意ください。

水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠注意

禁止

EM chipのIC部分への接触は、データの消失や故障の原因となる可能性があります。
不要なIC 部分への接触は避けてください。

分解禁止

分解や改造はしないでください。
データの消失や故障の原因となります。故障した場合、当社では一切の責任を負いかねます。

禁止

火のそばやストーブのそばなど高温の場所で使用および放置しないでください。
溶解、発熱、発煙やデータの消失、故障の原因となります。

指示

本機を使用中、EM chip自体が温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。

指示

EM chipは当社が指定した機器にてご使用ください。
指定機器以外で使用した場合、データの消失や故障の原因となることがあります。なお、当該要因による不具合が発生した場合、当社では一切の責任を負いかねます。

禁止

落としたり、濡らしたり、曲げたり、衝撃を与えたり、重いものを載せたりすることは、変形、破損、故障の原因となります。

禁止

低温・高温・多湿・ほこりの多いところでの保管は避けてください。
故障の原因となります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理器や高圧となる容器にEM chipを入れないでください。
溶損、発熱、発煙やデータの消失、故障の原因となります。

指示

小児が使用する際には、保護者が本書の内容を教え、また、使用の途中においても、本書どおりに使用しているかどうか注意してください。
感電やけがの原因となります。

指示

小児や乳幼児が誤ってEM chipを飲み込むなどの事故やけがを防止するため、EM chipは、小児や乳幼児の手が届かないところに保管してください。

禁止

その他、本来の用途とかけ離れた方法での使用はデータ消失や故障の原因となりますので、ご注意ください。

6.イヤホンマイクの取り扱いについて

⚠危険

指示

イヤホンマイクについては、次のことをお守りください。
発熱、発火や感電の原因となります。
- 分解、改造をしないでください。
- 火のそばや、ストーブのそば、直射日光の強いところや炎天下の車内などの高温の場所で使用、放置しないでください。

⚠警告

指示

次のことをお守りください。
- 電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に、入れないでください。火災、やけど、けが、感電の原因となります。
- 濡らさないでください。水やペットの尿などの液体が入ると、感電、火災、故障の原因となります。使用場所、取り扱いにご注意ください。

禁止

自動車などを運転中にイヤホンマイクなどを使用しないでください。
事故の原因となります。

禁止

歩行中は、周囲の音が聞こえなくなるほど、イヤホンマイクなどの音量を上げないでください。また、周囲の交通、路面状態には気を付けてください。
事故の原因となります。

⚠注意

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用や保管はしないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

イヤホンマイクなどのコードを持って携帯電話を振り回さないでください。
本人や他の人に当たったり、コードが切れるなどして、けがなどの事故の原因となります。

禁止

イヤホンマイクなどを使用するときは、音量に気を付けてください。
長時間使用して難聴になったり、突然大きな音が出て耳をいためる原因となります。

指示

小児が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。
けがなどの原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。

指示

お客さまの体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

7. リアカバーの取り扱いについて

⚠注意

指示

リアカバーを本機へ取り付け、取り外す際、手や指を傷つける可能性があります。
また、取り付け、取り外しの際には過剰な力を加えますと故障の原因にもなりますのでご注意ください。

指示

リアカバーの角はとがっていますので、取り扱いには十分ご注意ください。また、リアカバー（同梱品含む）を取り外した際は、安全な場所に保管ください。

ご利用上のお願いとご注意

■ 共通

- 本機は防水仕様ではありません。浴室や加湿器のそばといった多湿環境や、雨が降りかかる環境下では使用しないでください。また洗濯機で洗わないでください。
  故障の原因が水濡れであると判明した場合、保証の対象外となります。
- 次のような極端な温度環境での使用は避けてください。
  - 直射日光の当たる場所、暖房設備やボイラーの近くなど、特に温度が上がる場所。
  - 冷蔵倉庫など、特に温度が下がる場所。
- エアコン吹出口の近くなどで使用しないでください。
  温度が急激に変化することにより結露が発生して、故障の原因となります。
- 落としたり強い衝撃を与えたり曲げたりしないでください。
- 落としたり、重い物の下敷きにしたり、変な持ち方をして曲げるなど、無理な力を加えないでください。故障の原因となります。
  この場合、保証の対象外となります。
- 汚れたり水滴が付いたりしたときは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。
  アルコール、ベンジン、シンナーなどの薬品や、科学雑巾、洗剤などを用いると、外装や印刷が変質するおそれがありますので、使用しないでください。
- 湿った衣類のポケットに入れて持ち運ばないでください。
  衣類のポケットにこもる汗などの湿気が故障の原因となります。
- 無理な力がかかるような場所に置かないでください。
- 荷物のつまったカバンに入れるときは、重いものの下にならないようご注意ください。
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れた場所でご使用ください。

■ S51SE

- 使用中に本機が温かくなることがありますが手で触れることのできる温度であれば異常ではありません。そのままお使いください。ただし、長時間触れたまま使用していると低温やけどになるおそれがあります。
- お客さまご自身で本機に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。万が一、登録された情報内容が消失してしまうようなことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ズボンやスカートの後ろポケットなどに本機を入れたまま、椅子などに座らないでください。またカバンの底など無理な力がかかるような場所には入れないでください。
- 本機を直射日光の当たる所に放置しないでください。
  変色を起こす場合があります。
- 画面を強く押さえたり、爪や硬いもの、先のとがったもので操作したりしないでください。
  画面などを傷めることがあります。

- 本機の上に書類などをのせないでください。
  誤って書類などの上から力を加えると、破損の原因となります。
- 突起部のある硬いもの（クリップなど）と一緒に入れたり、バッグの底に入れないでください。
  入れかたや取り扱いかた（誤って、ぶつけたり落とすなど）によっては、破損の原因となります。
- 使用中に、強い磁石を近づけないでください。
  故障の原因となります。
- スマートフォンは最新のソフトウェアやアプリケーションを確認するための通信、データの同期をするための通信など、一部自動的に通信を行う仕様となっています。データを自動で同期することで常に最新のデータを確認したり、より便利にご利用いただくことができますが、自動で通信が行われた場合もデータ通信料が発生します。

■ 電池パック

- 電池パックは消耗品です。使用状態などによっても異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
- 初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。
- 電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。
- 電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 直射日光が当たらず、風通しの良い涼しい場所に保管してください。長時間使用しないときは、使い切った状態で本機から外し、保管してください。
- 電池パックの角はとがっていますので、取り扱いには十分ご注意ください。

■ ACアダプタ

- 充電中、ACアダプタが温かくなることがありますが異常ではありませんので、そのままご使用ください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、プラグを変形させないでください。

■ EM chip

- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お客さまご自身でEM chipに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。万が一、登録された情報内容が消失してしまうようなことがあっても、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- EM chipを本機に取り付けるときや取り外しのときに注意してください。
  必要以上の力をかけると、手や指を傷つけたり、EM chipの破損の原因となります。
- EM chipは当社指定のものを使用してください。
  指定以外のものを使用した場合、データ消失や故障の原因となります。
- 他社のICカードを本機に挿入した場合、お客さまの責任となり、当社は一切の責任を負いません。
- IC部は傷つけたり、ショートさせたりしないでください。
  故障の原因となります。
- 使用中、EM chipが温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。

■ カメラ

- カメラに直射日光が当たらないようにしてください。直射日光が当たる状態で放置すると、素子の退色・焼付けを起こすことがあります。
- 大切な撮影をするときは、必ず試し撮りをして正しく撮影されることを確認してください。

- お客さまが本機を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為等を行う場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。撮影や画像送信を行う際は、プライバシー等にご配慮ください。
- 販売されている書類や撮影の許可されていない文字情報の記録には使用しないでください。

■ microUSB接続端子／イヤホンマイク接続端子

- microUSB接続端子／イヤホンマイク接続端子にゴミやほこり・金属片などの異物を絶対に入れないようにしてください。
  それらが入ると、故障や記録内容の消失の原因となります。

■ 液晶表示

- 液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られておりますが、画素欠けや常時点灯するものがあります。これらはカラー液晶ディスプレイの構造によるもので故障ではありません。あらかじめご了承ください。
- 画面や本機に強い力を加えたとき、画面の一部が一瞬黒ずむことがありますが、故障ではありません。

■ ストラップ

- ストラップホールには、携帯電話用などに販売されている市販のストラップを取り付けることができます。ストラップの種類によっては取り付けられない場合もありますので、店頭で取り付けが可能であることを確認してからご購入ください。なお、ストラップを取り付けた状態でストラップを持って振り回したり、ストラップを強く引っぱるなどストラップホールに強い力が加わる行為は行わないでください。
  故障や破損の原因となります。

■ 公衆の場で使用するとき

- テレビ、ラジオ、携帯電話機など電磁波が発生する物の近くで使用しないでください。お互いに影響を受ける場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。

注意事項

取扱説明書の内容は、予告なく変更されることがあります。取扱説明書では内容の正確さを期するためにあらゆる努力をしておりますが、取扱説明書に記載されているすべての記述、情報、および推奨事項は、明示、黙示を問わず、内容を一切保証するものではありません。
無線機器を正しく安全にご使用いただくために、「安全上のご注意」および「ご利用上のお願いとご注意」「Bluetoothおよび無線LAN使用に関するご注意」をよくお読みください。

Bluetoothおよび無線LAN使用に関するご注意

本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの家庭用電化製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、混信回避のための処置（例えば、パーティションの設置など）を行うか、使用場所を変更してください。

周波数帯域について

本機のBluetoothおよび無線LAN搭載機器が使用している周波数帯は、本機に以下の表記で記載されています。

2.4FH1/DS4/OF4
■■ ■■ ■■

2.4：周波数2400MHz帯を使用する無線装置であることを示します。
FH/DS/OF：変調方式がFH-SS、DS-SS、OFDMであることを示します。
1：想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
4：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
■■ ■■ ■■：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避できることを示しています。

- 利用可能なチャンネルは国により異なります。
- 航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。
- 無線LANを海外で利用する場合、ご利用の国によっては使用場所などが制限される場合があります。その場合は、その国の使用可能周波数、法規制などの条件をご確認の上、ご利用ください。

良好な通信のために

- 他のBluetooth機器とは見通しの良い場所で通信してください。障害物や建物の構造によっては通信距離が短くなる場合があります。
- 電子レンジからの影響を受けやすいので、少なくとも3m以上離れた場所でご使用ください。また、AV機器・OA機器などの電気製品からは2m以上離して通信をしてください。正常に通信できなかったり、テレビ、ラジオなどの受信障害（映像や音声にノイズが発生するなど）の原因になったりする場合があります。
- 他の無線機や、放送局の近くでは正常に通信ができない場合があります。このような場合には通信場所を変更してください。
- 他のBluetooth機器との間に金属物や、鉄筋、コンクリートなどがある場合には電波が届かずに通信できない場合があります。

無線LANに関するお願い

電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります。特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。

無線LANとBluetoothとの干渉について

802.11b/g/nの無線LAN機器と、本機などBluetooth機器は同一の2.4GHz帯を使用するため、近い場所に無線LANのアクセスポイントや端末があり、運用されている場合は、Bluetooth機器との間で電波障害が発生し、通信速度の低下や接続不良になる場合があります。このような場合は、本機を離れた場所でお使いいただくか、または使用していない機器の電源を切るなどにより電波障害による干渉を防ぐようにしてください。

セキュリティに関するご注意

- 本機のBluetooth通信機能には、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティシステムを採用していますが、設定内容によってはセキュリティが十分機能しない場合があります。Bluetoothによる通信を行うときは十分ご注意ください。

- Bluetoothを使用した通信からデータや情報が漏洩したとしても、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線LANアクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合以下のような問題が発生する可能性があります。
  - 通信内容を盗み見られる
    悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、IDやパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報、メールの内容などの通信内容を盗み見られる可能性があります。
  - 不正に進入される
    悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）、特定の人物になりすまして通信し不正な情報を流す（なりすまし）、傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）、コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LANカードや無線LANアクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。
セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客さま自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをおすすめします。

免責事項について

- 火災および地震などの災害、第三者による行為、その他の事故、お客さまの故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本機の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（記録内容の変化・消失、通信などの機会を逃したために生じた損害、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 当社が関与していない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤作動などから生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本機の故障、修理、その他取り扱いによって、撮影した静止画、動画データやダウンロードされたデータなどが変化または消失することがございますが、これらのデータの修復や生じた損害・逸失利益に関して、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 連絡先など、お客さまが登録された内容は、故障や障害の原因にかかわらず保証いたしかねます。登録された内容の変化・消失に伴う損害を最小限にするために、重要な内容はあらかじめメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。

輸出管理規制について

本機及び付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令）の適用を受ける場合があります。本機及び付属品を輸出する場合は、お客さまの責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省へお問い合わせください。

The products and accessories may be subject to the application of the Foreign Exchange and Foreign Trade Act and other related laws and regulations in Japan. In cases of exporting the products and accessories, customers are requested to follow the necessary procedures at their own responsibility and cost. Please contact the Ministry of Economy, Trade and Industry of Japan for details about procedures.

知的財産権について

■ 著作権・肖像権について

お客さまが本機を利用して撮影またはインターネット上のホームページからダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。

実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。

また、お客さまが本機を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

■ 商標について

- microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- 「Bluetooth」は、Bluetooth SIG. Inc.の登録商標であり、ソニー・エリクソンはライセンスに基づいて使用しています。
- 「Wi-Fi®」は、Wi-Fi Alliance®の商標または登録商標です。
- 「Liquid Identity」ロゴ、「PlayNow」「Timescape」および「TrackID」は、Sony Ericsson Mobile Communications ABの商標または登録商標です。
- 「APP NAVI」はソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズ株式会社の登録商標です。
- 「TrackID」では、Gracenote Mobile MusicIDの技術を使用しています。
  「Gracenote」および「Gracenote Mobile MusicID」は、Gracenote, Inc.の商標または登録商標です。
- 「Media Go」は、Sony Electronics Inc.の商標または登録商標です。
- 「BRAVIA」「ブラビア」「POBox」「Sony」は、ソニー株式会社の商標または登録商標です。
- 「POBox」は株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所とソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズ株式会社が共同開発した技術です。
- “xLOUD”はソニー株式会社の商標です。
- 「3GPP」はETSIの商標または登録商標です。
- Pocket WiFiは、イー・アクセス株式会社の商標です。
- Google、Googleロゴ、Android、Androidロゴ、Androidマーケット、Androidマーケットロゴ、Gmail、Googleマップ、Googleトーク、YouTubeおよびYouTubeロゴ、Picasaは、Google Inc.の商標または登録商標です。
- 「Facebook」は、Facebook, Inc.の商標または登録商標です。
- 「Twitter」はTwitter, Incの商標または登録商標です。

- 「Ericsson」は、Telefonaktiebolaget LMEricssonの商標または登録商標です。
- mixi、mixiロゴは、株式会社ミクシィの登録商標です。
- DLNA is a trademark or registered trademark of the Digital Living Network Alliance.

- 「Microsoft」「Windows」「Outlook」「Windows Vista」「Windows Server」「Explorer」「Windows Media」と「Exchange」および「ActiveSync」は、米国またはその他の国（あるいはその両方）におけるMicrosoft Corporationの商標または登録商標です。
- 本製品は、Microsoftの知的所有権によって保護されています。本製品の技術を、Microsoftのライセンス許可を受けずに使用または配布することは禁止されています。
- 本製品はAdobe Systems IncorporatedのAdobe® Flash® Playerテクノロジーを搭載しています。
  Adobe Flash Player Copyright© 1996-2011 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
  Adobe、Flash、およびFlashロゴはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- 本製品は、MPEG-4ビジュアルおよびAVC特許ポートフォリオライセンスのもとで、消費者が商業目的以外で個人的に使用するために提供されており、次の用途に限定されます。（i）MPEG-4ビジュアル標準（以下「MPEG-4ビデオ」）またはAVC規格（以下「AVCビデオ」）に準拠したビデオのエンコード、および/または（ii）商業目的以外の個人的な活動に従事している消費者によってエンコードされたMPEG-4またはAVCビデオのデコード、および／または、MPEG-4またはAVCビデオの提供をMPEG LAによってライセンス許可されているビデオプロバイダから入手したMPEG-4またはAVCビデオのデコード。その他の用途に対するライセンスは許諾されず、黙示的に許可されることもありません。販売促進目的、内部目的および商業目的の使用およびライセンス許可に関する追加情報は、MPEG LA, L.L.Cより入手できます（"http://www.mpegla.com"を参照）。MPEGレイヤー3オーディオデコード技術は、Fraunhofer IIS and Thomsonによってライセンス許可されます。
- Java、JavaScriptおよびJavaベースの商標およびロゴは、米国およびその他の国におけるSun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。
- Sun Java Platform, Micro Editionのエンドユーザーライセンス契約書。
  1. 制限事項:本ソフトウェアはSunが著作権を有する機密情報であり、すべてのソフトウェアの所有権はSunおよび／またはそのライセンサーが保有します。お客様は、本ソフトウェアに対する変更、逆コンパイル、逆アセンブル、複合化、抽出またはその他のリバースエンジニアリングは許可されていません。ソフトウェアの一部または全てに対してリース、割り当て、サブライセンスを適用することはできません。
- その他、本書に記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。
- 本書に明示されていないすべての権利は、その所有者に帰属します。

ご利用の準備

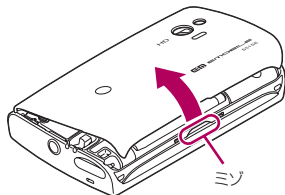
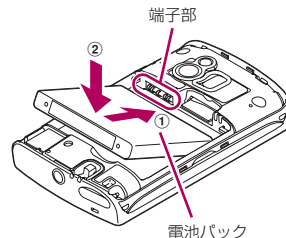
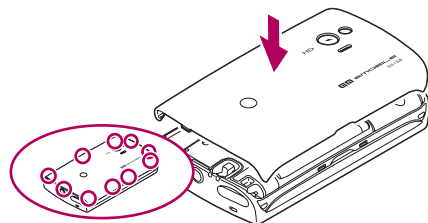
ご使用前の準備

電池パックを取り付ける／取り外す

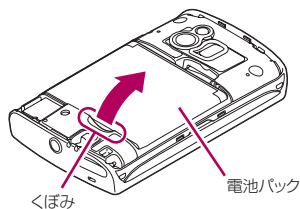
電池パックの取り付け／取り外しは、必ず電源を切ってから行ってください。

■ 電池パックを取り付ける

1 リアカバー側面のミゾに指（爪など）をかけ、リアカバーを矢印の方向へ持ち上げて取り外す

- 本機の部品を傷つけるような尖った物は使わないでください。
- リアカバーを取り外すときは、けがをしないように本機をしっかりと持って取り外してください。

2 本機と電池パックの端子部を合わせ（①）、電池パックを②の矢印の方向へ差し込む

3 リアカバーの向きを確認して、本機に合わせるように装着し、ツメ部分を1つずつしっかりと押して閉じる

■電池パックを取り外す

1 リアカバーを取り外し、本機のくぼみに指先（爪）をかけ、電池パックを矢印の方向に持ち上げて取り外す

- リアカバーを取り外すときは、けがをしないように本機をしっかりと持って取り外してください。

2 リアカバーの向きを確認して、本機に合わせるように装着し、ツメ部分を1つずつしっかりと押して閉じる

EM chipのお取り扱い

EM chipは、お客さまの電話番号や情報などが記録されたICカードです。EM chip対応のイー・モバイル携帯電話または機器に取り付けて使用します。

EM chipが取り付けられていないときは、日本国内における電話の発着信など3Gネットワークによる通信機能が利用できません。

- 他社製品のICカードリーダーなどにEM chipを挿入して故障したときは、お客さまご自身の責任となり、当社では責任を負いかねますのであらかじめご注意ください。
- IC部分は、いつもきれいな状態でご使用ください。
- IC部分を破損したり、ショートさせたりしないでください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布などで拭いてください。
- EM chipにラベルやシールなどを貼り付けないでください。故障の原因となります。
- EM chipの詳しい取り扱いにつきましては、EM chipの台紙に記載されている取扱説明をご参照ください。

■その他の注意事項

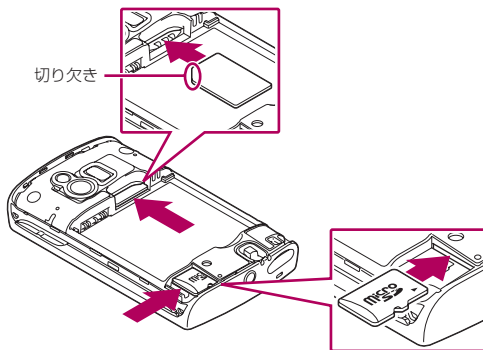
- EM chipは、当社が指定するネットワーク以外では使用できません。
- EM chipの所有権は当社に帰属します。
- 紛失、盗難時などEM chipの再発行は有償となります。また解約時は当社にご返却ください。
- EM chipの仕様、性能は予告なしに変更となる場合があります。
- お客さま自身でEM chipに登録された情報内容などは、メモなどに控えておいてください。万が一、登録された内容が消失した場合、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- EM chipやEM chip装着済み本機を紛失・盗難された場合には、必ず緊急利用停止の手続きを行ってください。緊急利用停止の手続きについては、お問い合わせ先（P.181）までご連絡ください。

EM chipとmicroSDカードを取り付ける／取り外す

EM chip、microSDカードの取り付け／取り外しは、必ず電源を切ってから行ってください。

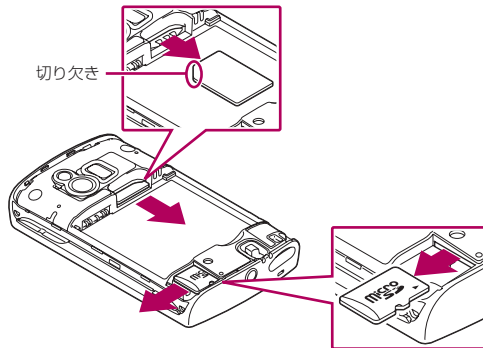
■ EM chipとmicroSDカードを取り付ける

1 **電池パックを取り外し、EM chipを、金属面を下にして切り欠きの向きに注意し矢印の方向に差し込む**

2 **microSDカードを、金属面を下にして挿入方向を確認し、矢印の方向に奥までまっすぐ差し込む**

■ EM chipとmicroSDカードを取り外す

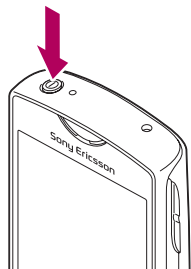
- microSDカードを安全に取り外すには、事前に本機の電源を切っておくか、マウント解除しておく必要があります。詳細については、「microSDカードを安全に取り外す」（P.55）をご参照ください。
- EM chipとmicroSDカードを取り扱うときは、金属（IC）部分に触れたり、傷つけないようにご注意ください。故障や破損の原因となります。

1 **リアカバーと電池パックを取り外し、EM chipを指の先で押さえながら、手前にすべらせるように取り出す**

2 **microSDカードに指をかけて手前に引き出し、取り外す**

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 **ⓘを長押し**

画面ロック解除画面が表示されます。

2 **画面ロックを解除**

- 画面ロックの解除方法については、「画面ロックを解除する」（P.26）をご参照ください。

❖お知らせ

- 初めて電源を入れたときは「セットアップガイド」（P.27）が表示されます。
- PINコードや画面ロックの解除セキュリティを設定している場合は、電源を入れるとPINコード入力画面／画面ロック解除画面が表示されますので、PINコード／画面ロック解除コードを入力して、「OK」をタップします。PINコード／画面ロック解除コードの入力ミスを訂正するには、⌫をタップします。PINコードや画面ロックの解除セキュリティ設定は後で変更することもできます（P.152）。

電源を切る

1 **ⓘを長押し**

携帯電話オプションメニューが表示されます。

2 **「電源を切る」**

3 **「OK」**

画面ロック

画面ロックを設定すると、画面のバックライトが消灯し、キーやタッチスクリーンの誤動作を防止できます。

- 本機では、設定した時間が経過すると、自動的に画面のバックライトが消灯して画面ロックがかかります。

■画面を起動する

1 **ⓘ／⌂を押す**

■画面ロックを解除する

1 **🔒を🔓までドラッグ**

《画面ロック画面》

- 画面ロックの解除セキュリティ（P.152）を設定している場合は、設定した「パターン」／「PIN」／「パスワード」を入力してください。

■画面ロックを設定する

1 画面表示中に⓪

❖お知らせ

- バックライトが消灯するまでの時間は変更できます（P.53）。

セットアップガイド

お買い上げ後、本機にEM chipが取り付けられた状態で初めて電源を入れたときは、使用する言語や、ワイヤレスネットワーク、オンラインサービスなどを設定するセットアップガイドが表示されます。
必要に応じて後から設定・変更することもできます。
後から設定する場合は、「セットアップガイド」を起動して、表示されるメニューから設定してください。

■初期設定

画面の指示に従って初期設定を行います。

1 ⓪を長押し

言語を選択する画面が表示されます。

2 「日本語」▶「完了」

「ようこそ」画面が表示され、機能の使いかたと初期設定を行うことができます。

3 ➡をタップ

インターネット接続画面が表示されます。

4 接続の方法を選択▶➡をタップ

ワイヤレスネットワーク画面が表示されます。必要に応じて「ネットワークの検索」をタップし、Wi-Fi設定を行います。

5 ➡をタップ

オンラインサービス画面が表示されます。「Googleアカウントを同期する」（P.93）「Facebookアカウントを同期する」（P.94）「Exchange ActiveSyncを同期する」（P.94）の設定を行います。

6 必要なオンラインサービスをタップ▶画面の指示に従って設定▶➡をタップ

自動更新画面が表示されます。

7 更新方法を選択▶➡をタップ

セットアップが完了します。

8 「完了」

ホーム画面が表示されます。

■セットアップガイドを起動する

1 ホーム画面で▦▶「セットアップガイド」

アカウントとサービス

本機からオンラインのサービスアカウントにログインし、さまざまなサービスを利用することができます。サービスを組み合わせることで多彩な使いかたができます。例えば、GoogleやFacebookのアカウントの電話帳と本機の電話帳を同期させることができ、すべての情報を一ヶ所で管理することができます。
オンラインサービスにはパソコンからもログインできます。初めてアクセスしたときにお客さまのユーザー名、パスワード、設定、その他の個人情報などを入力し、アカウントを作成します。

Googleアカウント

Googleアカウントを本機に設定することで、Gmail、Googleトーク、Googleカレンダー、AndroidマーケットなどのGoogleサービスを利用できます。
Googleアカウントの設定方法については、「Googleアカウントを設定する」（P.93）をご参照ください。

Exchange ActiveSyncアカウント

Exchange ActiveSyncアカウントを同期させます。Eメール、電話帳、カレンダーの予定を好きなときにチェックできます。
Exchange ActiveSyncアカウントの設定方法については、「Exchange ActiveSyncを設定する」（P.94）をご参照ください。

Facebookアカウント

Facebookのアカウントを同期させます。オンラインサービス上の「友達」が公開しているプロフィール情報を連絡先に同期したり、「友達」がFaceookにアップしている画像をギャラリーに表示したりできます。
Facebookアカウントの設定方法については、「Facebookを設定する」（P.94）をご参照ください。

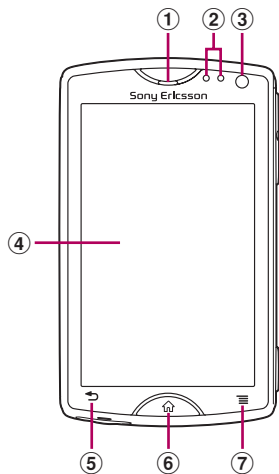
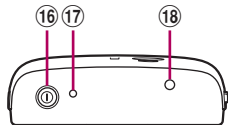
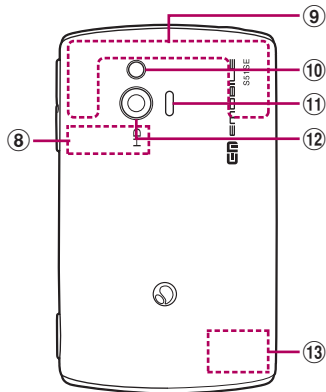
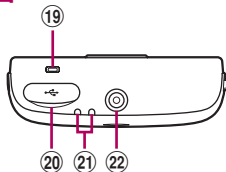
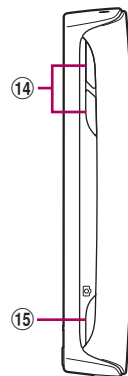
基本操作

各部の名称と機能

■ 前面

■ 背面

■ 側面

■ 上側面

■ 下側面

① **受話口**
② **近接センサー**：タッチスクリーンのオンとオフを切り替えて、通話中の誤動作を防止します。
③ **ライトセンサー**：画面の明るさの自動調整に使用されます。
④ **タッチスクリーン**
⑤ **バックキー**：［↩］（1つ前の画面に戻ります。）
⑥ **ホームキー**：［⌂］（ホーム画面を表示します。）
⑦ **メニューキー**：［≡］（操作状況に応じたメニューを表示します。）
⑧ **GPSアンテナ部**
⑨ **内蔵アンテナ部**
⑩ **フラッシュ／フォトライト**
⑪ **スピーカー**
⑫ **カメラレンズ**
⑬ **Wi-Fi／Bluetooth®アンテナ部**
⑭ **音量キー／ズームキー**：
⑮ **カメラキー**
⑯ **電源キー／画面ロックキー**：
⑰ **通知LED**：電源状態、メールの受信通知、着信通知を示します。
⑱ **セカンドマイク**：通話相手が聞き取りやすいようにノイズを抑制します。
⑲ **送話口（マイク）**
⑳ **microUSB接続端子**
㉑ **ストラップホール**
㉒ **イヤホンマイク接続端子**

充電する

お買い上げ時は、本機の電池パックは十分に充電されていません。

■電池パックをご利用になる前に

初めてお使いになるときや、長時間お使いにならなかったときは、必ず充電してからお使いください。

- 充電時間、待受時間、通話時間などの目安は、「主な仕様」（P.161）をご参照ください。
- 電池パック単体では充電できません。本機に電池パックを取り付けた状態で充電してください。
- 電池パックや本機、ACアダプタ、USBケーブルの金属部分（充電端子）が汚れると、接触が悪くなり、電源が切れたり、充電できないことがありますので、乾いた綿棒などで拭いてください。
- 電池パックの使用時間は、充電／放電の繰り返しにより徐々に短くなります。正しい手順で電池パックを充電しても使用時間が短い場合は、新しい電池パックに交換してください。

■ACアダプタを使って充電する

1 **microUSB接続端子のキャップを開く**

2 **USBケーブルのmicroUSBプラグを本機のmicroUSB接続端子に水平に差し込む**

3 **USBケーブルのUSBプラグをACアダプタのUSB接続端子に水平に差し込み、ACアダプタのプラグを電源コンセントに差し込む**

4 **充電が終わったら、ACアダプタを電源コンセントから取り外し、USBケーブルを本機とACアダプタから取り外す**

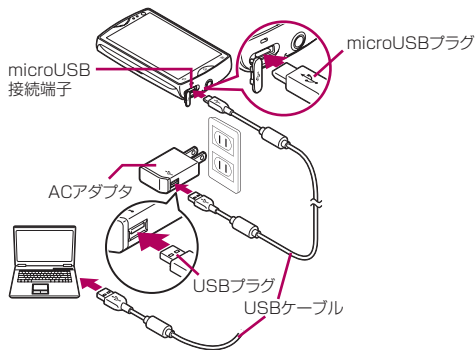
■パソコンを使って充電する

1 **microUSB接続端子のキャップを開く**

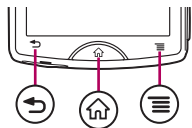
2 **USBケーブルのmicroUSBプラグを本機のmicroUSB接続端子に水平に差し込む**

3 **USBケーブルのUSBプラグをパソコンのUSBポートに水平に差し込む**

- 本機に「PC Companionソフトウェア」画面（P.144）が表示された場合は、「スキップ」をタップします。この画面を表示しないようにするには、「今後表示しない」にチェックを入れます。
- パソコン上に新しいハードウェアの検索などの画面が表示されたら「キャンセル」を選択してください。

4 **充電が終わったら、USBケーブルを本機とパソコンのUSBポートから取り外す**

❖お知らせ

- 本機のmicroUSB接続端子に充電などのためUSBケーブル接続を行った場合は、操作はできませんが電源はオンになります。このため、航空機内や病院など、使用を禁止された区域ではUSBケーブル接続を行わないようご注意ください。
- ACアダプタやUSBケーブルのプラグは無理な力が入らないように水平に抜き差ししてください。破損や故障の原因となります。
- 接続方向をよくご確認のうえ、正しく接続してください。無理に接続すると破損の原因となります。

キー操作の基本

タッチスクリーン下の[↩]、[⌂]、[≡]の各ハードウェアキーの主な操作は次のとおりです。

キー	説明
[↩] バック	1つ前の画面に戻ります。また、ダイアログ、メニュー、通知パネル、ソフトウェアキーボードなどを閉じます。
[⌂] ホーム	ホーム画面を表示します。長押しすると、最近使用したアプリケーションのウィンドウを開きます。
[≡] メニュー	現在の画面またはアプリケーションで実行できるメニューを表示します。文字入力時にロングタッチすると、ソフトウェアキーボードを表示／非表示できます。ホーム画面でロングタッチしてソフトウェアキーボードを表示させ、いずれかのキーをタップすると、Google検索が起動します。

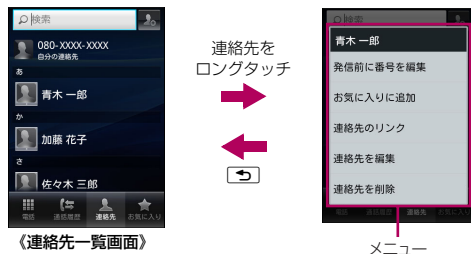
アプリケーションメニュー

画面のメニューを表示する方法は、メニューキー（[≡]）をタップして表示する方法と、入力欄や項目をロングタッチして表示する方法の2種類があります。
使用しているアプリケーションや画面によって、表示されるメニューは異なります。

■アプリケーションメニューを開く

1 **アプリケーションの使用中に[≡]／項目をロングタッチ**

例：連絡先一覧画面で[≡]をタップする場合

例：連絡先一覧画面で連絡先をロングタッチする場合

❖お知らせ

- メニューが使用できないアプリケーションもあります。

タッチスクリーンの使いかた

タッチスクリーン上の操作

本機のディスプレイはタッチスクリーンになっており、指で直接触れて操作します。
静電気を使って指の動作を感知することでタッチスクリーンを操作する仕様となっています。

■ タッチスクリーン利用上のご注意

- タッチスクリーンは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先が尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けないでください。
- 次の場合はタッチスクリーンに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - 手袋をしたままでの操作
  - 爪の先での操作
  - 異物を操作面に乗せたままでの操作
  - 保護シートやシールなどを貼っての操作

■ タップ／ダブルタップ

アイコンやメニューなどの項目に指で軽く触れ、すぐに離します。

- 2回連続で同じ位置をすばやくタップする操作を、ダブルタップと呼びます。

■ ロングタッチ

アイコンやメニューなどの項目に指を触れた状態を保ちます。

■ スライド

画面内で表示しきれないときなど、画面に軽く触れたまま、目的の方向へなぞります。

■ ドラッグ

項目やアイコンを移動するときなど、画面に軽く触れ、本機が振動したら、触れたまま目的の位置までなぞり、指を離します。

■ フリック

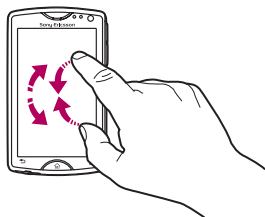
画面を指ですばやく上下左右にはらうように操作します。
画面を切り替えたりスクロールしたりします。

■ スクロール

- 画面でスクロールする方向に指をドラッグ／フリックします。
- すばやくスクロールするには、画面上の進みたい方向に指でフリックします。スクロールが自然に停止するまで待ちます。または、画面をタップするとすぐにスクロールが停止します。

■ ピンチ

2本の指で画面に触れたまま指を開いたり（ピンチアウト）、閉じたり（ピンチイン）します。

- 一部の画面では、ピンチアウトすると表示を拡大、ピンチインすると表示を縮小します。

❖お知らせ

- 表示の拡大／縮小は、ダブルタップやズームコントロールアイコン（ ／ ）をタップしても変更することができます。ズームコントロールアイコンは、好きな方向に画面をドラッグすると表示される場合があります。
- 写真や地図を表示したり、ウェブサイトを閲覧する際、ズーム機能を使用します。

■ アプリケーションを開く／項目を選択する

1 **アプリケーション／項目をタップ**

■ 項目にチェックを入れる／チェックを外す

チェックボックスまたはラジオボタンにチェックマークを入れたり、チェックマークを外すことにより、項目のオン／オフを切り替えることができます。

- 項目のオン／オフを切り替えるには、チェックボックスまたはラジオボタンをタップします。

■ チェックボックス

状態	チェックボックス
チェック入	
チェック切	

■ ラジオボタン

状態	ラジオボタン
チェック入	
チェック切	

ホーム画面

ホーム画面は本機操作上のスタート画面です。ホーム画面はアプリケーションのショートカットやウィジェットを追加・移動したり、壁紙を変えるなどカスタマイズできます。ホーム画面の4つのコーナーから、アプリケーションやウェブページのショートカットにすばやくアクセスできます。ホーム画面は左右2画面ずつ拡張が可能です。

■ホーム画面の見かた

《ホーム画面》

※実際の画面とは異なる場合があります。

① **ショートカット(コーナー)**
　アプリケーションを起動します。

② **ウィジェット**
　ウィジェットの起動や操作を行います。

③ **ホーム画面位置(P.35)**

④ **ステータスバー(P.43)**

⑤ **アプリケーションアイコン**
　タップするとアプリケーション画面が表示されます。

■ホーム画面を表示する

1 **[ホーム]を押す**

■ホーム画面を切り替える

1 **ホーム画面を左右にスライド／フリック**

隣り合ったホーム画面に移動します。

- ホーム画面上部に表示される[ホーム画面位置]で、現在表示しているホーム画面の位置を確認できます。

ウィジェット

ウィジェットは、ホーム画面からダイレクトに使用できるアプリケーションです。例えば、ミュージックプレーヤーウィジェットは、直接音楽の再生ができ、Sony Ericsson Timescapeウィジェットはメッセージの着信を表示します。

■ウィジェットをホーム画面に追加する

1 **ホーム画面で[メニュー]▶「追加」**

2 **「ウィジェット」**

3 **追加するウィジェットを選択**

■ホーム画面のウィジェットを一覧表示する

1 **ホーム画面でピンチイン**

ホーム画面に追加しているウィジェットの一覧が表示されます。

❖お知らせ

- ウィジェットを一覧表示し、任意のウィジェットをタップすると、そのウィジェットが含まれるホーム画面を表示できます。

ホーム画面を変更する

ホーム画面をカスタマイズし、そこから起動できる機能を変更します。ショートカットの追加、フォルダの作成、アイコンの移動などの操作を行うことができます。

■ホーム画面でメニューを開く

ホーム画面のメニューは、次の2つの方法で開くことができます。

- ホーム画面で[≡]▶「追加」
- ホーム画面の任意の場所をロングタッチ

■ホーム画面にショートカットを追加する

1 ホーム画面で[≡]▶「追加」

2 「ショートカット」

3 追加するショートカットを選択

❖お知らせ

- アプリケーションのショートカットの場合、ホーム画面で[▦]▶アプリケーションをホーム画面が表示されるまでロングタッチ▶ショートカットを置く場所までドラッグしても追加できます。

■ホーム画面にフォルダを作成する

1 ホーム画面で[≡]▶「追加」

2 「フォルダ」

3 フォルダの名前を入力▶「完了」

❖お知らせ

- ホーム画面でアイコンが拡大するまでロングタッチ▶別のアイコンの上にドラッグしても、フォルダを作成できます。

■フォルダに項目を追加する

1 ホーム画面でアイコンをロングタッチ

本機が振動し、アイコンが拡大します。

2 そのままフォルダの上までドラッグ

■フォルダの名前を変更する

1 フォルダをタップ

2 フォルダのタイトルバーをタップ

3 フォルダの名前を入力▶「完了」

■ホーム画面のアイコンを移動する

1 ホーム画面で移動するアイコンをロングタッチ

本機が振動し、アイコンが拡大します。

2 アイコンを新しい場所にドラッグ

■ホーム画面のアイコンを削除する

1 ホーム画面で削除するアイコンをロングタッチ

本機が振動し、[🗑]が画面下部に表示されます。

2 そのまま[🗑]の上までドラッグ

アイコンが赤色になります。

ホーム画面のコーナーを変更する

ホーム画面のコーナーでは、よく使用するアプリケーションやウェブページのショートカット（ブックマーク）を追加したり並べ替えることができます。ショートカットは各コーナーに最大4つまで追加できます。

■コーナーにアプリケーションを追加する

1 ホーム画面で［アイコン］をタップ
アプリケーション画面が表示されます。

2 アプリケーションをロングタッチ
本機が振動し、ホーム画面が表示されます。

3 追加するコーナーにドラッグ

■コーナーにブックマークのショートカットを追加する

1 ホーム画面で［≡］▶「追加」

2 「ショートカット」▶「ブックマーク」

3 追加するブックマークをタップ
ホーム画面にブックマークのショートカットが追加されます。

4 ホーム画面に追加されたショートカットアイコンをロングタッチ
本機が振動し、アイコンが拡大します。

5 追加するコーナーにドラッグ

■コーナーのアイコンを削除する

1 ホーム画面で、削除するアイコンのあるコーナーをタップ
コーナーが拡大されます。

2 アイコンをロングタッチ
本機が振動します。

3 コーナーの外（ホーム画面）までドラッグ
［ゴミ箱］が画面下部に表示されます。

4 そのまま［ゴミ箱］の上までドラッグ
アイコンが赤色になります。

■コーナーのアイコンを移動する

1 ホーム画面で、移動するアイコンのあるコーナーをタップ
コーナーが拡大されます。

2 アイコンをロングタッチ
本機が振動します。

3 ホーム画面の新しい場所にドラッグ

ホーム画面の背景を変更する

壁紙と各種のテーマを使用し、ホーム画面を変更できます。

■ホーム画面の壁紙を変更する

1 ホーム画面で［≡］▶「壁紙」

2 壁紙の種類を選択

3 画面の指示に従って操作

❖お知らせ

- 撮影した写真やアニメーションを壁紙として使用できます。「ライブ壁紙」のコンテンツはAndroidマーケットやウェブサイトからダウンロードすることもできます。

■ホーム画面のテーマを変更する

1 ホーム画面で［≡］▶「テーマ」

2 テーマを選択

検索する

検索ボックスや音声検索を利用して、本機内やウェブサイト上の情報を検索できます。

■検索ボックスを利用する

ホーム画面上の検索ボックスに文字を入力して検索します。

《検索ボックス》

1 ホーム画面で検索ボックスをタップ

ソフトウェアキーボードが表示されます。

- ［8］をタップすると、「すべて」「ウェブ」「アプリ」など検索する範囲を設定できます。
- ［マイク］をタップすると、音声で検索語句を入力し、ウェブ上を検索できます。

2 入力欄に検索する語句を入力

入力した文字から始まるアプリケーションや検索候補などが入力欄の下に一覧表示されます。

3 検索項目を選択／［→］をタップ

ブラウザが起動してGoogle検索の検索結果が表示されます。
一覧からアプリケーションを選択した場合は、アプリケーションが起動します。

❖お知らせ

- ホーム画面で［田］▶「検索」と操作しても検索画面が表示されます。

■音声検索を利用する

検索する語句を音声で入力できます。

1 ホーム画面で［田］▶「音声検索」

Google音声検索画面が表示されます。

2 送話口（マイク）に向かって検索語句を話す

ブラウザが起動してGoogle検索の検索結果が表示されます。

アプリケーション

ホーム画面のショートカット、またはアプリケーション画面からアプリケーションを開きます。

アプリケーション画面

アプリケーション画面には、本機にインストールやダウンロードしたアプリケーションが配置されています。
アプリケーション画面は切り替えることができます。

■アプリケーション画面を表示する

1 ホーム画面で▦をタップ

■アプリケーション画面を切り替える

1 アプリケーション画面で左右にスライド／フリック

■主なアプリケーションの種類

アイコン	アプリケーション	概要	参照先
	EMnetメール	EMnetメール、SMSの送受信、管理ができます。	P.73 P.76
	アプリ	Androidマーケットの中から人気・話題のアプリケーションを紹介します。	―
	電話帳	友人や同僚の連絡先を管理します。	P.67
	電話	電話の発信／着信、通話の切り替えが行えます。	P.59
	ブラウザ	ウェブサイトの閲覧や、ファイルのダウンロードができます。	P.102
	Timescape™	ソーシャルネットワークサービス（SNS）、不在着信などの履歴を閲覧できます。履歴からは電話の発信などを行うことができます。	P.83
	設定	本機の各種設定を行います。	P.157
	セットアップガイド	セットアップガイドを表示します。	P.27
	ミュージック	microSDカードに保存した音楽データを再生します。	P.108
	ギャラリー	撮影した写真や動画、Picasa やFacebook などにアップした画像を閲覧できます。	P.130
	アラーム	アラームの設定を行います。	P.92
	カメラ	写真の撮影、動画の録画ができます。	P.116
	Eメール	Eメール（複数のアカウントを使用可）を送受信します。	P.78
	マーケット	Androidマーケットにアクセスして新しいアプリケーションのダウンロード・購入ができます。	P.87
	Facebook	Facebookを起動します。	P.94
	カレンダー	カレンダーを表示して、予定の管理をします。	P.90

アイコン	アプリケーション	概要	参照先
	マップ	現在地の確認、他の場所の検索や経路検索などGoogleマップのサービスを利用できます。	P.148
	Gmail	Googleアカウントのメールを送受信できます。	P.81
	トーク	Googleトークを利用してチャットができます。	P.82
	ナビ	Googleマップナビを表示して、目的地への音声ナビゲーションなどを利用できます。	P.149
	プレイス	Googleマップ上に登録された現在地付近のお店など各種情報を利用できます。	P.148
	Latitude	地図上で特定の友人と位置の確認や位置情報などを共有できます。	P.150
	電卓	加算、減算、乗算、除算などの基本的な計算を行います。	－
	TrackID™	再生している音楽の情報を確認するサービスを利用できます。	P.113
	GREE	ゲームやコミュニティなどを楽しめるソーシャルネットワーキングサービス「GREE」を本機で利用するためのアプリケーションをインストールします。	－
	Mobage	ゲームやコミュニティなどを楽しめるソーシャルネットワーキングサービス「mobage」(モバゲー)を本機で利用するためのアプリケーションをインストールします。	－
	ビデオマーケット	モバイル動画サービス「VideoMarket」を本機で利用するためのアプリケーションをインストールします。	－
	YouTube	世界中の動画を再生したり、録画した動画をアップロードできます。	P.136
	3Dアルバム	撮影した3Dスイングパノラマ写真を閲覧できます。	P.130
	ニュースと天気	現在地情報を取得して天気予報を表示したり、カテゴリごとの各種ニュースを閲覧できます。	－
	ダウンロード	ダウンロードの一覧を表示します。	P.106
	Adobe Reader	PDFファイルを閲覧できます。	－
	音楽と動画	Facebookで共有されている動画や音楽の一覧を表示します。	－
	OfficeSuite	Officeドキュメントを閲覧、表示できます。	－
	3Dカメラ	3Dスイングパノラマを撮影します。	P.120

アイコン	アプリケーション	概要	参照先
	検索	キーワードから本機内やウェブページを対象に検索できます。	P.38
	PlayNow	各種お得情報が閲覧できるPlayNowのサイトに接続します。	–
	APPNAVI	Android端末専用のアプリケーションを紹介します。カテゴリやランキングなどからアプリケーションを検索できます。	–
	SE Store	本機のアクセサリー製品を紹介するサイトを表示します。	–
	キャンペーンナビ	キャンペーン情報を閲覧できます。	–
	音声検索	音声入力によりGoogle検索を利用できます。	P.38
	Connected devices	Connected devicesにてメディアサーバーの設定、管理を行います。	P.146
	更新センター	最新のソフトウェアとアプリケーションをSony Ericssonのウェブサイトから取得することができます。	P.155
	FMラジオ	FMラジオを利用できます。	P.114
	ゲームとアプリ	Facebookにログインして友達が使用しているアプリケーション情報を取得・確認できます。	–
	時計	時計を表示して、アラームの設定などができます。	P.91
	LiveWare™マネージャ	イヤホンマイク（試供品）や市販のイヤホンを接続したとき、またはUSBケーブルとACアダプタで充電接続したときなどに、選択したアプリケーションが自動的に起動するように設定できます。	–

■ホーム画面にアプリケーションのショートカットを作成する

1 **ホーム画面で▶アプリケーションアイコンをホーム画面が表示されるまでロングタッチ**

2 **ショートカットを置く場所までドラッグ**

アプリケーションを開く／閉じる

■アプリケーションを開く

1 **ホーム画面／アプリケーション画面でアプリケーションをタップ**

■アプリケーションを閉じる

1 **をタップ**

❖お知らせ

- を押してアプリケーションを終了すると、一部のアプリケーションは一時停止されますが、その他のアプリケーションはバックグラウンドで継続して起動します。一時停止したアプリケーションはもう一度起動したときに一時停止したところから操作を続行できます。

最近使用したアプリケーションのウィンドウを開く

最近使用したアプリケーションを表示して起動できます。

1 **を長押し**

アプリケーションを並べ替える

アプリケーション画面に表示されるアプリケーションアイコンを移動して並べ替えることができます。

■アプリケーションを並べ替える

1 **ホーム画面でをタップ**

アプリケーション画面が表示されます。

2 **▶項目を選択**

■アプリケーションを指定して並べ替える

1 **アプリケーション画面で**

2 **並べ替えるアプリケーションのアイコンをロングタッチ**

本機が振動し、アイコンが拡大します。

3 **アイテムを新しい場所にドラッグ**

4 **をタップ**

編集モードを終了します。

■アプリケーションをアンインストールする

1 **アプリケーション画面で**

2 **の付いたアイコンをタップ**

- の付いたアイコンはアンインストールできるアプリケーションです。

3 **「OK」▶「OK」▶**

ステータスバー

ステータスバーは本機の画面上部に表示されます。ステータスバーには本機のステータスと通知情報が表示されます。ステータスバーの左側に実行中の動作などをお知らせする通知アイコンが表示され、右側に本機の状態を表すステータスアイコンが表示されます。

ステータスバー

■ 主な通知アイコン

画面に表示される主な通知アイコンは次のとおりです。

アイコン	説明	アイコン	説明
	新着Eメールあり		エラーメッセージ
	新着EMnetメールあり		不在着信あり
	留守番電話あり		発信中、通話中
	カレンダーの予定あり		着信中
	楽曲を再生中		通話保留中
	USB接続中		通話転送中
	Pocket WiFiが有効		ソフトウェア更新通知あり、または更新中
	USBテザリングが有効		データを受信／ダウンロード
	Pocket WiFi、USBテザリングが有効		データを送信／アップロード
	注意メッセージ		その他の（表示されていない）通知あり

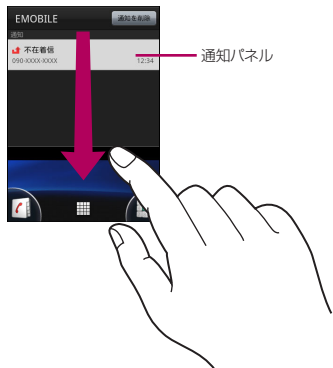
■ 主なステータスアイコン

画面に表示される主なステータスアイコンは次のとおりです。

アイコン	説明	アイコン	説明
	電波状態		充電中
	圏外		GPS測位中
	EM chip未挿入		機内モード設定中
	ローミング中		Bluetooth®機能オン
	GSM／GPRS使用可能		Bluetooth®デバイスに接続中
	GSM／GPRSデータの送信およびダウンロード中		マイクをミュートに設定中
	EDGE使用可能		スピーカーフォンがオン
	EDGEデータの送信およびダウンロード中		サイレントモード設定中（着信音量0、バイブレーションなし）
	3G使用可能		マナーモード（バイブレーション）に設定中
	3Gデータの送信およびダウンロード中		アラーム設定中
	HSPA使用可能		データ同期中
	HSPAデータの送信およびダウンロード中		同期に問題あり
	電池の状態		Wi-Fi接続中

通知パネル

ステータスバーに通知アイコンが表示されているときは、ステータスバーを下向きにドラッグして通知パネルを開くと、通知アイコンの詳細を確認したり、対応するアプリケーションを起動できます。

■ 通知パネルを開く

1 ステータスバーを下向きにドラッグ

■ 通知パネルを閉じる

1 通知パネルの下部にあるタブを上方向にドラッグ

■ 通知パネルからアプリケーションを開く

1 通知パネルにあるアプリケーションのアイコンをタップ

■ 通知パネル内の表示を削除する

1 通知パネルを開く▶「通知を削除」

設定メニューを表示する

設定メニューから本機の設定を変更します。
設定メニューの各項目については、「設定メニュー項目一覧」(P.157)をご参照ください。

1 ホーム画面で▶「設定」

文字を入力する

文字を入力するときは、連絡先の登録やメールの作成など、文字入力欄をタップすると表示されるソフトウェアキーボードを使用します。

入力方法の選択

本機では、入力方法（キーボード種別）を「POBox Touch（日本語）」「外国語キーボード」「中国語キーボード」から選択できます。

キーボード種別	説明
POBox Touch（日本語）	日本語を入力する場合に選択します。
外国語キーボード	入力する言語を選択できます。日本語以外の言語を入力する場合に選択します。
中国語キーボード	中国語を入力する場合に選択します。

1 文字入力画面で文字入力欄をロングタッチ

2 「入力方法」▶キーボード種別を選択

ソフトウェアキーボードについて

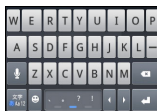
日本語入力では「POBox Touch（日本語）」で、「12キーキーボード」、「QWERTYキーボード」の2種類のソフトウェアキーボードを切り替えて使用できます。
ソフトウェアキーボードのキー表示は、入力画面や文字種、設定によって変わります。

■ 12キーキーボード

日本語入力を「かな入力」で行う場合に使用します。

《（例）縦画面》

■ QWERTYキーボード

日本語入力を「ローマ字入力」で行う場合に使用します。

《（例）縦画面》

❖お知らせ

- お買い上げ時、QWERTYキーボードは使用頻度の低いキー（Qなど）が表示されない設定になっています。詳しくは、「表示するキーの変更」（P.48）をご参照ください。

キーボードを切り替える

1 文字入力画面で［文字種アイコン］（文字種アイコン）をロングタッチ

2 ［12キー］／［QWERTY］／［設定］／［プラグイン］をタップ

- ［12キー］：12キーキーボードを表示
- ［QWERTY］：QWERTYキーボードを表示
- ［設定］をタップすると、POBox Touchの設定画面が表示されます。
- ［プラグイン］をタップすると、プラグインアプリの一覧が表示され、プラグインアプリを起動できます。

❖お知らせ

- 入力方法（キーボード種別）は、文字入力中に変更することができます。
- 文字入力画面から元の画面に戻るときは、［戻る］をタップします。

12キーキーボードでの文字入力

日本語入力を「かな入力」で行う場合に、あかさたな順に並んだキーボードを使用して入力できます。

■ 各タッチキーの主な役割

12キーキーボード画面で表示されている次のアイコンをタップすると、文字種の変更など、入力操作の切り替えを行うことができます。

アイコン	機能
［文字 あAa12］／［文字 あA1］	タップするたびに、「英字」→「数字」→「ひらがな漢字」の順に文字種が切り替わります。 あ：ひらがな漢字 Aa：半角英字／A：全角英字 12：半角数字／1：全角数字

アイコン	機能
／ ロングタッチ	ポップアップウィンドウを表示します。 ：キーボード切り替え ：POBox Touchの設定画面を表示 ：プラグインアプリの一覧表示 （全角）／（半角）：文字種切り替え
	半角記号／全角記号の一覧を表示して入力できます。タブを切り替えると、顔文字の一覧を表示して入力できます。
ロングタッチ	プラグインアプリの一覧が表示され、プラグインアプリを起動できます。
	変換確定前に表示され、文字の変換方法（「予測変換」「直変換」）を切り替えます。
	1つ前の文字を表示（逆順）します。
	変換確定後に表示され、変換前の表示に戻ります。
	カーソル移動※1：左へ移動します。ロングタッチで連続移動します。変換時は変換範囲を変更します。
	カーソル移動※1：右へ移動します。ロングタッチで連続移動します。変換時は変換範囲を変更します。未確定文字列があり、かつカーソルが右端にある状態でタップすると、最後尾と同一文字を入力します。
※2	入力文字、変換文字を確定します。入力・変換が確定している場合は、カーソル位置で改行します。
	カーソル位置の前の文字を削除します。ロングタッチで連続して削除できます。
	直変換候補の1つ目に表示されている候補を表示します。文字未入力時にスペースを入力します。
	音声で文字を入力できます。候補一覧が表示されますので、入力する文字列をタップします。

※1 入力した文字がある場合、入力した文字列の目的の箇所をタップするだけでカーソルを移動できます。
※2 検索ボックスやメールアカウントの登録画面など、一部の画面では、「次へ」「完了」「実行」などが表示されます。

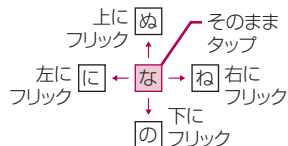
■キー入力の設定

■フリック入力

上下左右にフリック（画面を指ですばやく上下左右にはらうように操作）して各行の文字を入力します。

《フリック入力画面》

例：「な」行を入力する場合

「な」は指をフリックせずタップだけで入力できます。「に」は左、「ぬ」は上、「ね」は右、「の」は下にそれぞれフリックして入力できます。

- 大文字／小文字の切り替えや濁点の付加は、をタップして行います。
- フリック入力は、お買い上げ時の状態で利用できるように設定されています。ご利用にならない場合は、次の操作で解除できます。

① ホーム画面で▶「設定」
② 「言語とキーボード」▶「POBox　Touch（日本語）」▶「ソフトキーボード設定」
③ 「フリック入力」のチェックを外す

■ トグル入力

同じキーを連続してタップし、割り当てられた文字を入力します。

同じキーに配列された文字を続けて入力するには、次のように操作します。

例 :「あお」と入力する場合

①「あ」を1回タップ

② をタップ▶「あ」を5回タップ

例 :「ca」と入力する場合

①「ABC」を3回タップ

② をタップ▶「ABC」を1回タップ

- キーをタップして一定時間が経過し、タップしたキーのハイライトが消えると、をタップしなくても同じキーに配列された文字を続けて入力できます。
- 大文字／小文字の切り替えや濁点の付加は、をタップして行います。

QWERTYキーボードでの文字入力

日本語入力を「ローマ字入力」で行う場合は、QWERTYキーボードを使用します。

■ 各タッチキーの主な役割

QWERTYキーボード画面で表示されている次のアイコンをタップすると、文字種の変更など、入力操作の切り替えを行うことができます。

アイコン	機能
／	タップするたびに、「英字」→「数字」→「ひらがな漢字」の順に文字種が切り替わります。 **あ**：ひらがな漢字 **Aa**：半角英字／**A**：全角英字 **12**：半角数字／**1**：全角数字
／ ロングタッチ	ポップアップウィンドウを表示します。 ：キーボード切り替え ：POBox Touchの設定画面を表示 ：プラグインアプリの一覧表示 （全角）／（半角）：文字種切り替え
	半角記号／全角記号の一覧を表示して入力できます。タブを切り替えると、顔文字の一覧を表示して入力できます。
 ロングタッチ	プラグインアプリの一覧が表示され、プラグインアプリを起動することができます。
	句読点、？、！を入力します。左右にフリックして、（スペース）・～…「」（）を入力できます。
	カーソル移動※1：左へ移動します。ロングタッチで連続移動します。変換時は変換範囲を変更します。
	カーソル移動※1：右へ移動します。ロングタッチで連続移動します。変換時は変換範囲を変更します。未確定文字列があり、かつカーソルが右端にある状態でタップすると、最後尾と同一文字を入力します。

アイコン	機能
※2	入力文字、変換文字を確定します。入力・変換が確定している場合は、カーソル位置で改行します。
	カーソル位置の前の文字を削除します。ロングタッチで連続して削除できます。
	音声で文字を入力できます。候補一覧が表示されますので、入力する文字列をタップします。
変換	変換確定前に表示され、タップすると文字の変換方法を「直変換」に切り替えます。
／	英字入力時にタップすると、大文字／小文字を切り替えます。数字入力時にタップすると、キー入力できる記号に切り替えます。

※1 入力した文字がある場合、入力した文字列の目的の箇所をタップするだけでカーソルを移動できます。
※2 検索ボックスやメールアカウントの登録画面など、一部の画面では、「次へ」「完了」「実行」などが表示されます。

■表示するキーの変更

日本語入力でQWERTYキーボードに使用頻度の低いキー（Qなど）を表示しないようにできます。

1 文字入力画面で（文字種アイコン）をロングタッチ

2 をタップ

3 「ソフトキーボード設定」▶「表示キー選択」

- お買い上げ時は、2段目のL、－、3段目のX、C、Vにチェックが入っています。

4 表示しないキーのチェックを外す

5 「OK」

■アシスト記号の変更

（記号アシストエリア）に表示される記号（12個）をよく使うものに入れ替えることができます。

1 文字入力画面で（文字種アイコン）をロングタッチ

2 をタップ

3 「ソフトキーボード設定」▶「アシスト記号変更」

QWERTYキーボードに表示される12個の記号が表示されます。

4 変更する記号をタップ▶あらかじめ設定されている文字を削除し表示する文字を入力

5 「OK」

❖お知らせ

- お買い上げ時の状態に戻すには、手順3の後に▶「リセット」▶「OK」と操作します。

■ アシストキーボードを選択する

QWERTYキーボードでひらがな漢字入力する場合に、よく使用するキーの表示幅を大きく、タップしやすくするようにアシストキーボードを変更することができます。

1 **文字入力画面で（文字種アイコン）をロングタッチ**

2 **をタップ**

3 **「ソフトキーボード設定」▶「アシストキーボード選択」**

4 **項目を選択**

- ワイド：入力時によく使うキーの幅を広くタップしやすく表示
- ハイライト：入力時によく使うキーの幅を広くして、次に入力が予測されるキーをハイライト表示
- ダイナミック：次に入力が予測されるキーの幅をさらに広くタップしやすくして、ハイライト表示
- ノーマル：キーの幅を均等に表示

テキストの編集

文字入力中にテキスト入力欄をロングタッチすると「テキストを編集」メニューが表示され、入力したテキストを編集できます。

項目	説明
語句を選択	スライダをドラッグし、入力したテキストの一部を選択します。
すべて選択	入力したテキストをすべて選択します。
入力方法	P.44「入力方法の選択」
辞書に「XX」を追加	入力したテキストを辞書に追加します。 •「XX」には入力した語句が入ります。
切り取り／コピー	「語句を選択」／「すべて選択」すると表示されます。「語句を選択」／「すべて選択」で選択したテキストを切り取り／コピーします。
貼り付け	「切り取り」／「コピー」すると表示されます。「切り取り」／「コピー」したテキストを貼り付けます。

文字入力の設定

キーボード種別ごとに、文字入力の各種設定を行うことができます。

1 **ホーム画面で▶「設定」**

2 **「言語とキーボード」▶キーボード種別を選択**

各キーボードの設定画面が表示されます。表示される画面の項目をタップして設定してください。

❖お知らせ

- 設定できる項目は、キーボードの種類により異なります。

POBox Touchの設定

■ キーボード共通設定

1 **ホーム画面で▶「設定」**

2 **「言語とキーボード」▶「POBox Touch（日本語）」**

3 項目を設定

項目	説明
ソフトキーボード設定	QWERTYキーボード、12キーキーボードの各種設定を行います。
キセカエ キーボード選択	キーボードの外観を変更します。 • ウェブサイトからダウンロードして追加することもできます。
アプリケーションを管理	プラグインアプリをインストールして、文字入力時に呼び出せるプラグインアプリを追加できます。
自動大文字変換	英字入力時に文頭の文字を自動的に大文字にして入力するように設定します。
日本語ユーザー辞書	P.50「ユーザー辞書に登録する」
英語ユーザー辞書	
学習辞書	P.51「学習辞書を設定する」
バックアップと復元	ユーザー辞書と学習辞書に保存された内容は、microSDカードにバックアップしたり、必要なときに復元したりできます。
予測変換	予測変換機能を使って、日本語・英語ともに入力した文字列に対して予測される変換候補を表示するかどうかを設定します。
入力ミス補正	QWERTYソフトウェアキーボードで半角英字を入力し、変換前の文字列に入力ミスがあった場合に、入力ミスを補正して変換候補を表示するかどうかを設定します。 • 「予測変換」をオフにしている場合は、選択できません。
自動スペース入力	英語予測候補選択時に入力文字の後ろに自動でスペースを入力するかどうかを設定します。 • 「予測変換」をオフにしている場合は、選択できません。 • メールアドレスやウェブアドレスしか入力できない入力欄では、自動スペースは入力されません。
POBox Touch徹底ガイド	POBox Touchの操作を詳しく解説します。 • ウェブサイトに接続します。

■ユーザー辞書に登録する

あらかじめ辞書の設定をしておくと、文字入力時に優先的に変更候補として表示されます。

POBox Touch（日本語）のユーザー辞書には「日本語ユーザー辞書」（かな漢字）と「英語ユーザー辞書」（半角英字）の2種類があります。

1 **ホーム画面で▦▶「設定」**

2 **「言語とキーボード」▶「POBox Touch（日本語）」**

3 **「日本語ユーザー辞書」／「英語ユーザー辞書」**

4 **≡▶「追加」**

5 **読み入力欄に読みを入力▶「次へ」**

6 **表記入力欄に単語を入力**

7 **「完了」▶「保存」**

■ 学習辞書を設定する

POBox Touch（日本語）の学習辞書機能をオンにしておくと、使えば使うほどよりスムーズに文字を入力できるようになります。

1 **ホーム画面で ▶「設定」**

2 **「言語とキーボード」▶「POBox Touch（日本語）」**

3 **「学習辞書」**

4 **「入力した語句を自動学習」にチェックを入れる**

❖お知らせ

- 手順3の後に「学習辞書リセット」▶「OK」と操作すると、学習辞書に保存した内容をリセットします。

音量を調節する

次の項目の音量を調節します。

- 着信音
- メディア（ミュージックプレーヤーやギャラリー、FMラジオの再生音）
- アラーム
- 通知

■ 音量キーで着信音を調節する

1 **ホーム画面で**

- 通話中の場合は、通話音量を調節します。

■ 音量キーで音楽や動画再生音を調節する

1 **音楽や動画を再生中に**

■ マナーモードを設定する

1 **ホーム画面で ▶「設定」**

2 **「音設定」**

3 **「マナーモード」にチェックを入れる**

❖お知らせ

- ⓪を長押し▶「マナーモード」と操作してもマナーモードを設定できます。

■ スピーカーのオーディオ再生レベルを強調する

1 **ホーム画面で ▶「設定」**

2 **「音設定」**

3 **「xLOUD™」にチェックを入れる**

オーディオ再生レベル強調技術（"xLOUD"）が設定され、ミュージック、YouTube、ギャラリーなどの再生時に、本機スピーカーで迫力のあるサウンドを楽しめます。

基本的な機能を設定する

画面や音の設定、言語、プライバシー設定など、本機に関する各種設定ができます。

日付と時刻

本機の日付と時刻を変更できます。

■ 日付を設定する

1 **ホーム画面で ▶「設定」**

2 「日付と時刻」
- 「自動」にチェックが入っている場合は、チェックを外します。

3 「日付設定」

4 数字を上下にスクロールして日付を合わせる

5 「設定」

■時間を設定する

1 ホーム画面で▶「設定」

2 「日付と時刻」
- 「自動」にチェックが入っている場合は、チェックを外します。

3 「時刻設定」

4 数字を上下にスクロールして時間と分を合わせる
- 「24時間表示」のチェックを外している場合は、午前・午後を切り替えることができます。「午前」をタップすると「午後」に変わります（その逆も同じ）。

5 「設定」

■タイムゾーンを設定する

1 ホーム画面で▶「設定」

2 「日付と時刻」
- 「自動」にチェックが入っている場合は、チェックを外します。

3 「タイムゾーンの選択」

4 項目を選択

■日付形式を設定する

1 ホーム画面で▶「設定」

2 「日付と時刻」

3 「日付形式」

4 項目を選択

音設定

■着信音を設定する

1 ホーム画面で▶「設定」

2 「音設定」▶「着信音」

3 着信音を選択▶「完了」

■タッチ操作時の音をオンにする

1 ホーム画面で▶「設定」

2 「音設定」

3 「タッチ操作音」、「選択時の操作音」にチェックを入れる

■通知音を選択する

1 ホーム画面で▶「設定」
2 「音設定」▶「通知音」
3 通知音を選択▶「完了」

■バイブレータを設定する

1 ホーム画面で▶「設定」
2 「音設定」
3 「バイブレーション」▶項目を選択

■入力時バイブレーションを設定する

1 ホーム画面で▶「設定」
2 「音設定」
3 「入力時バイブレーション」にチェックを入れる
特定のソフトキー操作など一部の操作時に、本機が振動するようになります。

画面設定

■画面の明るさを調節する

1 ホーム画面で▶「設定」
2 「画面設定」▶「画面の明るさ」
3 スライダを左右にドラッグ
- 画面の明るさを下げるにはスライダを左にドラッグ、上げるにはスライダを右にドラッグします。

4 「OK」

■画面のバックライトが消灯するまでの時間を設定する

1 ホーム画面で▶「設定」
2 「画面設定」▶「バックライト消灯」
3 項目を選択

❖お知らせ
- 画面のバックライトをすぐ消灯するには、ⓘを押します。

■充電中に画面のバックライトをオンにしておく

1 ホーム画面で▶「設定」
2 「アプリケーション」▶「開発」
3 「スリープモードにしない」にチェックを入れる

言語とキーボード

使用する言語とキーボードの入力方法を設定します。

■ 使用する言語を変更する

1 ホーム画面で▶「設定」

2 「言語とキーボード」▶「地域／言語を選択」

3 言語を選択▶「完了」

機内モード

電話、インターネット接続（メールの送受信含む）など、電波を発する機能をすべて無効にします。電話やメールの着信などを気にしないで本機を操作したいときに便利です。
機内モードをオンにしていても、コンテンツがmicroSDカードに保存されていれば、ゲームをしたり、音楽を聴いたり、動画を視聴することができます。アラームを設定している場合は、アラームの通知を受けることができます。
機内モードをオンにしておくと、バッテリーの消費を軽減することができます。

■ 機内モードをオンにする

1 ホーム画面で▶「設定」

2 「無線とネットワーク」

3 「機内モード」にチェックを入れる

❖お知らせ

- ⓞを長押し▶「機内モード」と操作しても機内モードのオン／オフを切り替えることができます。

電池について

■ 電池使用量を確認する

1 ホーム画面で▶「設定」

2 「端末情報」▶「電池使用量」

アプリケーション別の電池使用量を確認できます。

❖お知らせ

- ホーム画面で▶「設定」▶「アプリケーション」▶「電池使用量」と操作しても確認できます。

■ ホーム画面にステータス切り替えウィジェットを追加する

1 ホーム画面で［≡］▶「追加」

2 「ウィジェット」

3 「ステータススイッチ」

データ接続を簡単にオン／オフにすることができます。
ウィジェットの上部に「電池残量」がパーセント表示で表示されます。

通知LEDと電池残量

通知LEDの色で電池残量を確認することができます。

LEDの色	意味
緑の点灯	充電中、電池残量が90%以上であることを示します。
赤の点滅	電源オン時に電池残量が起動するのに十分でないことを示します。
橙色の点灯	充電中、電池残量が11%-89%であることを示します。

■電池残量を確認する

1 **ホーム画面で▶「設定」**

2 **「端末情報」▶「端末の状態」**

「電池残量」の下にパーセント表示で電池残量が表示されます。

microSDカードについて

microSDカードは、互換性のある他の機器でも使用できます。
本機では市販の2GBまでのmicroSDカード、32GBまでのmicroSDHCカードに対応しています。

- microSDカードを取り付けていない場合、カメラ機能、音楽・動画の再生やダウンロード、Bluetooth®機能を使用した通信などはご利用になれません。

microSDカードを安全に取り外す

本機の電源がオフになっている場合は、microSDカードを本機から安全に取り外すことができます。本機の電源がオンになっているときにmicroSDカードを取り外す場合は、必ずマウント(読み書き可能状態)を解除してから行ってください。microSDカードの破損や保存データの消失を防止できます。

■microSDカードのマウントを解除する

1 **ホーム画面で▶「設定」**

2 **「ストレージ」▶「SDカードのマウント解除」**

- 確認画面が表示された場合は、「OK」をタップします。

❖お知らせ

- SDカードをもう一度マウントするには、ホーム画面で▶「設定」▶「ストレージ」▶「SDカードをマウント」と操作します。

microSDカードをフォーマットする

microSDカードをフォーマットすることでメモリの空き容量を増やすことができます。

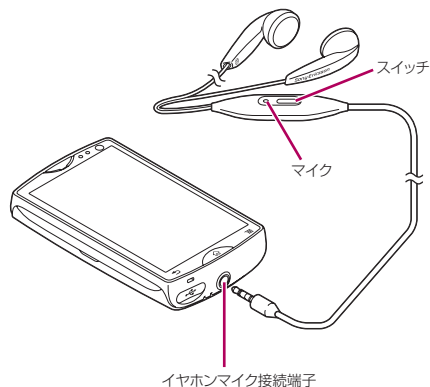
- フォーマットを行うとmicroSDカードに保存されているデータがすべて削除されます。microSDカードをフォーマットする前に、保存しておきたいものは必ずすべてパソコンにコピーするなどしてバックアップしてください。詳細については、「本機とパソコンでデータをコピー／移動する」（P.141）をご参照ください。

1 **ホーム画面で▶「設定」**

2 **「ストレージ」▶「SDカードのマウント解除」**

- 確認画面が表示された場合は、「OK」をタップします。

3 **「SDカード内データを消去」▶「SDカード内データを消去」▶「すべて削除」**

イヤホンマイクを使用する

■イヤホンマイクで電話を受ける

1 **イヤホンマイクを本機のイヤホンマイク接続端子に接続**

2 **着信時はイヤホンマイクのスイッチを押す**

- イヤホンマイクを接続して音楽を聴いている場合に着信したときも、スイッチを押して電話に出ることができます。音楽は通話状態では一時停止して、通話が終了すると再開します。

3 **通話を終了するときはもう一度スイッチを押す**

データ通信をオフにする

モバイルネットワーク経由のデータ接続をすべて無効に設定して、不要なデータダウンロードや同期を避けることができます。

- データ通信をオフにしても、Wi-FiやBluetooth®は接続できます。

1 **ホーム画面で▶「設定」**

2 **「無線とネットワーク」▶「モバイルネットワーク」**

3 **「データ通信を有効にする」のチェックを外す**

データローミングをオンにする

1 **ホーム画面で▶「設定」**

2 **「無線とネットワーク」▶「モバイルネットワーク」**

3 **「データローミング」にチェックを入れる**

4 **注意文を読んで「はい」**

❖お知らせ

- 「データ通信を有効にする」のチェックを外すと、データローミングをオンにできません。

電話

緊急通報（110/119/118）について

本機では、PINコード設定中（P.151）でも、緊急通報番号の110（警察）、119（消防・救急）、118（海上保安庁）に電話をかけることができます。

- 機内モード設定中でも、緊急通報できます。
- 海外で現地の緊急通報番号にかける場合、無線ネットワークや無線信号、本機の機能設定状態によって動作が異なるため、すべての国や地域での接続を保証するものではありません。

■緊急通報番号に電話をかける

1 ホーム画面で▶「電話」

2 緊急通報番号を入力▶「発信」

- 電話番号の入力を間違えた場合は、をタップすると削除できます。

■PINコード設定中に緊急通報番号に電話をかける

1 PINコード入力画面で「緊急通報」

2 緊急通報番号を入力▶「通話」

- 電話番号の入力を間違えた場合は、をタップすると削除できます。

緊急通報位置通知について

「緊急通報位置通知」とは、本機から緊急通報を行った場合、発信した際の位置の情報を緊急通報受理機関（警察など）に対して通知するシステムです。本機では受信している基地局測位情報をもとに算出した位置情報を通知します。

- 発信場所や電波の受信状況により、正確な位置が通知されないことがあります。緊急通報受理機関に対して、必ず口頭で発信場所や目標物をお伝えください。
- 基地局測位情報の精度は、数100m～10km程度となります。また、実際の位置とは異なった位置情報が通知される場合があります（遠方の基地局電波を受信した場合など）。
- 緊急通報位置通知機能は、接続先となる緊急通報受理機関が、位置情報を受信できるシステムを導入した後にご利用いただけるようになります。
- 「184」を付けて、「110」、「119」、「118」の緊急通報番号をダイヤルした場合などは、緊急通報受理機関に位置情報は通知されません。ただし、緊急通報受理機関が人の生命等に差し迫った危険があると判断した場合には、同機関が発信者の位置情報を取得する場合があります。
- 申込料金、通信料は一切必要ありません。

電話をかける／受ける

電話をかけるには、電話番号を入力するか、連絡先に登録されている電話番号をタップするか、通話履歴の電話番号の横にある をタップします。

■ 電話番号を入力して電話をかける

1 **ホーム画面で ▶「電話」**

2 **相手の電話番号を入力▶「発信」**

- 電話番号の入力を間違えた場合は、 をタップすると削除できます。

■ 電話を切る

1 **をタップ**

■ 日本国内から国際電話をかける

日本国内から海外に電話をかけたり、海外から電話を受けたりすることができます。サービスの詳細、お客さまのお申し込み状況に関しては、お問い合わせ先（P.181）までご連絡ください。

1 **ホーム画面で ▶「電話」**

2 **プラス（＋）記号が表示されるまで「0」をロングタッチ**

3 **国番号、市外局番、相手先電話番号の順に入力▶「発信」**

- 市外局番が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください（一部の国・地域を除く）。

■ 電話を受ける

1 **着信中に （左）を （右）までドラッグ**

- 画面ロック中でもアイコンが表示され、同様の操作で応答できます。

《電話着信画面》

❖お知らせ

- マイクの付いていない一般的なヘッドフォンを使用している場合、ヘッドフォンを取り外す必要があります。

■ 着信を拒否する

1 **着信中に （右）を （左）までドラッグ**

■ 通話中に通話音量を調節する

1 **通話中に**

■通話を保留にする

1 通話中に[≡]▶「保留」

- 保留を解除する場合は、保留中画面で「保留解除」をタップします。

■通話中にスピーカーをオンにする

1 通話中に

■通話中にマイクをミュートにする

1 通話中に

■通話中にホーム画面を表示する

通話中にホーム画面を表示して、他のアプリケーションを開くことができます。

1 通話中に

■通話中に別の相手に電話をかける

通話を保留にして別の相手に電話をかけることができます。また、電話番号を入力して連絡先に登録することもできます。

1 通話中に

キーボードが表示されます。

2 電話番号を入力

3 をタップ

通話中の電話は自動的に保留になります。

- 入力した電話番号を連絡先に登録する場合は、をタップします。

■着信音を聞こえないようにする

1 着信中に

通話履歴

通話履歴では、不在着信（）、着信（）、発信（）の履歴を確認できます。

■不在着信を表示する

不在着信があると、ステータスバーにが表示されます。

1 ステータスバーを下向きにドラッグ

2 「不在着信」

■通話履歴から電話をかける

1 ホーム画面で▶「電話」

2 「通話履歴」

通話履歴が表示されます。

3 電話番号の横にあるをタップ

- 電話番号を編集してから電話をかける場合は、電話番号をロングタッチ▶「発信前に番号を編集」と操作します。

■通話履歴の電話番号を連絡先に登録する

1 ホーム画面で▶「電話」

2 「通話履歴」

3 電話番号をロングタッチ▶「連絡先に追加」

4 登録する連絡先をタップ／「連絡先を新規登録」

5 「本体連絡先」／「(アカウント)」

- Googleなどのアカウントを設定していない場合は、保存先の選択画面は表示されずに手順6へ進みます。

6 必要に応じて連絡先を編集▶「完了」

海外で利用する

国際ローミングの概要

国際ローミングは、提携する海外の通信事業者のネットワークを利用して、現在ご使用の携帯電話番号やメールアドレスを海外でもそのまま利用できるサービスです。
日本国内にいるときと同様に、電話、EMnetメール、SMS、インターネット、データ通信、留守番電話などが利用できます。国際ローミングを利用できる国や地域など、サービスの詳細については、イー・モバイルのホームページにてご確認ください。

- 滞在先で接続する通信事業者やネットワークによっては、利用できないサービスがあります。
- 別途お申し込みの必要はありません。

ネットワークモードを変更する

海外の通信事業者が採用しているネットワークモード（通信方式）に応じてネットワークモードを変更します。

1 ホーム画面で▶「設定」

2 「無線とネットワーク」▶「モバイルネットワーク」

3 「ネットワークモード」

4 ネットワークモードを選択

通信事業者を手動で選択する

お買い上げ時、本機は自動的に滞在地域の適切な通信事業者に接続するように設定されています。手動で任意の通信事業者と接続することもできます。

1 **ホーム画面で▶「設定」**

2 **「無線とネットワーク」▶「モバイルネットワーク」▶「携帯電話事業者」**

3 **「検索モード」▶「手動選択」**

4 **「ネットワークを検索」**

5 **通信事業者を選択**

❖お知らせ

- 通信事業者を手動で選択すると、他の国・地域に移動しても通信事業者の自動選択は行いません。

通信事業者を自動で選択する

1 **ホーム画面で▶「設定」**

2 **「無線とネットワーク」▶「モバイルネットワーク」▶「携帯電話事業者」**

3 **「検索モード」▶「自動選択」**

海外で電話をかける

■滞在国から日本や滞在国以外に電話をかける

1 **ホーム画面で▶「電話」**

2 **プラス（+）記号が表示されるまで「0」をロングタッチ**

3 **国番号、市外局番、相手先電話番号の順に入力▶「発信」**

- 市外局番が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください（一部の国・地域を除く）。例えば、日本（国番号81）の携帯電話（080-＊＊＊＊-＊＊＊＊）に電話をかける場合は、+81-80-＊＊＊＊-＊＊＊＊を入力します。

■滞在国内に電話をかける

日本国内で電話をかけるときと同じ操作で電話をかけることができます。

1 **ホーム画面で▶「電話」**

2 **相手の電話番号を入力▶「発信」**

オプションサービス

本機では、次のオプションサービスが利用できます。

サービス名称	内容
転送電話	電波の届かない場所にいるときや、通話中のため電話に出られないときなどに、かかってきた電話を指定した電話番号に転送します。
留守番電話	電波の届かない場所にいるときや、通話中のため電話に出られないときなどに、留守番電話センターで伝言をお預かりします。
割込通話※1	今まで話していた相手との通話を保留にし、かかってきた電話を受けることができます。
発信者番号通知	自分の電話番号を相手に通知する／通知しないように設定することができます。
電話番号リクエスト	発信者番号を通知に設定している相手からかかってきた電話のみ受けることができます。
通話制限	電話の発信や着信を制限することができます。

※1 別途お申し込みが必要な有料サービスです。

❖お知らせ

- 電波の届かない場所では、本機からは操作できません。
- オプションサービスの詳細については、イー・モバイルのホームページにてご確認ください。

転送電話

電波の届かない場所にいるときや、電話に出られないときなどに、かかってきた電話を指定した電話番号に転送します。

■ 設定／開始する

転送条件ごとに転送先の電話番号を設定できます。
転送条件は次のメニューから選択します。

項目	説明
常に転送	かかってきた電話を本機に着信させずに転送します。
通話中の着信時に転送※1	通話中にかかってきた電話を転送します。
応答しない場合は転送※1	転送開始時間内に電話に出なかったときに、かかってきた電話を転送します。 • 転送開始までの時間は設定できません。
届かない場合は転送※1	電波の届かない場所にいるときに、かかってきた電話を転送します。

※1 お買い上げ時は、転送先の電話番号は留守番電話センターに設定されています。

1 **ホーム画面で ▶「設定」**

2 **「通話設定」▶「着信転送」**

3 **転送条件を選択**

4 **転送先の電話番号を入力▶「有効にする」／「更新」**

- をタップすると、連絡先から電話番号を選択できます。

■停止する

1 ホーム画面で▶「設定」

2「通話設定」▶「着信転送」

3 転送条件を選択

4「無効化」

❖お知らせ

- 転送電話の開始中でも、着信音が鳴っている間はを右にドラッグして通話できます。ただし、「常に転送」に設定している場合は着信しないため、通話はできません。
- 1つの転送条件に、転送電話と留守番電話を同時に設定できません。

留守番電話

電波の届かない場所にいるときや、電話に出られないときなどに、相手のメッセージを留守番電話センターでお預かりします。

■設定／開始する

転送条件ごとに留守番電話センターへの転送を設定できます。転送条件は、転送電話と同じメニューから選択できます（P.63）。

1 ホーム画面で▶「設定」

2「通話設定」▶「着信転送」

3 転送条件を選択

4「08070017000」（留守番電話センターの電話番号）を入力▶「有効にする」／「更新」

■停止する

1 ホーム画面で▶「設定」

2「通話設定」▶「着信転送」

3 転送条件を選択

4「無効化」

❖お知らせ

- 留守番電話の開始中でも、着信音が鳴っている間はを右にドラッグして通話できます。ただし、「常に転送」に設定している場合は着信しないため、通話はできません。
- 1つの転送条件に、転送電話と留守番電話を同時に設定できません。

■伝言メッセージを聞く

留守番電話センターに伝言メッセージが録音されると、ステータスバーにが表示されます。

1 ホーム画面で▶「電話」

2「1」をロングタッチ

❖お知らせ

- ホーム画面で▶「電話」▶「1416」を入力▶「発信」と操作しても、留守番電話センターに接続できます。

割込通話

割込通話を利用すると、通話中にかかってきた電話を受けることができます。

- ご利用には別途お申し込みが必要です。
- 割込通話と合わせて転送電話または留守番電話を開始しているときに、通話中にかかってきた電話に応答しなかった場合は、かかってきた電話は設定に応じて転送先または留守番電話センターに接続されます。
- 転送電話または留守番電話を「常に転送」に設定している場合は着信しないため、割込通話をご利用できません。

■設定する

1 ホーム画面で▦▶「設定」

2 「通話設定」▶「その他の設定」

3 「通話中着信」にチェックを入れる

■停止する

1 ホーム画面で▦▶「設定」

2 「通話設定」▶「その他の設定」

3 「通話中着信」のチェックを外す

■通話中にかかってきた電話を受ける

最初に話していた相手を保留にして、かかってきた相手の着信に応答します。

1 通話中に割込通話を着信したら、「応答」

- 割込通話を着信すると、着信を知らせる「プー、プー」という音が受話口から鳴ります。
- 割込通話の着信を拒否する場合は、「着信拒否」をタップします。
- 通話中の電話を切り、割込通話の着信に応答する場合は、「現在の通話を終了して応答」をタップします。

■通話の相手を切り替える

通話の相手を切り替えて、保留中の相手と通話します。

1 通話する相手の電話番号や名前をタップ

- 通話中の電話を切り、保留中の相手と通話する場合は、をタップします。

発信者番号通知

発信の際に、自分の電話番号を通知するか、非通知にするかを設定します。

1 ホーム画面で▦▶「設定」

2 「通話設定」▶「その他の設定」▶「発信者番号」

3 項目を選択

項目	説明
ネットワーク既定	電話番号の通知／非通知は、使用しているネットワークにより決定します。
番号を非通知	自分の電話番号を非通知にします。
番号を通知	相手に自分の電話番号を通知します。

❖お知らせ

- 発信者番号の設定にかかわらず、相手の電話番号の前に次の数字を付けてダイヤルすることで、発信者番号を通知する／しないを設定できます。
  「186」：相手に電話番号を通知する
  「184」：相手に電話番号を通知しない

電話番号リクエスト

電話をかけてきた相手が電話番号を通知している場合のみ着信するように設定します。

- 発信者番号を非通知に設定している相手には、発信者番号通知を案内するガイダンスが流れた後、自動的に電話を終了します。

1 **ホーム画面で▦▶「電話」**

2 **「＊254#」を入力▶「発信」**

- 電話番号リクエストを停止する場合は、ホーム画面で▦▶「電話」▶「#254#」を入力▶「発信」と操作します。

❖お知らせ

- 転送電話、留守番電話、割込通話が設定されている場合にも、本サービスが優先されます。
- 公衆電話や海外からの電話など発信者側の意思にかかわらず電話番号の通知ができない場合は、正常に動作しないことがあります。

通話制限

電話の発信や着信を制限します。

1 **ホーム画面で▦▶「設定」**

2 **「通話設定」▶「通話制限」**

3 **項目を選択**

項目	説明
すべての発信制限	緊急電話を除くすべての発信を制限します。
国際電話発信制限	すべての国際電話の発信を制限します。
国際ローミング発信制限	日本と滞在国への発信のみに制限します。
すべての着信制限	すべての着信を制限します。
国際電話着信制限	海外でのすべての着信を制限します。

4 **パスワードを入力▶「有効にする」**

- 制限を無効にする場合は、パスワードを入力▶「無効化」と操作します。

❖お知らせ

- 通話制限をすべて無効にする場合は、手順3で「すべてを無効にする」▶パスワードを入力▶「OK」と操作します。
- 転送電話または留守番電話をご利用の場合、通話制限はご利用になれません（転送電話または留守番電話が優先されます）。
- 通話制限をご利用になる場合は、転送電話または留守番電話の設定を解除してから通話制限の設定を行ってください。
- 通話制限の設定には、ご契約時にお客さまよりご指定いただいた4桁の暗証番号（パスワード）が必要になります。入力を3回間違えると、通話制限の設定変更ができなくなりますのでご注意ください。詳しくは、お問い合わせ先（P.181）までご連絡ください。
- 手順3で「パスワードを変更」を選択すると、通話制限パスワードを変更できます。

電話帳

電話帳について

電話帳では、電話番号、Eメールアドレス、インターネット上の各種サービスのアカウントなど連絡先に関するさまざまな情報を入力できます。連絡先を表示して、その連絡先にすばやくアクセスできます。また、複数の連絡先を1つに統合してまとめたり、Googleなどオンラインサービスのアカウントを設定している場合は、連絡先を同期させて連絡先情報を表示することもできます。

■ 電話帳を開く

1 ホーム画面で[アプリ一覧]▶「電話帳」

❖お知らせ

- 初めて電話帳を開いたときは、セットアップウィザードが表示されます。セットアップウィザードでは、microSDカードやEM chipから連絡先を取り込んだり、Googleなどのアカウントと本機の連絡先の同期を行うことができます。

連絡先を取り込む（インポート）

次の方法で連絡先をインポートできます。

- オンラインサービスのアカウントと同期
  オンラインサービス上の連絡先と本機の連絡先を同期します。
- EM chipからインポート
  インポート可能な情報は、名前と電話番号です。
- microSDカードからインポート
- Bluetooth®接続で受信
- メール添付で受信

■ 本機の電話帳とアカウントを同期する

1 ホーム画面で[アプリ一覧]▶「電話帳」

2 [メニュー]▶「設定」▶「アカウントと同期」

3 「アカウントを追加」

- すでにアカウントを設定している場合は、同期するアカウントをタップ▶[メニュー]▶「今すぐ同期」と操作します。

4 画面の指示に従って操作

■ EM chipから連絡先をインポートする

1 ホーム画面で[アプリ一覧]▶「電話帳」

2 [メニュー]▶「連絡先をインポート」▶「SIMカード」

3 「本体連絡先」／「(アカウント)」

- Googleなどのアカウントを設定していない場合は、保存先の選択画面は表示されずに手順4へ進みます。

4 個別の連絡先をインポートする場合は、インポートする連絡先をタップ

- すべての連絡先をインポートする場合は、「すべてインポート」をタップします。

■microSDカードから連絡先をインポートする

1 ホーム画面で[アプリ]▶「電話帳」

2 [メニュー]▶「連絡先をインポート」▶「メモリーカード」

3 「本体連絡先」／「(アカウント)」

- Googleなどのアカウントを設定していない場合は、保存先の選択画面は表示されずに手順4へ進みます。

4 インポートするvCardファイルを選択

- ファイルが1件しかない場合は、vCardファイルの選択画面は表示されずにインポートが開始されます。ファイルの中に複数の連絡先がある場合は、すべて一度にインポートされます。vCardファイルが2件以上存在する場合は、「vCard1件インポート」／「複数vCardインポート」／「全vCardインポート」のいずれかにチェックを入れる▶「OK」と操作します。

■Bluetooth®で連絡先を受信する

1 Bluetooth®機能がオンになっており、他のBluetooth®デバイスから検出可能になっているか確認

- Bluetooth®機能の操作については、「Bluetooth®機能をオンにして本機を検出可能にする」（P.137）をご参照ください。

2 ファイルの受信を確認するメッセージが表示されたら、ステータスバーを下向きにドラッグ▶通知をタップ▶「承諾」

ファイル転送が開始されます。

3 ファイルの受信が完了したら、ステータスバーを下向きにドラッグ▶通知をタップ▶受信したファイルをタップ

4 「本体連絡先」／「(アカウント)」

- Googleなどのアカウントを設定していない場合は、保存先の選択画面は表示されずに連絡先データがインポートされます。

■メールで連絡先を受信する

メールに添付されたvCardファイルをインポートします。

例：EMnetメールの場合

1 vCardファイルが添付されたEMnetメールを表示

- EMnetメールの表示方法については、「EMnetメールを確認する」（P.74）をご参照ください。

2 [メニュー]▶「その他」▶「添付ファイルをSDカードにコピー」

vCardファイルがmicroSDカードに保存されます。

- 以降の操作は、「microSDカードから連絡先をインポートする」（P.68）をご参照ください。

❖お知らせ

- メールの種類によって、インポートの手順は異なります。

連絡先一覧画面の見かた

《連絡先一覧画面》

① **新しい連絡先の追加アイコン**
② **連絡先検索ボックス**
③ **連絡先に登録された名前**
タップすると詳細が表示されます。
④ **Googleトーク（チャット）のオンライン状況**
⑤ **連絡先に登録された写真**
タップするとショートカットが表示されます（P.69）。
⑥ **画面切替（電話／通話履歴／連絡先／お気に入り）**

連絡先のショートカット

連絡先一覧画面で写真（画像）部分をタップすると、電話番号やメールなどのショートカットが表示され、ショートカットをタップして電話をかけたり、メールを作成して送信したりできます。

- Gmailのアイコンは、本機にGoogleアカウントを同期している場合に表示されます。

連絡先を管理する

連絡先の作成、編集などの管理ができます。連絡先の表示／非表示を設定したり、複数の連絡先を1つに統合させて、まとめることができます。

- 一部のオンラインサービスでは、連絡先の詳細情報を編集できません。

■連絡先の表示条件を変更する

1 ホーム画面で ▶「電話帳」

2 ▶「連絡先フィルター」

3 項目にチェックを入れる／チェックを外す▶「OK」

- 同期しているアカウントがある場合は、リストに表示されます。アカウントをタップすると、アカウントに登録されている連絡先を表示するかどうかを設定できます。
- 「オンラインの連絡先のみ」にチェックを入れると、Googleトークでオンライン中の相手の連絡先のみが表示されます。

■連絡先を追加する

1 ホーム画面で ▶「電話帳」

2 をタップ

3 「本体連絡先」／「（アカウント）」

- Googleなどのアカウントを設定していない場合は、保存先の選択画面は表示されずに手順4へ進みます。

4 必要な項目を入力

5 「完了」

❖お知らせ

- 連絡先の電話番号の前に「+」記号と国番号を追加すると、海外から発信する場合にこの番号を使用できます。

■連絡先を編集する

1 **ホーム画面で ▶「電話帳」**

2 **編集する連絡先をロングタッチ▶「連絡先を編集」**

3 **必要な項目を編集▶「完了」**

■連絡先に写真を設定する

1 **ホーム画面で ▶「電話帳」**

2 **編集する連絡先をロングタッチ▶「連絡先を編集」**

3 **をタップ▶画像の選択方法を選択**

4 **画像を選択▶トリミング枠を調整▶「保存」**

5 **「完了」**

❖お知らせ

- ギャラリーから直接、連絡先に画像を設定することもできます（P.133）。

■連絡先情報フィルター

連絡先一覧画面で連絡先をタップすると、画面下部にフィルターが表示されます。フィルターをタップしたり左右にフリックすると、次の情報を表示することができます。

フィルター	表示
情報	連絡先電話番号、メールアドレス、Facebookプロフィール、最新ステータスの情報など
写真	連絡先の「友達」がFacebookにアップした画像や、タグ付き画像
趣味と関心	連絡先の「友達」がFacebookに登録した「いいね！」情報
Facebook	連絡先のFacebookステータス更新履歴 • TimescapeからFacebookアカウントで接続して、情報を更新した場合に表示されます。
通話履歴	連絡先との通話履歴

■連絡先を削除する

1 **ホーム画面で ▶「電話帳」**

2 **▶「連絡先を削除」**

3 **削除する連絡先にチェックを入れる**

- すべての連絡先を削除するには、「すべて選択」をタップします。

4 **「削除」▶「OK」**

■ 自分の連絡先を確認して情報を編集する

1. ホーム画面で▶「電話帳」
2. 電話帳リスト最上部の「XXX-XXXX-XXXX」（自分の連絡先）をロングタッチ▶「連絡先を編集」
3. 必要な情報を入力
4. 「完了」

連絡先をリンクする

複数の連絡先を1つにリンクさせて、まとめることができます。

■ 連絡先をリンクする

1. ホーム画面で▶「電話帳」
2. リンクさせる連絡先をロングタッチ▶「連絡先のリンク」
3. リンクさせる連絡先をタップ▶「OK」
   手順2の連絡先情報が手順3の連絡先に追加されます。手順2の連絡先は表示されなくなります。

■ リンクした連絡先を解除する

1. ホーム画面で▶「電話帳」
2. リンク解除する連絡先をロングタッチ▶「連絡先を編集」
3. ▶「リンク解除」
4. 「OK」

連絡先をお気に入り登録する

連絡先にお気に入りのマークを付けることができます。お気に入りリストを使用すると、マークを付けた連絡先にすばやくアクセスできます。

1. ホーム画面で▶「電話帳」
2. お気に入り登録する連絡先をタップ
3. 「お気に入り」

連絡先を検索する

1. ホーム画面で▶「電話帳」
2. 検索する名前や読みを検索ボックスに入力
   入力した文字で始まる連絡先が表示されます。

連絡先を共有する

■ 自分の連絡先を送信する

1. ホーム画面で▶「電話帳」
2. 「自分の連絡先」
3. ▶「連絡先を送信」▶「OK」
4. 送信方法を選択
5. 画面の指示に従って操作

■連絡先を送信する

1 ホーム画面で▶「電話帳」

2 送信する連絡先をタップ

3 ▶「連絡先を送信」▶「OK」

4 送信方法を選択

5 画面の指示に従って操作

■同時に複数の連絡先を送信する

1 ホーム画面で▶「電話帳」

2 ▶「連絡先を送信」

3 送信する連絡先にチェックを入れる

- 全件を送信する場合は、「すべて選択」をタップします。

4 「送信」▶「OK」

5 送信方法を選択

6 画面の指示に従って操作

連絡先をエクスポートする

microSDカードやEM chipへ連絡先をエクスポートすることができます。エクスポートした情報は、他の電話に転送する場合などに役立ちます。

■すべての連絡先をmicroSDカードにエクスポートする

1 ホーム画面で▶「電話帳」

2 ▶「連絡先エクスポート」▶「メモリーカード」

3 「OK」

■連絡先をEM chipにエクスポートする

1 ホーム画面で▶「電話帳」

2 ▶「連絡先エクスポート」▶「SIMカード」

3 エクスポートする連絡先にチェックを入れる

- 全件を送信する場合は、「すべて選択」をタップします。

4 「エクスポート」

5 「連絡先を追加」／「連絡先を上書き」

❖お知らせ

- エクスポート可能な情報は、名前と電話番号です。

メール

メールについて

本機で使用できるメールには次の種類があります。

■EMnetメール

EMnetメールは、EMnetメールのアドレス（@emnet.ne.jp）を使用して、イー・モバイル携帯電話だけでなく他社の携帯電話やパソコンなどとメールの送受信ができます。

■SMS

SMS（テキストメッセージ）は、SMSに対応した携帯電話との間で、携帯電話番号を宛先としたメッセージの送受信ができます。SMSは全角70文字、半角160文字まで送信できます。

■Eメール

パソコンで使用されているEメールに対応しており、会社や自宅のパソコンと同じEメールを送受信できます。また、添付ファイルにも対応しています※。

※すべての添付ファイルについて動作を保証するものではありません。

- Eメールを使用するには、事前にEメールアカウントを設定する必要があります。
- 本機でEメールを送受信すると、本機とメールサーバーとで同期が行われ、「受信トレイ」などをメールサーバーと同じ状態に保つように動作します。

■Gmail

Gmailは、Googleのウェブメールサービスです。同期設定によって、本機のGmailとウェブ上のGmailを自動で同期できます。

- Gmailを利用するにはGoogleアカウントの設定が必要です。

❖お知らせ

- 一定の間隔でメールサーバーに接続するように設定することで、擬似的にメールを自動受信できますが、サーバーに接続するたびに料金がかかる場合があります。
- 他の携帯電話やパソコンなどとメールを送受信した場合、メールの内容が正しく表示されない場合があります。

EMnetメール

EMnetメールのアドレス（@emnet.ne.jp）を使用して、メッセージや画像などの送受信ができ、絵文字も利用できます。
「EMnetメール」アプリケーションを利用すると、EMnetメール／SMSを送受信でき、統合されたメールボックスで管理できます。

- EMnetメールを利用するには別途EMnetへの加入が必要です。ただし、SMSのみを利用の場合はその限りではありません。
- 別途パケット通信料がかかります。
- EMnetメールの仕様／機能／デザインについては、ソフトウェア更新などにより変更されることがあります。ご了承ください。

EMnetメールを作成／送信する

「EMnetメール」アプリケーションを使って、EMnetメール（MMS）やSMSを送受信します。

- EMnetメールの送受信可能文字数は全半角5000文字まで、1通あたりの最大容量は1MBです。
- 添付ファイルは、送信時は10件まで添付でき（「スライドショー」選択時）、受信時は1MBまでの間で件数に制限はありません。なお、静止画（ファイル形式：JPEG、GIF、BMP）／動画（ファイル形式：MP4、3GP）／音声（ファイル形式：MP3）に対応しています。

1 ホーム画面で▦▶「EMnetメール」

MMS作成画面が表示されます。

2 「MMS作成」

メールボックス画面が表示されます。

3 「To」▶メールアドレスを入力

- をタップすると、連絡先や送信履歴、受信履歴から宛先を選択できます。
- Cc/Bccを追加するには、▶「Ccを追加」／「Bccを追加」と操作します。

4 「件名」▶件名を入力

5 「メッセージを入力」▶本文を入力

- 絵文字を挿入するには、▶「絵文字を挿入」▶絵文字をタップと操作します。

6 必要に応じてファイルを添付

- ▶「添付」と操作し、添付方法を選択します。カメラを起動し写真や動画を撮影して添付することもできます。
- ファイルを2件以上添付するには、1件添付されている状態で「変更」（3件以上の場合は「編集」）▶「スライドショー」（3件以上の場合は表示されません）▶「スライドを追加」▶追加したスライドをタップ▶「画像を追加」▶画像を選択▶「完了」と操作します。をタップすると、添付したファイルをスライドショーで確認できます。

7 「送信MMS」

❖お知らせ

- MMS作成画面で「破棄」をタップすると、スライドの文章も削除されますのでご注意ください。

EMnetメールを確認／利用する

■EMnetメールを確認する

1 ホーム画面で▶「EMnetメール」

2 目的のフォルダをタップ

3 確認するメールをタップ

メール／SMSの詳細画面が表示されます。

- 添付ファイルがある場合は、メール内のデータをタップしたりmicroSDカードに保存したりして確認できます。

❖お知らせ

- EMnetメールを受信すると、ステータスバーにが表示されます。
- 他の携帯電話やパソコンなどとメールを送受信した場合、メールの内容が正しく表示されない場合があります。

■一覧表示画面の見かた

お買い上げ時、フォルダ内のメール／SMSは一覧表示されます。

《一覧表示画面》

① **SMS（件名なし）**
　既読のときは背景がグレーで、未読のときは白で表示されます。

② **EMnetメール（件名あり）**
　既読のときは背景がグレーで、未読のときは白で表示されます。

③ **チェックボックス**
　タップするとチェックが入り、メールオプションが表示されます。

④ **返信済みメール／SMS**

⑤ **添付ファイルありメール**

⑥ **保護設定されたメール／SMS**

⑦ **転送済みメール／SMS**

⑧ **メールオプション**
　チェックを入れたメール／SMSをまとめて、未読／既読設定や保護／保護解除、削除、移動の操作を行います。

■スレッド一覧画面の見かた

EMnetメールの設定で「スレッド表示」（P.77）にチェックを入れると、メール／SMSは送受信した相手ごとにスレッド表示されます。

《スレッド一覧画面》

① **EMnetメールを新規作成します。**

② **スレッド**
　スレッドをタップすると、メール／SMSのスレッド詳細画面が表示されます。

③ **SMSを新規作成します。**

■EMnetメールに返信する

1 **メール詳細画面で［≡］▶「返信」／「全員に返信」**

2 **原文の引用を選択▶「OK」**

- 以降の操作は、「EMnetメールを作成／送信する」（P.73）の手順5に進みます。

■EMnetメールを転送する

1 **メール詳細画面で［≡］▶「転送」**

- 以降の操作は、「EMnetメールを作成／送信する」（P.73）の手順3に進みます。

■EMnetメールを削除する

1 メール詳細画面で［≡］▶「メッセージを削除」

2 「削除」

送受信したEMnetメールを管理する

■フォルダを作成する

1 ホーム画面で［▦］▶「EMnetメール」

2 ［≡］▶「フォルダ作成」

3 フォルダ名を入力▶「OK」

❖お知らせ

- お買い上げ時に作成されているフォルダは、フォルダ名変更やフォルダ削除はできません。
- 作成したフォルダのフォルダ名変更やフォルダ削除をするには、変更／削除するフォルダをロングタッチ▶「フォルダ名変更」／「フォルダ削除」をタップします。

■メールを振り分ける

1 ホーム画面で［▦］▶「EMnetメール」

2 ［≡］▶「その他」▶「振り分け設定」

3 「新規振り分けを追加する」▶振り分け名を入力

4 振り分け条件を設定▶「OK」

SMS

SMSの送受信も「EMnetメール」アプリケーションを利用します。

SMSを作成／送信する

1 ホーム画面で［▦］▶「EMnetメール」

2 「SMS作成」

3 「To」▶携帯電話番号を入力

- ◎をタップすると、連絡先や送信履歴、受信履歴から宛先を選択できます。

4 「メッセージを入力」▶本文を入力

- 絵文字を挿入するには、［≡］▶「絵文字を挿入」▶絵文字をタップと操作します。

5 「送信」

❖お知らせ

- SMSの返信／転送／削除の操作は、EMnetメールと同様です（P.75、P.76）。

EMnetメール／SMSを設定する

1 ホーム画面で▦▶「EMnetメール」

2 ≡▶「設定」

3 項目を設定

項目	説明
ソフトウェアのバージョン	ソフトウェアのバージョンを表示します。
スレッド表示	メール／SMSの表示をスレッド表示にするかどうかを設定します。
メッセージ作成を表示	メールボックス画面に「MMS作成」「SMS作成」のボタンを表示させるかどうかを設定します。
送信・保存・破棄を表示	メール／SMS作成画面に「送信」「保存」「破棄」のボタンを表示させるかどうかを設定します。
送信確認	送信時に送信確認を表示させるかどうかを設定します。
文字サイズ	文字サイズを設定します。
メール振り分け	メール振り分け条件を設定します。
ごみ箱自動削除	破棄したメールをごみ箱から削除する日数を設定します。
原文の引用※1	返信するときに、SMSの文章を引用するかどうかを設定します。
受取確認通知※1	相手がSMSを開封したときに通知されるように設定します。
SIMカードのメッセージ※1	EM chipに保存したSMSを管理します。
原文の引用※2	返信するときに、メールの文章を引用するかどうかを設定します。
自動で取得※2	EMnetメールを自動取得するかどうかを設定します。
ローミング時に自動取得※2※3	海外でEMnetメールを自動取得するかどうかを設定します。
Wi-Fiテザリング時に取得※2	Pocket WiFi設定中にEMnetメールを自動取得するかどうかを設定します。
通知	メール／SMS受信時、ステータスバーに通知アイコンを表示するなどして通知するかどうかを設定します。
着信音を選択	メール／SMS受信時の通知音を設定します。
バイブレーション	メール／SMS受信時のバイブレーション動作を設定します。
バイブレーションパターン	バイブレーションのパターンを設定します。
SDカードに保存	メール／SMSをmicroSDカードに保存するかどうかを設定します。
メッセージをインポート	microSDカードからメールをインポートします。
メッセージをエクスポート	microSDカードにメールをエクスポートします。
送受信履歴を削除	送受信履歴を削除します。
WEB設定	メールサーバーに接続して、EMnetメールのメールアドレスを変更したり、メール設定の情報を確認したりできます。 • WEB設定を行うには、アクセスポイント名（APN）を「EMnet」に設定する必要があります。ホーム画面で▦▶「設定」▶「無線とネットワーク」▶「モバイルネットワーク」と操作して、「アクセスポイント名」で「EMnet」を選択してください。WEB設定の確認後は、APNを変更前の設定に戻してください。

※1 SMSにのみ適用されます。
※2 MMSにのみ適用されます。
※3 メールの自動取得による海外でのパケット通信のご利用は、ローミング通信料が高額となる場合がありますので、ご注意ください。

Eメール

パソコンで使用されているEメールに対応しており、会社や自宅のパソコンと同じEメールを送受信できます。

Eメールアカウントを設定する

1 ホーム画面で▶「Eメール」

2 メールアドレスとパスワードを入力▶「次へ」

- Eメールを手動で設定する場合は、「手動セットアップ」をタップし、表示される画面の指示に従って設定してください。

3 画面の指示に従って操作▶「完了」

❖お知らせ

- 複数のEメールアカウントを設定することもできます。

Eメールを作成／送信する

1 ホーム画面で▶「Eメール」

2 「新規作成」

3 「To」▶メールアドレスを入力

- アルファベットまたは名前を入力すると、登録されている連絡先に前方一致するメールアドレスの候補を表示します。
- 複数の宛先にEメールを送信する場合は、カンマ（，）で区切って次のEメールアドレスを入力します。
- ＋をタップすると、連絡先またはお気に入りの一覧からアドレスを選択できます。

4 「件名」▶件名を入力

5 本文入力欄に本文を入力

6 必要に応じてファイルを添付

- 「添付ファイルを追加」をタップし、添付方法を選択します。

7 「送信」

Eメールを確認／利用する

■Eメールを受信する

1 ホーム画面で▶「Eメール」

- アカウントの一覧画面が表示された場合は、受信するEメールのアカウントをタップします。

2 ▶「更新」

3 メールをタップ

■受信トレイを分割表示する

1 ホーム画面で▶「Eメール」

- アカウントの一覧画面が表示された場合は、分割表示するEメールのアカウントをタップします。

2 ▶「プレビュー画面」

3 「OFF」／「ON」

- 「ON」を選択した場合、をタップすると受信トレイが分割され、選択中の本文が表示されます。

■添付ファイルを保存する

1 ホーム画面で▶「Eメール」

- アカウントの一覧画面が表示された場合は、添付ファイルを保存するEメールのアカウントをタップします。

2 メールをタップ

3 「保存」

- 「開く」をタップすると添付ファイルが表示されます。

■送信者を連絡先に登録する

1 ホーム画面で▶「Eメール」

- アカウントの一覧画面が表示された場合は、連絡先に登録するEメールのアカウントをタップします。

2 メールをタップ

3 メール上部の送信者名をタップ▶「OK」

4 登録する連絡先をタップ／「連絡先を新規登録」

5 「本体連絡先」／「(アカウント)」

- Googleなどのアカウントを設定していない場合は、保存先の選択画面は表示されずに手順6へ進みます。

6 必要に応じて連絡先を編集▶「完了」

■Eメールに返信する

1 ホーム画面で▶「Eメール」

- アカウントの一覧画面が表示された場合は、返信するEメールのアカウントをタップします。

2 返信するメールをタップ

3 ▶「返信」／「全員に返信」

- 以降の操作は、「Eメールを作成／送信する」（P.78）の手順5に進みます。

■Eメールを転送する

1 ホーム画面で▶「Eメール」

- アカウントの一覧画面が表示された場合は、転送するEメールのアカウントをタップします。

2 転送するメールをタップ

3 ▶「転送」

- 以降の操作は、「Eメールを作成／送信する」（P.78）の手順3に進みます。

■Eメールを削除する

1 ホーム画面で[アプリ]▶「Eメール」

- アカウントの一覧画面が表示された場合は、削除するEメールのアカウントをタップします。

2 削除するメールをタップ

3 [メニュー]▶「削除」▶「はい」

別のEメールアカウントを設定する

1 ホーム画面で[アプリ]▶「Eメール」

- アカウントの一覧画面以外が表示された場合は、[メニュー]▶「アカウント」と操作します。

2 [メニュー]▶「アカウントを追加」

- 以降の操作は、「Eメールアカウントを設定する」(P.78)の手順2に進みます。

■Eメールアカウントを削除する

1 ホーム画面で[アプリ]▶「Eメール」

- アカウントの一覧画面以外が表示された場合は、[メニュー]▶「アカウント」と操作します。

2 削除するアカウントをロングタッチ▶「アカウント削除」▶「OK」

Eメールアカウントを設定する

1 ホーム画面で[アプリ]▶「Eメール」

- アカウントの一覧画面が表示された場合は、設定するアカウントをタップします。

2 [メニュー]▶「アカウント設定」

3 必要な項目を設定

項目	説明
アカウント名	アカウント名を変更します。
名前	あなたの名前(差出人名)を変更します。
署名	署名を変更します。
受信トレイの確認頻度	新着メールの自動確認の有無や間隔を設定します。
優先アカウントにする	チェックを入れると、メールアカウントが複数設定されている場合に、Eメールを作成するときの優先アカウントに設定します。
Eメール着信通知	Eメールを受信した場合にステータスバーに受信したことを表示するかどうかを設定します。
着信音を選択	Eメールを受信した場合の着信音を設定します。
バイブレーション	Eメールを受信した場合に振動でお知らせするかどうかを設定します。
受信サーバー設定	受信メールサーバーを設定します。
送信サーバー設定	送信メールサーバーを設定します。

Gmail

Googleアカウントをお持ちの場合は、本機でGmailの送受信を利用できます。また、Googleアカウントを設定することで、Googleトークで友人とチャットしたり、カレンダーをGoogleカレンダーと同期させたり、Androidマーケットからアプリケーションなどをダウンロードできるようになります。

■ Googleアカウントを設定する

1 **ホーム画面で▦▶「設定」**

2 **「アカウントと同期」▶「アカウントを追加」▶「Google」**

3 **画面の指示に従ってGoogleアカウントを登録**

- Gmail、Googleトークなどが使用できるようになります。

■ Gmailを開く

1 **ホーム画面で▦▶「Gmail」**

Googleトーク

Googleトークを利用する

Googleトークを使用してチャットをすることができます。Googleトークを使用するには、Googleアカウントを設定する必要があります(P.93)。

■ Googleトークを起動する

1 ホーム画面で ▶「トーク」

■ チャットに返信する

1 チャットを受信

ステータスバーに が表示されます。

2 ステータスバーを下向きにドラッグ ▶メッセージをタップ▶チャットに返信

Timescape™

Timescape™を利用する

Sony Ericsson Timescape™（以降は、Timescapeと略します）は、不在着信や、Facebook、Twitter、mixiの更新などの履歴が画面上に時系列で表示されます。1つの履歴を表示する前に、個別の履歴をタイル形式にして時系列で並べたプレビューを表示できます。また、∞（インフィニットボタン）を使用すると、連絡先に関するすべてのコミュニケーション情報を表示できます（P.85）。

- ソーシャルネットワークサービス（SNS）を設定することでTimescapeの利点を最大限に活用できます。
- EMnetメール（SMS含む）やGmail、「Eメール」アプリケーションに設定したEメールは、Timescapeには表示されませんのでご注意ください。
- Facebookアカウントをまだお持ちでない場合は、http://www.facebook.comからアカウントを新規作成することができます。
- Twitterアカウントをまだお持ちでない場合は、http://www.twitter.comからアカウントを新規作成することができます。
- mixiアカウントをまだお持ちでない場合は、http://mixi.jpからアカウントを新規作成することができます。
- 設定したFacebook、Twitter、mixiなどの更新内容は、Timescapeから確認することができます。

■Timescapeの初期設定をする

Timescapeを初めて起動すると、セットアップウィザードにより各アカウント登録に必要な手順が表示されます。

1 ホーム画面で▦▶「Timescape™」

Timescape画面が表示されます。

2 タイルをタップ

3 必要に応じて、Facebook／Twitter／mixiのアカウント情報を入力

4 「完了」

❖お知らせ

- セットアップウィザード中に、アカウント情報を登録する画面で「拡張機能検索」をタップすると、Androidマーケットに接続して、Timescapeの新たなサービスを検索できます。
- セットアップウィザード完了後も、Timescape画面で［≡］▶「設定」と操作して、いつでもTimescapeの設定を変更できます。
- Facebook、Twitter、mixiの自動更新を設定すると、より速く情報の更新を確認できますが、電池の消耗が早くなります。手動更新に設定することで電池を節約できます。

■ Timescape画面の見かた

《Timescape画面》

① **最新のコメント**
Facebook、Twitter、mixiに投稿した最新のコメントを表示します。フィルターを使用して、投稿するサービスを絞り込むことができます。

② **タイル**
不在着信や、Facebook、Twitter、mixiの更新の各種情報を時系列に沿って表示します。

③ **フィルター**
フィルターアイコンをタップして、特定のタイプの情報に絞り込みます。フィルターの並び順は異なる場合があります。

タイル

■ タイルをスクロールする

1 **Timescape画面でタイルを上下にフリック**

■ タイルをプレビューする

タイルを選択して、タイル上で内容を確認できます。

1 **Timescape画面でタイルをタップ**

■ タイルの詳細情報を表示する

1 **Timescape画面でタイルをタップ**
プレビューが表示されます。

2 **もう一度タイルをタップ**

■ Timescapeで不在着信に電話をかける

1 **Timescape画面で不在着信のタイルをタップ**

2 **もう一度タイルをタップ**

3 **「発信」**

フィルター

フィルターアイコン	表示するタイル
	すべてのタイル
	不在着信のタイル
	Twitterの更新情報タイル
	Facebookの更新情報タイル
	mixiの更新情報タイル
	このアイコンは本機ではご利用いただけません。

■表示されたタイルにフィルターを適用する

1 Timescape画面でフィルターアイコンをタップ／フリック

■スタート画面を更新する

スタート画面を更新すると、インターネットに接続してTimescapeでアカウント設定済みのFacebook、Twitter、mixiの情報を更新します。

1 Timescape画面で ≡ ▶「更新」

■TimescapeからFacebook、Twitter、mixiへ投稿する

1 Timescape画面で ≡ ▶「ステータスを入力」

2 投稿するサービスにチェックを入れる▶「続行」

3 テキストを入力▶「投稿」

■TimescapeからFacebook、Twitter、mixiをログアウトする

1 Timescape画面でタイルをタップ

2 ≡ ▶「設定」▶「サービスを設定」

3 ログアウトするサービスをタップ▶「OK」▶「完了」

ログアウトすると、アカウント情報は削除されます。

Timescapeのインフィニットボタン

タイルをタップすると、右上に∞（インフィニットボタン）が表示されます。∞をタップすると、連絡先に登録された情報やフィルターごとの履歴を表示できます。

■Timescapeから連絡先の登録情報を表示する

1 Timescape画面でタイルをタップ

2 ∞をタップ

選択されているタイルの種別ごとの履歴や情報が表示されます。画面下に表示されるフィルターをフリックすると、表示する情報を切り替えることができます。

Timescapeの設定をする

■ Timescapeの設定画面を表示する

1 **Timescape画面で[≡]▶「設定」**

2 **項目を選択**

TimescapeでFacebook、Twitter、mixiの情報を更新する

Timescapeを起動時に、アカウント設定済みのFacebook、Twitter、mixiの情報を手動/自動で更新するように設定します。

1 **Timescape画面で[≡]▶「設定」**

2 **「更新モード」**

3 **項目を選択**

Androidマーケット

Androidマーケットを利用する

Androidマーケットを利用すると、便利なアプリケーションや楽しいゲームに直接アクセスでき、本機にダウンロードやインストールすることができます。また、アプリケーションのフィードバックや意見を送信したり、好ましくないアプリケーションや本機と互換性がないアプリケーションを不適切なコンテンツとして報告することができます。

- Androidマーケットのご利用には、Googleアカウントの設定が必要です。詳細については、「Googleアカウントを設定する」（P.93）をご参照ください。
- Androidマーケットでは、本機で動作しない仕様のアプリケーションについてはダウンロードできない場合があります。
- アプリケーションの自動アップデートにより、操作方法が変更されることがあります。
- アプリケーションのインストールは安全であることをご確認の上、自己責任で行ってください。
- 万が一、お客さまがインストールを行ったアプリケーションにより自己または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリケーションによっては、自動的にパケット通信を行うものがあります。
- アプリケーションによっては、本機で正常に動作しない場合があります。
- アプリケーションによっては、自動的にアップデートが実行される場合があります。
- ダウンロードするアプリケーションやゲームには無料のものと有料のものがあり、マーケットのアプリケーション一覧ではその区別が明示されています。有料アプリケーションの購入、返品、払い戻し請求などの詳細については、「ヘルプについて」（P.87）をご参照ください。

■Google Checkoutについて

アプリケーションを購入する場合、支払いにはGoogle Checkoutを利用します。事前にGoogle Checkoutの契約が必要です。なお、アプリケーションの購入は自己責任で行ってください。アプリケーションの購入に際して自己または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。

■Androidマーケットを開く

1 **ホーム画面で▦▶「マーケット」**

■ヘルプについて

Androidマーケットについてヘルプが必要なときや質問がある場合は、Androidマーケットヘルプをご確認ください。

1 **ホーム画面で▦▶「マーケット」**

2 **[≡]▶「ヘルプ」**

Androidマーケットからダウンロードする

■アプリケーションをダウンロードする

1 ホーム画面で▶「マーケット」

初回利用時は、利用規約が表示されます。内容をご確認の上、「同意する」をタップしてください。

2 ダウンロードするアプリケーションをタップ

詳細画面が表示されます。

3 詳細画面の内容を確認

4 「ダウンロード」／金額表示欄をタップ

5 画面の指示に従って操作

- ダウンロードしたアプリケーションは、アプリケーション画面に追加されます。

■アプリケーションを更新する

1 ホーム画面で▶「マーケット」

2 ▶「マイアプリ」

3 アプリケーションをタップ

4 「更新」

5 画面の指示に従って操作

アプリケーションを管理する

アプリケーションのデータを削除する

■アプリケーションのキャッシュを削除する

1 ホーム画面で▶「設定」

2 「アプリケーション」▶「アプリケーションの管理」

3 アプリケーションをタップ

4 「キャッシュを消去」

❖お知らせ

- 一部のアプリケーションでは、キャッシュを削除できない場合があります。

■インストールしたアプリケーションを削除する

1 ホーム画面で▶「設定」

2 「アプリケーション」▶「アプリケーションの管理」

3 アプリケーションをタップ

4 「アンインストール」▶「OK」

❖お知らせ

- お買い上げ時にインストールされているアプリケーションは削除できません。

アプリケーションを許可する

アプリケーションによっては、本機にアクセスしないと正常に動作しない場合があります。例えば、ナビゲーションアプリケーションの場合は、データ通信の送受信や現在位置にアクセスする許可が必要です。一部のアプリケーションはデータを流用、削除するなど情報を悪用する場合もありますのでご注意ください。

■ アプリケーションの許可を表示する

1 **ホーム画面で▶「設定」**
2 **「アプリケーション」▶「アプリケーションの管理」**
3 **アプリケーションをタップ**
4 **下にスクロールして「許可」を表示**

■ Androidマーケット以外のアプリケーションのインストールを許可する

提供元が不明なアプリケーションをインストールすると、本機が損傷する可能性があります。お買い上げ時は、このようなインストールを拒否するように設定されています。

1 **ホーム画面で▶「設定」**
2 **「アプリケーション」**
3 **「提供元不明のアプリ」にチェックを入れる▶「OK」**

アプリケーションをmicroSDカードに移動する

アプリケーションは本体メモリに保存されますが、本体メモリからmicroSDカードに移動できるアプリケーションもあります。

1 **ホーム画面で▶「設定」**
2 **「アプリケーション」▶「アプリケーションの管理」**
3 **移動するアプリケーションをタップ**
4 **「SDカードに移動」**

カレンダー／時計／アラーム

カレンダー

本機には、スケジュールを管理するカレンダーが内蔵されています。Googleアカウントを持っている場合は、本機のカレンダーとウェブカレンダーを同期することができます。

■カレンダー表示を設定する

1 ホーム画面で▶「カレンダー」

カレンダー画面が表示されます。

2 ▶「日」／「週」／「月」

■複数のカレンダーを表示する

1 カレンダー画面で▶「その他」▶「マイカレンダー」

2 表示するカレンダーを選択

■カレンダーの予定を作成する

1 カレンダー画面で▶「予定を作成」

2 予定のタイトル、開始日時、終了日時、場所、内容を入力

3 必要に応じて、予定の繰り返しを選択

4 必要に応じて、予定の通知を選択

- 予定の通知を追加するには、をタップします。

5 「保存」

■カレンダーの予定を表示する

1 カレンダー画面で表示する予定をタップ

■予定の通知を確認する

予定の通知を設定した場合は、通知時間になると音が鳴ってお知らせします。また、ステータスバーにが表示されます。
予定の通知を確認して、もう一度通知（スヌーズ）するように設定したり、削除することができます。

1 ステータスバーを下向きにドラッグ▶通知をタップ

2 確認する通知をタップ

- スヌーズを設定する場合は、「スヌーズ」をタップします。すべての予定の通知がスヌーズに設定され、5分後にもう一度通知します。
- 予定の通知を削除する場合は、「全消去」をタップします。

■ カレンダーの設定を変更する

1 **カレンダー画面で ≡ ▶「その他」▶「設定」**

2 **項目を設定**

項目	説明
辞退した予定を非表示	招待を辞退した予定をカレンダーに表示するかどうかを設定します。
週表示	週表示を「平日のみ」にするか土日を含めた「7日」にするかを設定します。
自宅タイムゾーン	タイムゾーンの異なる地域へ移動している間も、設定したタイムゾーンのままでカレンダーと予定を表示するかどうかを設定します。
スマートキーボード	本機能はご利用いただけません。
通知方法	予定の通知方法を設定します。
着信音を選択	予定通知時の通知音を設定します。
バイブレーション	予定通知時のバイブレーション動作を設定します。
リマインダー通知	いつ予定の通知をするかを設定します。

時計

「時計」アプリケーションでは、アラームを設定できるほか、ディスプレイに時計や写真のスライドショーを表示させたり、ミュージックプレーヤーで音楽を流したりできます。

■ 時計を利用する

1 **ホーム画面で ▶「時計」**

時計画面が表示されます。

《時計画面》

① **アラーム表示**
設定したアラームがある場合に表示されます。

② **バックライト消灯**
点灯させるには画面をタップします。

③ **時計表示**

④ **ニュースと天気**
タップすると「ニュースと天気」アプリケーションが起動します。
現在地の天気予報を表示するには、現在地情報が取得できるように設定する必要があります（P.147）。

⑤ **アラームを設定**

⑥ **スライドショー表示に設定**

⑦ **ミュージックプレーヤー画面を表示**

⑧ **ホーム画面に戻る**

アラーム

■アラームを設定する

1 ホーム画面で ▶「アラーム」

アラームの一覧画面が表示されます。

2「アラームの追加」

3 上下にスクロールして時刻を合わせる▶「設定」

4 項目を設定

項目	説明
アラームをONにする	アラームのオン／オフを設定します。
時刻	時刻を設定します。
繰り返し	繰り返しの設定をします。
アラーム音	アラーム音を設定します。
バイブレーション	バイブレーションのオン／オフを設定します。
ラベル	アラーム動作時に表示するメッセージを入力します。

5「完了」

❖お知らせ

- 時計画面で をタップしてもアラームの一覧画面を表示できます。

■アラームのオン／オフを設定する

1 アラーム一覧画面で

- ：アラームオン（アイコンの下のラインが緑色に点灯）
- ：アラームオフ（アイコンの下のラインが消灯）

❖お知らせ

- アラームをオンにすると、ステータスバーに が表示されます。

■アラームの基本を設定する

アラーム音量の設定など、すべてのアラームに共通する設定を行います。

1 アラーム一覧画面で ▶「設定」

2 必要な項目を設定

項目	説明
マナーモード中の鳴動	マナーモード設定中にアラームを鳴らすかどうかを設定します。
アラームの音量	アラームの音量を設定します。
スヌーズ間隔	アラームを止めてからもう一度アラームが鳴るまでの時間を設定します。
サイドキー動作	アラームが鳴っているときに ／ を押した場合の動作を設定します。

■アラームを削除する

1 アラーム一覧画面で削除するアラームをタップ

2「削除」▶「OK」

■アラームを止める

1 アラームが鳴っているときに「停止」／「スヌーズ」

- 「スヌーズ」をタップすると、アラームを一定時間止めた後にもう一度鳴らします。

アカウントと同期

アカウントを同期する

GoogleサービスやFacebook、Exchange ActiveSyncなど、オンラインサービス上の連絡先やメッセージなどの情報を本機と同期できます。

- 同期を行う前に、必要なデータをバックアップしてください。

Googleアカウントを同期する

Googleアカウントを本機に設定し、Gmail、Google トーク、Googleカレンダー、AndroidマーケットなどのGoogleサービスを利用できます。

- 本機には、複数のGoogleアカウントを設定することができます。

■Googleアカウントを設定する

1 **ホーム画面で▶「設定」**

2 **「アカウントと同期」**

3 **「自動同期を有効にする」にチェックを入れる**

4 **「アカウントを追加」▶「Google」**

5 **画面の指示に従って操作**

■Googleアカウントを手動で同期する

1 **ホーム画面で▶「設定」**

2 **「アカウントと同期」**

3 **同期するGoogleアカウントをタップ**

4 **▶「今すぐ同期」**

■Googleアカウントを削除する

1 **ホーム画面で▶「設定」**

2 **「アカウントと同期」**

3 **削除するGoogleアカウントをタップ**

4 **「アカウントを削除」**

5 **「アカウントを削除」**

❖**お知らせ**

- はじめに登録したGoogleアカウントは、「アカウントを削除」から削除できません。はじめに登録したGoogleアカウントを削除するには、ホーム画面で▶「設定」▶「プライバシー設定」▶「データの初期化」と操作して、本機を初期化してください（P.160）。初期化すると、ダウンロードしたアプリケーションを含むすべてのデータ、およびGoogleアカウントが削除されます。必ず、本機の重要なデータをバックアップしてから初期化してください。

Facebookアカウントを同期する

Facebookアカウントの登録・ログインを行うと、オンラインサービス上の「友達」が公開しているプロフィール情報を連絡先に同期（登録・更新）させることができます。
また、「友達」がFacebookにアップしている画像をギャラリーや連絡先の「写真」フィルターに表示したり、「いいね！」に登録した情報を連絡先の「趣味と関心」フィルターに表示したり、Timescapeにも「友達」の更新情報が表示できるようになります。

■Facebookを設定する

1 ホーム画面で ▶「設定」

2 「アカウントと同期」

3 「自動同期を有効にする」にチェックを入れる

4 「アカウントを追加」▶「Facebook」

- すでにFacebookアカウントを持っていて、本機で電話帳やTimescapeなどからアカウント設定している場合は、追加する必要はありません。

5 画面の指示に従って操作

❖お知らせ

- Facebook アカウントをまだお持ちでない場合は、http://www.facebook.com からアカウントを新規作成することができます。
- 「Facebook」アプリケーションからも同期の設定をできます。

Exchange ActiveSyncを同期する

本機とExchange ActiveSyncアカウントを同期できます。本機およびパソコンのどちらからでも情報を表示、編集できます。

- 同期を行う前に、必要なデータをMicrosoft Exchangeサーバーへ保存してください。

■Exchange ActiveSyncを設定する

1 ホーム画面で ▶「設定」

2 「アカウントと同期」

3 「自動同期を有効にする」にチェックを入れる

4 「アカウントを追加」▶「Exchange Active Sync」

5 画面の指示に従って操作

6 同期する項目を選択

- 連絡先やカレンダーを同期できます。

7 アカウント名を入力▶「完了」

インターネット

アクセスポイント（APN）を設定する

お買い上げ時には、次のアクセスポイント（APN）が登録されています。

アクセスポイント	説明
EMnet	EMnet契約時に利用できる接続先です。
MyEMOBILE	オンラインサポートサイト「My EMOBILE」専用の接続先です。接続にかかる通信料は無料です。
Protocol制限ありB	ファイル交換（P2P）やオンラインゲーム、動画の一部など、一部利用できない通信（プロトコル）があります。
Protocol制限なし	通信（プロトコル）制限のない接続先です。
Protocol制限なしN	通信（プロトコル）制限のない、スマートフォン用の接続先です。
EMnetMail	EMnetメールアプリ専用の接続先です。お客さまは設定できません。

■アクセスポイントを切り替える

1 **ホーム画面で▶「設定」▶「無線とネットワーク」▶「モバイルネットワーク」**

2 **「アクセスポイント名」▶切り替えるアクセスポイントのをタップ**

■アクセスポイントを追加する

- アクセスポイントの設定内容は、ご契約されている通信事業者にご確認ください。

1 **ホーム画面で▶「設定」▶「無線とネットワーク」▶「モバイルネットワーク」**

2 **「アクセスポイント名」▶▶「新しいAPN」**

3 **項目を編集▶▶「保存」**

❖お知らせ

- APN設定の際に、MCC/MNCをデフォルト設定値（440/10）以外に変更すると、APN画面上に表示されなくなりますので、変更しないでください。APN画面上に表示されなくなった場合には、▶「初期設定にリセット」または「新しいAPN」でもう一度APNの設定を行ってください。
- POBox Touchの「自動スペース入力」（P.50）にチェックを入れて、半角英字（英語モード）にて予測変換を利用する際は、確定時に自動的にスペースが入力される場合があります。手動でスペースを削除してください。

■アクセスポイントを編集する

1 **ホーム画面で▶「設定」▶「無線とネットワーク」▶「モバイルネットワーク」**

2 **「アクセスポイント名」▶編集するアクセスポイントをタップ**

3 **項目を編集▶▶「保存」**

■アクセスポイントを削除する

1 **ホーム画面で▶「設定」▶「無線とネットワーク」▶「モバイルネットワーク」**

2 **「アクセスポイント名」▶削除するアクセスポイントをタップ**

3 **▶「APNを削除」**

■アクセスポイントの設定をリセットする

1 **ホーム画面で▶「設定」▶「無線とネットワーク」▶「モバイルネットワーク」**

2 **「アクセスポイント名」▶▶「初期設定にリセット」**

❖**お知らせ**

- リセットすると、お客さまが追加したアクセスポイントの設定は削除されます。

Wi-Fiを利用する

Wi-Fi機能を利用して、自宅や社内ネットワーク、公衆無線LANサービスのアクセスポイントに接続し、メールやインターネットを利用できます。

- 本機で対応している暗号化方式は次のとおりです。
  WEP、WPA/WPA2 PSK（TKIP/AES)、IEEE802.1x EAP
- Wi-Fiがオンのときでもパケット通信を利用できます。ただしWi-Fiネットワーク接続中は、Wi-Fiが優先されます。
- Wi-Fiネットワークが切断された場合には、自動的にモバイルネットワークでの接続に切り替わります。切り替わったままご利用される場合は、パケット通信料が発生しますのでご注意ください。
- Wi-Fiを使用しないときは、オフにすることで電池の消費を抑制できます。

Wi-Fiを使用する前に

Wi-Fiを使用するには、Wi-Fiをオンにしてから利用可能なWi-Fiネットワークを検索して接続します。

- Wi-Fiを使用してインターネットへ接続する場合、事前にWi-Fiネットワークへの接続を行ってください。
- Wi-Fiを使用するときには十分な電波強度が得られるようご注意ください。Wi-Fiネットワークの電波強度は、お使いの端末の位置によって異なります。Wi-Fiルーターの近くに移動すれば、電波強度が改善されることがあります。

■Wi-Fiをオンにする

1 ホーム画面で▶「設定」

設定画面が表示されます。

2 「無線とネットワーク」

3 「Wi-Fi」にチェックを入れる

利用可能なWi-Fiネットワークがスキャンされます。

❖お知らせ

- Wi-Fi接続がオンになるまで、数秒かかる場合があります。

■Wi-Fiネットワークに接続する

1 設定画面で「無線とネットワーク」▶「Wi-Fi設定」

利用可能なWi-Fiネットワークが「Wi-Fiネットワーク」の下に表示されます。利用可能なネットワークは、オープンネットワークまたはセキュリティで保護されたネットワークである場合があります。これは、Wi-Fiネットワーク名の横にあるまたはによって示されます。

2 接続するWi-Fiネットワークをタップ▶「接続」

- セキュリティで保護されたWi-Fiネットワークに接続しようとすると、接続する前にそのWi-Fiネットワークのセキュリティキーの入力が求められます。

❖お知らせ

- 次回接続時は、本機にセキュリティキーが記録されています。

■Wi-Fiネットワークを切り替える

1 設定画面で「無線とネットワーク」▶「Wi-Fi設定」

2 切り替えるWi-Fiネットワークをタップ

3 「接続」

■Wi-Fiネットワークを切断する

1 設定画面で「無線とネットワーク」▶「Wi-Fi設定」

2 接続中のWi-Fiネットワークを選択

3 「切断」

Wi-Fiネットワークのステータス

Wi-Fiネットワークに接続している場合、または近くにWi-Fiネットワークが存在する場合、これらのWi-Fiネットワークのステータスを表示できます。また、セキュリティで保護されていないWi-Fiネットワークを検出した場合は、通知するように設定することもできます。

■Wi-Fiネットワークの通知をオンにする

1 Wi-Fiがオンになっていることを確認

2 設定画面で「無線とネットワーク」▶「Wi-Fi設定」

3 「ネットワークの通知」にチェックを入れる

■Wi-Fiネットワークを手動でスキャンする

1 **設定画面で「無線とネットワーク」▶「Wi-Fi設定」**

2 **≡▶「スキャン」**

Wi-Fiネットワークのスキャンが開始され、Wi-Fiネットワークが「Wi-Fiネットワーク」の下に表示されます。

- タップしてWi-Fiネットワークに接続します。

Wi-Fiの詳細設定

Wi-Fiネットワークを手動で追加する前にWi-Fi設定をオンにしておく必要があります。

■Wi-Fiネットワークを手動で追加する

1 **設定画面で「無線とネットワーク」▶「Wi-Fi設定」**

2 **「Wi-Fiネットワークを追加」**

3 **追加するWi-Fiネットワークの「ネットワークSSID」名を入力**

4 **「セキュリティ」▶追加するWi-Fiネットワークのセキュリティを選択**

5 **必要に応じてパスワードを入力**

6 **「保存」**

❖お知らせ

- ネットワークSSIDとパスワードについては、Wi-Fiネットワーク管理者にお問い合わせください。

■接続中のWi-Fiネットワーク情報を確認する

1 **設定画面で「無線とネットワーク」▶「Wi-Fi設定」**

2 **現在接続中のWi-Fiネットワークをタップ**

ネットワーク情報の詳細が表示されます。

❖お知らせ

- 設定画面で「無線とネットワーク」▶「Wi-Fi設定」▶≡▶「詳細設定」と操作すると、MACアドレスやIPアドレスを確認できます。

Wi-Fiのスリープ設定

Wi-Fiのスリープ設定を変更することで、画面のバックライトが消灯したときに本機のWi-Fi機能がオフになるように設定できます。また、Wi-Fi機能を常にオンにするか、あるいは充電時には常にオンにするように設定することも可能です。

- Wi-Fiネットワークが切断された場合は、自動的にモバイルネットワークでの接続に切り替わります。

■Wi-Fiのスリープ設定を追加する

1 **設定画面で「無線とネットワーク」▶「Wi-Fi設定」**

2 **≡▶「詳細設定」**

3 **「Wi-Fiのスリープ設定」**

4 **使用するスリープ設定を選択**

静的IPアドレスを使用する

静的IPアドレスを使用してWi-Fiネットワークに接続するように設定できます。

■ 静的IPアドレスを設定する

1 **設定画面で「無線とネットワーク」▶「Wi-Fi設定」**

2 **[≡]▶「詳細設定」**

3 **「静的IPを使用する」にチェックを入れる**

4 **項目をタップし、必要な情報を入力**

- 静的IPアドレスを使用するには、「IPアドレス」「ゲートウェイ」「ネットマスク」「DNS1」の入力が必要です。

5 **[≡]▶「保存」**

テザリング機能を利用する

テザリングとは、スマートフォンなどのモバイル機器をモデムとして使い、携帯電話回線を通じてUSB対応機器や、無線LAN対応機器をインターネットに接続させることです。

USBテザリングを設定する

本機を付属のUSBケーブルと接続し、モデムとして利用することで、USB対応機器をインターネットに接続できます。

1 **本機をUSBケーブルでパソコンに接続**

- 初めてUSBケーブルを接続したときは、パソコンに本機のドライバソフトがインストールされます。インストール完了までしばらくお待ちください。完了後、続いて「PC Companionソフトウェア」画面が表示されたら「スキップ」をタップします。この画面を表示しないようにするには、「今後表示しない」にチェックを入れます。PC companionについては、「PC Companionを利用する」(P.144)をご参照ください。

2 **ホーム画面で[▦]▶「設定」▶「無線とネットワーク」▶「テザリングとPocket WiFi」**

3 **「USBテザリング」にチェックを入れる▶「OK」**

USBテザリングが有効になると、ステータスバーに[USB]が表示されます。

- 切断するには、「USBテザリング」のチェックを外します。

❖お知らせ

- USBテザリングを使用するには、次のいずれかのオペレーティングシステムが必要です。
  - Microsoft Windows 7(32bit版/64bit版)
  - Microsoft Windows Vista(32bit版/64bit版)
  - Microsoft Windows XP(SP3以降 32bit版/64bit版)

  ※動作確認済み機種であっても、お客さまの環境において正常動作を保証するものではありません。

Pocket WiFi（Wi-Fiテザリング）を利用する

Pocket WiFi（Wi-Fiテザリング）を利用すると、他の通信機器から本機の3Gパケット通信を経由して、インターネットへ接続できるようになります。

- 他の通信機器から本機に同時に接続できるのは、最大5台までとなります。

1 ホーム画面で（Pocket WiFiウィジェット）

Pocket WiFiが有効になると、アイコンが点灯し（）、ステータスバーにが表示されます。

❖お知らせ

- ホーム画面で▶「設定」▶「無線とネットワーク」▶「テザリングとPocket WiFi」をタップして、「Pocket WiFi」にチェックを入れても、Wi-Fiテザリングを設定できます。

■ネットワークSSIDおよびセキュリティ（パスワード）を確認する

ネットワークSSIDとセキュリティの確認、設定ができます。
お買い上げ時は以下の設定となっています。
ネットワークSSID：S51SE-PocketWiFi
セキュリティ（パスワード）：WPA2 PSK（8桁の数字）

- 本機で対応している暗号化方式は次のとおりです。
  WPA2 PSK（AES）

1 ホーム画面で▶「設定」▶「無線とネットワーク」▶「テザリングとPocket WiFi」

2 「Pocket WiFi設定」

3 「Pocket WiFiのセキュリティ設定」▶ネットワークSSIDおよびセキュリティ（パスワード）を確認

- 「パスワードを表示」にチェックを入れると、パスワードが表示されます。
- ネットワークSSIDおよびセキュリティ（パスワード）を変更し「保存」をタップすると設定を変更できます。

VPN（仮想プライベートネットワーク）に接続する

仮想プライベートネットワーク（VPN：Virtual Private Network）は、保護されたローカルネットワーク内の情報に、別のネットワークから接続する技術です。VPNは一般に、企業や学校、その他の施設に備えられており、ユーザーは構内にいなくてもローカルネットワーク内の情報にアクセスできます。本機からVPNアクセスを設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を得る必要があります。

■VPNを追加する

1 ホーム画面で▦▶「設定」▶「無線とネットワーク」▶「VPN設定」

2 「VPNの追加」

3 追加するVPNを選択

4 ネットワーク管理者の指示に従い、VPNの各項目を設定

5 ≡▶「保存」

■VPNに接続する

1 ホーム画面で▦▶「設定」▶「無線とネットワーク」▶「VPN設定」

2 接続するVPNを選択

3 必要な認証情報を入力

4 「接続」

■VPNを切断する

1 ステータスバーを下向きにドラッグ

2 VPN接続中を示す通知をタップ

3 接続中のVPNをタップ

ブラウザを利用する

ブラウザを利用して、ウェブページを閲覧できます。

■ ブラウザを開く

1 **ホーム画面で[アイコン]▶「ブラウザ」**

ブラウザ画面のメニュー

ブラウザ画面で[≡]をタップすると、次のメニューが表示されます。

項目	説明
新しいウィンドウ	新しいウィンドウを開きます。
ブックマーク	ウェブページをブックマークに追加したり、ブックマークの一覧を表示します。また、よく閲覧するウェブページの一覧や閲覧履歴を表示します。
ウィンドウ	複数のウィンドウを開いている場合、ウィンドウを切り替えます。
再読み込み	表示中のウェブページを更新します。
進む	[↩]をタップしてウェブページを表示中の場合、直前のページを表示します。
その他	その他のメニューを開き、項目を表示します。

ウェブページを閲覧する

■ ブラウザ画面の見かた

アドレスバーを使用して、ウェブページを閲覧します。

《ブラウザ画面》

※実際の画面とは異なる場合があります。

① **表示中のウェブページのダウンロード進捗状況を表示します。**

② **アドレスバー**
ウェブページのURLを入力するか、キーワードを入力してウェブページを検索します。

③ **表示中のウェブページのダウンロードを中止します。**

❖お知らせ

- ダウンロードが完了してウェブページが表示されると、アドレスバーの右側に[アイコン]が表示されます。[アイコン]▶「追加」▶必要に応じて名前とURLを編集▶「OK」と操作すると、ブックマークに追加できます。

■ウェブページに移動する

1 **ブラウザ画面でアドレスバーをタップ**
キーボードが表示されます。

2 **ウェブページのURLを入力**

3 **→をタップ**

■ウェブページを検索する

1 **ブラウザ画面でアドレスバーをタップ**
キーボードが表示されます。

2 **キーワードを入力**

3 **→をタップ**

■ブラウザを終了する

1 **⌂を押す**

❖**お知らせ**

- ブラウザをもう一度開くと、終了したときと同じ状態でウェブページが表示されます。

ウェブページを操作する

■リンクを選択する

1 **ウェブページ表示中にリンクをタップ**
選択したリンクがオレンジ色でハイライト表示されます。指を離すとリンク先のウェブページが表示されます。

❖**お知らせ**

- 間違ってリンクを選択した場合、リンクがハイライト表示されなくなるまで指を遠くにドラッグすると、選択を解除できます。

■前のページに移動する

1 **ウェブページ表示中に⮌**

■ウェブページを拡大／縮小する

ウェブページを拡大／縮小するには、次のいずれかの操作を行ってください。

- 画面上の拡大したい場所でピンチアウト、縮小したい場所でピンチイン
- ズームコントロールアイコンをタップ（ズームコントロールアイコンは、画面上でドラッグすると表示されます）
- 画面上の拡大／縮小したい場所でダブルタップ

■表示中のウェブページを更新する

1 **ウェブページ表示中に≡▶「再読み込み」**

■表示中のウェブページへのリンクを共有する

1 **ウェブページ表示中に≡▶「その他」**

2 **「ページを共有」**

3 **転送方法を選択**

4 **画面の指示に従って操作**

ブックマークを管理する

ブックマークを使用すると、お気に入りのウェブサイトやよく閲覧するウェブページに簡単にアクセスできます。

■ウェブページをブックマークに追加する

1 ウェブページ表示中に [≡] ▶「ブックマーク」

2 「追加」

3 必要に応じて、名前とURLを編集▶「OK」

❖お知らせ

- ウェブページ表示中に、アドレスバーの右にある ▶「追加」▶必要に応じて、名前とURLを編集▶「OK」と操作してもブックマークに追加できます。

■ブックマークを開く

1 ブラウザ画面で [≡] ▶「ブックマーク」

2 ブックマークをタップ

■ブックマークを編集する

1 ブラウザ画面で [≡] ▶「ブックマーク」

2 ブックマークをロングタッチ

3 「編集」

4 必要に応じて、名前とURLを編集▶「OK」

■ブックマークを削除する

1 ブラウザ画面で [≡] ▶「ブックマーク」

2 ブックマークをロングタッチ

3 「削除」▶「OK」

■以前アクセスしたウェブページをブックマークに追加する

1 ブラウザ画面で [≡] ▶「ブックマーク」

2 「よく見るサイト」タブ／「履歴」タブ

よく閲覧するウェブページ一覧画面／閲覧履歴画面が表示されます。

3 ブックマークに追加するウェブページの右側にある ★ をタップ

■ホーム画面にショートカットを追加する

1 ブラウザ画面で [≡] ▶「ブックマーク」

2 ブックマークをロングタッチ▶「ショートカットを作成」

テキストと画像を管理する

■ウェブページでテキストを検索する

1 **ウェブページ表示中に ≡ ▶「その他」**

2 **「ページ内検索」**

3 **検索する文字列を入力**

一致する文字列が緑色でハイライト表示されます。

4 **＜／＞をタップ**

前後の一致項目に進みます。

- 検索を終了するには、×をタップします。

■ウェブページでテキストをコピーする

1 **ウェブページ表示中に ≡ ▶「その他」**

2 **「テキストを選択してコピー」**

3 **コピーするテキストの開始点に指を置き、コピーするテキストの終了点までドラッグ**

選択したテキストがハイライト表示されます。

4 **画面から指を離し、選択したテキストをタップ**

選択したテキストがコピーされます。

❖お知らせ

- コピーしたテキストをメールの本文などに貼り付けるには、メールなどの本文入力欄をロングタッチ▶「貼り付け」と操作します。

■画像を保存する

1 **ウェブページ表示中に保存する画像をロングタッチ**

2 **「画像を保存」**

マルチウィンドウ

本機のブラウザでは、最大で8つのウィンドウを開くことができます。

■新しいウィンドウを開く

1 **ブラウザ画面で ≡ ▶「新しいウィンドウ」**

■新しいウィンドウでリンクを開く

1 **ウェブページ表示中にリンクをロングタッチ**

2 **「新しいウィンドウで開く」**

■ウィンドウを切り替える

1 **ブラウザ画面で ≡ ▶「ウィンドウ」**

開いているすべてのウィンドウの一覧が表示されます。

2 **表示するウィンドウをタップ**

ウェブページからダウンロードする

ウェブページからアプリケーションやコンテンツをダウンロードできます。ファイルやダウンロード先のリンクをタップすると、自動的にダウンロードが開始されます。

■ ダウンロードしたファイルを確認する

1 ブラウザ画面で ≡ ▶「その他」

2「ダウンロード履歴」

❖お知らせ

- ホーム画面で ▦ ▶「ダウンロード」と操作してもダウンロード履歴を表示できます。
- Androidマーケットからダウンロードしたアプリケーションは表示されません。

■ ダウンロードを中止する

1 ブラウザ画面で ≡ ▶「その他」

2「ダウンロード履歴」

3 ダウンロード中のファイルにチェックを入れる

4「削除」

❖お知らせ

- 同様の操作で、ダウンロード済みのファイルも削除できます。

ブラウザを設定する

■ ブラウザの設定を変更する

1 ブラウザ画面で ≡ ▶「その他」

2「設定」

3 項目を設定

項目	説明
文字サイズ	文字サイズを設定します。
デフォルトの倍率	ウェブページの表示倍率を設定します。
ページを全体表示で開く	新しく開くウェブページを、全体表示するかどうかを設定します。
エンコードの設定	テキストエンコードを設定します。
ポップアップをブロック	ポップアップウィンドウをブロックするかどうかを設定します。
画像の読み込み	ウェブページの画像を表示するかどうかを設定します。
ページの自動調整	画面に合わせて、ウェブページを調整するかどうかを設定します。
常に横向きに表示	ウェブページの表示方向を常に横向きに表示するかどうかを設定します。
JavaScriptを有効にする	JavaScriptを有効にするかどうかを設定します。
プラグインを有効にする	プラグインを有効にするかどうかを設定します。
バックグラウンドで開く	リンクをロングタッチして「新しいウィンドウで開く」をタップしたとき、表示中のウィンドウの後ろに新しいウィンドウを開くかどうかを設定します。
ホームページ設定	ホームページを設定します。
キャッシュ削除	キャッシュを削除します。

項目	説明
履歴削除	ウェブページの閲覧履歴を削除します。
Cookieを受け入れる	Cookieの保存･読み取りを許可するかどうかを設定します。
Cookieをすべて削除	保存されているCookieをすべて削除します。
フォームデータを保存	フォームに入力したデータを保存して、後で呼び出せるようにするかどうかを設定します。
フォームデータを削除	保存されているフォームデータをすべて削除します。
位置情報を有効にする	ウェブサイトに、現在位置情報へのアクセスを許可するかどうかを設定します。
位置情報アクセスを削除	位置情報サービスにアクセスした際に収集したデータを削除します。
パスワードを保存	ウェブページに入力したユーザー名・パスワードを保存するかどうかを設定します。
パスワードを削除	保存されているユーザー名・パスワードを削除します。
セキュリティ警告	ウェブページの安全性に問題がある場合に、警告を表示するかどうかを設定します。
検索エンジンの設定	アドレスバーで検索する際の検索エンジン（Google、Yahoo! JAPAN、Bing、goo）を選択します。
ウェブサイト設定	位置情報にアクセスしたウェブページなどの詳細設定を行います。
初期設定にリセット	ブラウザの設定を初期設定に戻します。

ミュージックプレーヤー

ミュージックプレーヤーについて

パソコンからmicroSDカードに転送した、またはオンラインストアから購入してダウンロードした音楽、オーディオブック、ポッドキャストを視聴できます。

メディアファイルをmicroSDカードにコピーする

音楽、写真、動画などのファイルを簡単に転送できます。USBケーブルで本機をパソコンに接続し、次のいずれかの方法を使用します。

- Windows Explorerなどのファイルマネージャアプリケーションを使用
  詳細については、「本機とパソコンでデータをコピー／移動する」（P.141）をご参照ください。
- Media Goを使用
  Media Goは、http://www.sonyericsson.co.jp/mediago/ からダウンロードできます。詳細については、「Media Goを使ってデータを転送する」（P.145）をご参照ください。

ミュージックプレーヤーを使用する

■楽曲を再生する

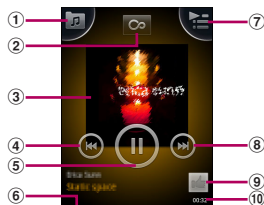
1 **ホーム画面で▶「ミュージック」**

2 **をタップ**

3 **カテゴリ（「アーティスト」／「アルバム」／「トラック」／「プレイリスト」）を選択**

4 **上下にスクロールし、楽曲を閲覧**

5 **楽曲をタップ**

■ ミュージックプレーヤー画面の見かた

《ミュージックプレーヤー画面》

① アーティスト／アルバム／トラック／プレイリストの楽曲一覧を表示
② インフィニットボタン
再生中の楽曲に関連する情報をオンラインで検索
③ アルバムアート（入手できる場合）
④ 前の楽曲に戻る／巻き戻し
⑤ 再生／一時停止ボタン
⑥ プログレスバー
ドラッグ／タップで早送り／巻き戻し
⑦ 再生中の楽曲とその楽曲を含む一覧を表示
⑧ 次の楽曲に進む／早送り
⑨ Facebook上で「いいね！」を指定／解除
Facebook（Sony Ericsson端末用Facebook）にログインしている場合に表示されます。
⑩ 現在の楽曲の再生時間

■ 次の楽曲に進む／前の楽曲に戻る

1 ミュージックプレーヤー画面で ⏭ ／ ⏮

■ 楽曲を一時停止する

1 ミュージックプレーヤー画面で ⏸

■ 楽曲を早送り／巻き戻しする

1 ミュージックプレーヤー画面で ⏭ ／ ⏮ をロングタッチ

❖**お知らせ**

- プログレスバーを左右にドラッグしても操作できます。

■ 音量を調節する

1 ミュージックプレーヤー画面で ▱▱

■ イコライザーを使用する

1 ミュージックプレーヤー画面で ≡

2 「イコライザー」

3 項目を選択

■ 現在の楽曲を表示する

1 ミュージックプレーヤー画面で ☰

■ミュージックプレーヤーをバックグラウンド再生にする

ミュージックプレーヤーをバックグラウンドで再生している間は、他のアプリケーションを自由に使用できます。

1 **ミュージックプレーヤー画面で[戻る]／[ホーム]**

■バックグラウンドで再生中のミュージックプレーヤーに戻る

1 **ステータスバーを下向きにドラッグ**

2 **楽曲タイトルをタップ**

❖お知らせ

- [ホーム]を長押し▶「ミュージック」と操作してもミュージックプレーヤーに戻ります。

■楽曲を削除する

1 **ミュージックプレーヤー画面で[♫]▶カテゴリを選択**

2 **削除する楽曲のタイトルをロングタッチ**

3 **「削除」▶「削除」**

❖お知らせ

- 同様の操作で、アルバムも削除できます。

■複数の楽曲を同時に削除する

1 **ミュージックプレーヤー画面で[♫]▶[メニュー]**

2 **「複数のアイテムを削除」**

3 **削除する楽曲にチェックを入れる**

4 **「削除」▶「削除」**

■楽曲を共有する

1 **ミュージックプレーヤー画面で[♫]▶カテゴリを選択**

2 **共有する楽曲のタイトルをロングタッチ**

3 **「送信」**

4 **転送方法を選択**

5 **画面の指示に従って操作**

❖お知らせ

- 同様の操作で、アーティストやアルバム、プレイリストも共有できます。
- 著作権保護された楽曲はコピーや送信、転送ができない場合があります。

■複数の楽曲を同時に共有する

1 ミュージックプレーヤー画面で♫▶☰

2 「複数のアイテムを送信」

3 共有する楽曲にチェックを入れる

4 「送信」

5 転送方法を選択

6 画面の指示に従って操作

❖お知らせ

- 著作権保護された楽曲はコピーや送信、転送ができない場合があります。

■楽曲を着信音に設定する

1 ミュージックプレーヤー画面で♫▶カテゴリを選択

2 着信音に設定する楽曲のタイトルをロングタッチ

3 「着信音に設定」

楽曲をランダムに再生する

楽曲をランダムな順序で再生できます。作成したオリジナルのプレイリストやアルバムもランダム再生できます。

1 ミュージックプレーヤー画面で♫

2 カテゴリを選択

- 「トラック」を選択した場合は、手順4へ進みます。

3 項目をタップ

楽曲一覧が表示されます。

4 「すべてシャッフル」

プレイリスト

ミュージックプレーヤーでは、自動的に「新規追加されたトラック」「再生回数の多いトラック」「未再生トラック」のプレイリストが作成されます。また、自分の好きな楽曲を集めて新しいプレイリストを作成することもできます。
Media Go（P.145）を使用すると、ミュージックライブラリを管理したり、プレイリストを作成したりして、自分用のプレイリストを作成することもできます。

■プレイリストを再生する

1 ミュージックプレーヤー画面で♫▶「プレイリスト」

2 プレイリストをタップ

3 楽曲をタップ

■新規追加された楽曲を再生する

1 ミュージックプレーヤー画面で♫▶「プレイリスト」

2 「新規追加されたトラック」

3 楽曲をタップ

■再生回数の多い楽曲を再生する

1 ミュージックプレーヤー画面で▶「プレイリスト」

2 「再生回数の多いトラック」

3 楽曲をタップ

■未再生の楽曲を再生する

1 ミュージックプレーヤー画面で▶「プレイリスト」

2 「未再生トラック」

3 楽曲をタップ

■オリジナルのプレイリストを作成する

1 ミュージックプレーヤー画面で▶カテゴリを選択

2 アーティスト名／アルバム／楽曲のタイトルをロングタッチ

3 「プレイリストに追加」▶「新規プレイリストの作成」

4 プレイリストの名前を入力▶「OK」▶「保存」

プレイリストが作成され、アーティスト／アルバム／楽曲が追加されます。

- ミュージックプレーヤー画面で▶「プレイリスト」と操作すると、作成したプレイリストが表示されます。

■楽曲をプレイリストに追加する

1 ミュージックプレーヤー画面で▶カテゴリを選択

2 追加するアーティスト名／アルバム／楽曲のタイトルをロングタッチ

3 「プレイリストに追加」

4 追加するプレイリスト名をタップ

アーティスト、アルバム、楽曲がプレイリストに追加されます。

■プレイリストから楽曲を削除する

1 ミュージックプレーヤー画面で▶「プレイリスト」

2 プレイリストをタップ▶削除する楽曲のタイトルをロングタッチ

3 「プレイリストから削除」

■プレイリストを削除する

1 ミュージックプレーヤー画面で▶「プレイリスト」

2 削除するプレイリストをロングタッチ

3 「削除」▶「削除」

TrackID

TrackIDを利用する

TrackIDは、楽曲認識サービスです。スピーカーを通して聞こえている楽曲のタイトル、アーティスト名、アルバム名を検索できます。TrackIDで良好な結果を得るために、静かな場所で使用してください。他の人に楽曲をすすめたりすることもできます。さらに、YouTubeで関連するコンテンツを検索し、表示することができます。TrackIDを使用できない場合は、インターネット接続をご確認ください（P.95、P.157）。

■TrackIDを起動する

1 **ホーム画面で▶「TrackID™」**

■楽曲情報を検索する

1 **ホーム画面で▶「TrackID™」**

2 **本機を音源に向ける**

3 **「録音」**

結果画面に楽曲情報が表示されます。

- TrackIDの初期画面に戻るには、をタップします。

TrackIDの結果を利用する

TrackIDによって楽曲が認識されたら、他の人にすすめたり、YouTubeでその楽曲に関連したコンテンツを検索したりできます。楽曲情報は検索後に表示されますが、履歴リストにも記録されます。

■TrackIDの結果を利用するために

- 録音した楽曲が認識されると楽曲情報が表示されます。楽曲情報画面の各キーをタップして、他の人にすすめたり、YouTubeで表示したりします。
- 履歴リストで目的の楽曲をタップしたり、をタップして任意のチャートから楽曲情報の画面を表示することができます。

FMラジオ

FMラジオを利用する

本機でFM放送を聴くことができます。自動／手動で選局し、お好みの局をお気に入りに登録することもできます。FMラジオをご利用になる場合は、イヤホンマイク（試供品）などのハンズフリー機器やヘッドフォンをご使用ください。受信アンテナとして機能します。

■FMラジオを起動する

1 イヤホンマイクを本機に接続

- イヤホンマイクの取り付けかたについては、「イヤホンマイクを使用する」（P.56）をご参照ください。

2 ホーム画面で▶「FMラジオ」

FMラジオ画面が表示され、自動的に選局を開始します。

- 画面を上下にドラッグして選局することもできます。

❖お知らせ

- アンテナとして機能するハンズフリー機器やヘッドフォンに接続する必要があります。

■FMラジオ画面の見かた

《FMラジオ画面》

① 上方向にお気に入りを選局
② 選局ボタン
③ お気に入りアイコン
④ お気に入りに登録した放送局
⑤ 下方向にお気に入りを選局
⑥ FMラジオのオン／オフ
⑦ Facebook上で「いいね！」を指定／解除
- Facebookにログインしている場合に表示されます。
- TrackID経由で検索された楽曲に対して設定します。

⑧ TrackID（P.113）で楽曲情報を検索

お気に入りを使用する

視聴する回数の多い放送局をお気に入りとして登録できます。お気に入りを使用すれば、登録した放送局にすぐに戻ることができます。

■ 放送局をお気に入りとして保存する

1 FMラジオ画面でお気に入りに登録する放送局を選局

2 ☆をタップ

選局した放送局の帯域がお気に入りに登録され、☆の星がグレーから白色に変わります。

■ お気に入りの放送局を削除する

1 FMラジオ画面でお気に入りから削除する放送局を選局

2 ☆をタップ

☆の星が白色からグレーに変わります。

■ お気に入りの放送局を選局する

1 FMラジオ画面で⌃／⌄

❖お知らせ

- お気に入りの放送局を選局するには、少なくとも2つの放送局をお気に入りとして登録する必要があります。

放送局を新しく検索する

新しい場所に移動したり、現在地の受信状態が良くなったら、放送局を新たに検索できます。
登録済みのお気に入り放送局は新しい検索を行っても影響を受けません。

1 FMラジオ画面で ≡ ▶「チャンネルの検索」

放送局の電波をキャッチすると、検索が終了します。利用可能な放送局をすべて表示します。

スピーカーとハンズフリー機器を切り替える

ハンズフリー機器やヘッドフォン、あるいは本機のスピーカーのいずれで聞くかを選択します。

1 FMラジオ画面で ≡ ▶「スピーカーで再生」／「ヘッドホンで再生」

音の出力がスピーカー／ハンズフリー機器に切り替わります。

カメラ

カメラで撮影する

画面をタップして写真の撮影や動画の録画ができます。写真の撮影は、横向きと縦向きの画面のどちらでも利用できます。動画の録画は横向きの画面のみ利用できます。撮影した写真や動画は自動的にmicroSDカードに保存されます。友人と写真や動画を共有したり、ウェブサービスに写真や動画をアップロードすることができます。

カメラを使用する前に

- カメラを使用する前にmicroSDカードを挿入してください。本機で撮影した写真または動画は、すべてmicroSDカードに保存されます。また、microSDカードでデータを読み書きしている場合、写真を撮影することはできません。
- 本機を利用して撮影または録音したものを複製、編集などする場合は、著作権侵害にあたる利用方法をお控えいただくことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変などすると肖像権を侵害することとなりますので、そのような利用方法もお控えください。なお実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影または録音などが禁止されている場合がありますので、ご注意ください。
- お客さまが本機で撮影または録音したものは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますので、そのようなご利用もお控えください。撮影したものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権には十分にご注意ください。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。著作権にかかわる画像の伝送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用になれませんので、ご注意ください。
- カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。お客さまが本機を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為等を行う場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。

カメラを使いこなすヒント

■ 三分割構図
被写体はフレームの真ん中に配置しないようにしましょう。三分割構図にする（被写体を3分の1の位置に配置する）と良い写真が撮れます。

■ カメラをしっかり持つ
カメラをしっかり持つことで、手ぶれを防ぎます。屋内であれば壁や柱、屋外であれば木などに寄りかかって、手を安定させましょう。

■ 被写体に近づく
被写体にできる限り近づくことにより、撮影画面に被写体をきちんとおさめることができます。

■ バリエーションのある撮りかた
アングルを変えたり、被写体に近づいたり、撮りかたにバリエーションをつけましょう。
縦の写真を撮ったら、次はポジションを変えてみましょう。

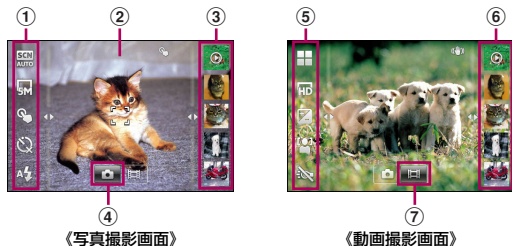
■ 無地の背景を使用する
無地の背景を使うと、被写体が引き立ちます。

■ レンズをいつも清潔にする
携帯電話はあらゆる天候や場所で使用され、ポケットやバッグで持ち運びされます。
これによって、カメラレンズが汚れたり、指紋が付くことが増えます。やわらかい清潔な布を使って、レンズの汚れを落としてください。

3Dスイングパノラマ撮影／スイングパノラマ撮影のご注意

- 以下の場合、3Dスイングパノラマ撮影／スイングパノラマ撮影に適していません。
  - 動きのある被写体がある場合
  - 主要被写体とカメラの距離が近すぎる場合
  - 空、砂浜、芝生などの似たような模様が続く被写体がある場合
  - 大きな被写体がある場合（3Dスイングパノラマ撮影）
  - 波や滝など、常に模様が変化する被写体がある場合
- 一定時間内に3Dスイングパノラマ撮影画角／スイングパノラマ撮影画角に満たなかった場合、足りない部分はグレーで記録されます。この場合はカメラを速く動かすと最後まで記録されます。
- 複数の画像を合成するため、つなぎ目が滑らかに記録できない場合があります。
- 暗いシーンでは画像がぶれたり、撮影ができない場合があります。
- 蛍光灯など、ちらつきのある光源がある場合、合成された画像の明るさや色合いが一定でなくなり、うまく撮影できないことがあります。
- 3Dスイングパノラマ撮影／スイングパノラマ撮影される画角全体と、ピントを合わせたときの画角とで、明るさや色合い、ピント位置などが極端に異なる場合、うまく撮影できない場合があります。
- 以下の場合、3Dスイングパノラマ撮影／スイングパノラマ撮影が中断されることがあります。
  - カメラを動かす速度が速すぎる場合／遅すぎる場合
  - ぶれすぎた場合
  - カメラを撮影方向と逆に動かした場合

撮影画面の見かたと操作

• 本章では、すべて横画面での手順を説明しています。

《写真撮影画面》　《動画撮影画面》

① 設定バー（写真撮影画面）
② 撮影画面
③ 最近撮影した写真の表示（サムネイルバー）
④ 写真撮影機能を起動
⑤ 設定バー（動画撮影画面）
⑥ 最近録画した動画の再生（サムネイルバー）
⑦ 動画撮影機能を起動

• ：カメラを起動／写真を撮影／動画を録画
• ：すべての設定を表示
• ：手順を戻る／カメラを終了
• ：ズームイン／ズームアウト

■カメラを起動する

1 **を長押し／ホーム画面で▶「カメラ」**

■カメラを閉じる

1 **をタップ**

写真を撮影する

■カメラキー（）を使用して写真を撮影する

1 **ホーム画面で▶「カメラ」**

• 写真撮影画面が表示されていない場合は、をタップします。

2 **を半押し**

オートフォーカス機能により、フォーカスフレームが緑色に変わります。

3 **を止まるまでしっかり押す**

写真は自動的にmicroSDカードに保存されます。

■画面をタップして写真を撮影する

1 **ホーム画面で▶「カメラ」**

• 写真撮影画面が表示されていない場合は、をタップします。

2 **をタップ**

すべての設定が表示されます。

3 **「タッチ撮影」▶（ON）**

4 画面をタップ

ピントが合うと、すぐに写真が撮影されます。写真は自動的にmicroSDカードに保存されます。

❖**お知らせ**

- 画面をタップして写真を撮影する際に、[icon]、[icon]、またはその他のアイコンに触れないようにご注意ください。

■ズーム機能を使用する

1 撮影画面で[icon]

■フラッシュを使用する

1 撮影画面で[icon]▶「フラッシュ」

2 項目を選択

3 写真を撮影

■写真を表示する

1 撮影画面でサムネイルバーを左にドラッグ

写真と動画がすべて表示されます。

- サムネイルバーは、画面の右側にあります。

2 上下にフリックし、目的の写真を探す

- 動画には、[icon]が付いています。

3 表示する写真をタップ

- 左右にフリックすると、他の写真と動画を閲覧できます。

■写真を削除する

1 撮影画面でサムネイルバーを左にドラッグ

写真と動画がすべて表示されます。

- サムネイルバーは、画面の右側にあります。

2 削除する写真をタップ

3 [icon]▶「削除」▶「削除」

顔検出

顔検出を使用すると、中心から外れた位置の顔にピントを合わせることができます。カメラが最大5つまで顔を自動的に検出し、ピントを合わせる顔は黄色、その他の顔は白色のフレームで示します。カメラからの距離と、中心からの距離のバランスにより、最適な顔が判断され、自動的にピントが合わせられます。フレームをタップして、ピントを合わせる顔を選択することもできます。

■顔検出を設定する

1 ホーム画面で[icon]▶「カメラ」

- 写真撮影画面が表示されていない場合は、[icon]をタップします。

2 [icon]▶「撮影モード」▶[icon]（標準）

3 [icon]▶「フォーカスモード」▶[icon]（顔検出）

■顔検出を使用して写真を撮影する

1 顔検出を設定し、カメラを被写体に向ける

検出した顔にフレームが表示されます（最大で5つ）。ピントを合わせる顔のフレームが黄色に変わります。

- フレームをタップすると、ピントを合わせる顔を選択できます。

2 [カメラキー]を半押し

ピントを合わせる顔のフレームが緑色に変わり、音が鳴ります。

3 [カメラキー]を止まるまでしっかり押す

写真は自動的にmicroSDカードに保存されます。

スマイル検出

スマイル検出を使用すると、笑った瞬間の顔を撮影できます。カメラが最大5つの顔を検出し、そのうち1つをスマイル検出とオートフォーカスの対象に選びます。選択した顔のフレームが黄色に変わります。選択した顔が笑うと、フレームが緑色に変わりカメラが自動的に写真を撮影します。

■スマイル検出を設定する

1 ホーム画面で[アプリ]▶「カメラ」

- 写真撮影画面が表示されていない場合は、[カメラ]をタップします。

2 [メニュー]▶「撮影モード」▶[スマイル](スマイル検出)

3 [メニュー]▶「スマイルレベル」▶項目を選択

■スマイル検出を使用して写真を撮影する

1 スマイル検出を設定し、カメラを被写体に向ける

検出した顔にフレームが表示されます（最大で5つ）。
カメラがピントを合わせる顔を選択します。ピントを合わせる顔のフレームが黄色に変わります。

2 ピントを合わせる被写体が笑うと､カメラが自動的に写真を撮る

写真は自動的にmicroSDカードに保存されます。

- 撮影画面をタップすると､笑顔を検出できなくても写真を撮ることができます。

スイングパノラマ撮影

スイングパノラマを使用すると、ワイドなアングルのパノラマ撮影ができます。
画面の白枠と黒枠を合わせながらカメラを設定した撮影方向へゆっくりと動かして撮影します。
3Dスイングパノラマを使用すると、立体的な3Dパノラマ撮影もできます。

■3Dスイングパノラマ／スイングパノラマを設定する

1 ホーム画面で[アプリ]▶「カメラ」

- 写真撮影画面が表示されていない場合は、[カメラ]をタップします。

2 [メニュー]▶「撮影モード」▶[3D](3Dスイングパノラマ）／[パノラマ](スイングパノラマ)

3 **パノラマ画像サイズ／撮影方向を選択**

- 3Dスイングパノラマの場合は、をタップしてパノラマ画像サイズを選択できます。
- スイングパノラマの場合は、をタップして撮影方向を選択できます。

■ 3Dスイングパノラマ／スイングパノラマを使用して写真を撮影する

1 **3Dスイングパノラマ／スイングパノラマを設定し、カメラを被写体に向ける**

2 **画面をタップ／を止まるまでしっかり押す**

画面に、白い枠と大きい黒い枠が表示されます。

3 **白枠を大きい黒枠に合わせながらカメラを左から右へゆっくり動かす**

写真は自動的にmicroSDカードに保存されます。

- スイングパノラマで撮影方向を変更した場合は、設定した方向へゆっくり動かして撮影します。

❖お知らせ

- ホーム画面で▶「3Dカメラ」と操作すると、撮影モードが3Dスイングパノラマの状態でカメラを起動できます。

写真に位置情報を追加する

ジオタグ（位置情報）をオンにすると、写真に詳細な撮影場所を示す位置情報のタグを付けることができます。現在地の測位には、モバイルネットワークとWi-Fi（無線ネットワーク）またはGPSを使用します。ジオタグがオンで、現在地を測位できない場合は、撮影画面にが表示されます。現在地を測位できた場合はが表示され、撮影した写真にジオタグが付加されます。上記のいずれのアイコンも表示されない場合は、ジオタグはオフになっています。

■ ジオタグをオンにする

1 **ホーム画面で▶「カメラ」**

- 写真撮影画面が表示されていない場合は、をタップします。

2 **▶「ジオタグ」▶(ON)**

3 **注意文を読んで「OK」**

4 **「無線ネットワークを使用」／「GPS機能を使用」にチェックを入れる**

- 詳細については、「位置情報サービスについて」（P.147）をご参照ください。

5 **注意文を読んで「同意する」**

6 **▶注意文を読んで「OK」**

撮影画面に戻ります。

- 撮影画面にが表示されていれば写真にジオタグが付加されます。

撮影時の設定を変更する

■ 撮影時の設定を変更する

1 ホーム画面で ▶「カメラ」

- 写真撮影画面が表示されていない場合は、 をタップします。

2 ▶設定項目を選択

- あらかじめ撮影画面に5つの設定項目アイコンが表示されています。設定内容により表示される設定項目アイコンは変わります。
- 各設定項目とアイコンについては、「写真撮影設定」(P.122)をご参照ください。

3 選択した設定の項目の1つをタップ

撮影画面に表示される設定項目アイコンが、変更した項目のアイコンに変わります。

■ 写真撮影設定パネルを変更する

1 ホーム画面で ▶「カメラ」

- 写真撮影画面が表示されていない場合は、 をタップします。

2 をタップ

すべての設定が表示されます。

3 移動する設定アイコンをロングタッチ▶希望の位置までドラッグ

- 設定パネルの外までアイコンをドラッグすると、変更がキャンセルされます。

写真撮影設定

設定項目	アイコン	説明
撮影モード	写真の撮影方法を選択します。	
	標準	標準的な撮影モードです。
	シーン認識	カメラが最適なシーンを判断します。シーンが認識されると、認識したシーンのアイコンが表示されます。
	スマイル検出	笑った瞬間の顔を撮影します。カメラが最大5つの顔を検出し、そのうち1つをスマイル検出とオートフォーカスの対象に選びます。選択した顔が笑うと、自動的に撮影されます(P.120)。
	3Dスイングパノラマ	3Dスイングパノラマを撮影します(P.120)。
	スイングパノラマ	スイングパノラマを撮影します(P.120)。

設定項目	アイコン	説明
フォーカスモード	ピントの合わせかたを設定します。 この設定は「撮影モード」が「標準」のときのみ利用できます。	
	シングルオートフォーカス	選択した被写体にカメラが自動的にピントを合わせます。ピントが合うと、フォーカスフレームが白色から緑色に変わります。
	マルチオートフォーカス	撮影画面の複数箇所にカメラが自動的にピントを合わせます。ピントが合うと、フォーカスフレームが白色から緑色に変わります。
	マクロ	接写撮影用のオートフォーカスです。ピントが合うと、フォーカスフレームが白色から緑色に変わります。
	顔検出	カメラが最大5つまで顔を自動的に検出し、ピントを合わせる顔は黄色、その他の顔は白色のフレームで示します。カメラからの距離と、中心からの距離のバランスにより、最適な顔が判断され、自動的にピントが合わせられます。フレームをタップして、ピントを合わせる顔を選択することもできます（P.119）。 顔検出はシーンタイプによっては使用できない場合もあります。
	無限遠	離れた場所から撮影するときに使用します。遠く離れた被写体にピントを合わせます。カメラに近い被写体はぼけることがあります。
フォーカスモード	タッチフォーカス	撮影画面で被写体をタップすると、フォーカスフレームがタップした箇所に移動します。
明るさ（EV補正）	撮影する写真の明るさを設定します。数値を高くすると、明るくなります。 この設定は「撮影モード」が「標準」のときのみ利用できます。	
測光	撮影画面の明るさを測定して、最適な露出のバランスを自動的に判断します。 この設定は「撮影モード」が「標準」のときのみ利用できます。	
	中央	撮影画面の中央に重心を置き、画面全体で測光して露出を調整します。
	平均	撮影画面全体の明るさに基づいて露出を調整します。
	スポット	撮影画面内の中央の一点のみで測光して露出を調整します。
ホワイトバランス	周囲の光源に合わせて色合いを調整します。 この設定は「撮影モード」が「標準」のときのみ利用できます。	
	自動	周囲の光源に合わせて自動的に色合いを調整します。
	電球	電球のような照明に合わせて色合いを調整します。
	蛍光灯	蛍光灯のような照明に合わせて色合いを調整します。
	太陽光	日向での撮影に合わせて色合いを調整します。
	曇り	曇り空や日陰に合わせて色合いを調整します。

設定項目	アイコン	説明
手ぶれ補正	写真撮影の際に、わずかな手の動きによる写真のぶれを補正します。 この設定は「撮影モード」が「標準」のときのみ利用できます。	
	ON	手ぶれを軽減します。この機能をオンにすると、撮影した画像の保存に時間がかかります。
	OFF	手ぶれ補正を使用しません。
シーン	プログラム済みのシーン設定を使用して、さまざまな状況に合わせてカメラを簡単に設定できます。 この設定は「撮影モード」が「標準」のときのみ利用できます。	
	OFF	自動的に色合いや明るさを調整します。
	ポートレート	人物の肌の色を、明るく暖かい色調で、きれいに撮影します。
	風景	木々の色を鮮やかに表現し、遠景にピントを合わせて撮影します。
	夜景	夜景を明るくきれいに撮影します。露出時間が長くなるため、手ぶれにご注意ください。
	夜景ポートレート	夜景を背景にした人物の撮影に適しています。露出時間が長くなるため、手ぶれにご注意ください。
	ビーチ&スノー	ビーチや雪景色を明るく鮮やかに再現します。
	スポーツ	動きの速い被写体の撮影で、露出時間を短くして動きのぶれを最小限に抑えます。

設定項目	アイコン	説明
シーン	パーティー	室内の照明の雰囲気を活かしながら、きれいに撮影します。露出時間が長くなるため、手ぶれにご注意ください。
	ドキュメント	文字や図の撮影に使用します。文字をくっきりと明るく、読みやすく撮影します。
フラッシュ	暗い場所や逆光での撮影時に、フラッシュを点灯させるかどうかを設定します。	
	自動	明るさに応じて自動的にフラッシュを点灯します。
	常にフラッシュをON	明るさに関係なく常にフラッシュを点灯します。
	OFF	フラッシュは点灯しません。 • フラッシュオフのほうが写真の品質が良くなる場合があります。フラッシュを点灯させないときは、セルフタイマーを使用すると、手ぶれを防止することができます。
	赤目軽減	フラッシュによる赤目現象を軽減します。
解像度	写真撮影の前に、画像サイズと縦横比を選択します。解像度が高くなるほど、記録するためにより大きなメモリ容量が必要になります。	
	5MP 4:3	画像サイズ5メガピクセル、縦横比4:3。高解像度。標準サイズの画面に表示したり、高解像度で印刷するのに適しています。
	3MP 16:9	画像サイズ3メガピクセル、縦横比16:9。高解像度。ワイドスクリーンの画面に表示するのに適しています。

<table>
<tr><th>設定項目</th><th>アイコン</th><th>説明</th></tr>
<tr><td rowspan="2">解像度</td><td>2PM 4:3</td><td>画像サイズ2メガピクセル、縦横比4:3。標準サイズの画面に表示するのに適しています。</td></tr>
<tr><td>2PM 16:9</td><td>画像サイズ2メガピクセル、縦横比16:9。ワイドスクリーンの画面に表示するのに適しています。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">パノラマ画像サイズ</td><td colspan="2">この設定は「撮影モード」が「3Dスイングパノラマ」のときのみ利用できます。</td></tr>
<tr><td>16:9</td><td>縦横比16:9。ワイドスクリーンの画面に表示するのに適しています。</td></tr>
<tr><td>標準</td><td>パノラマ標準サイズです。パノラマ撮影に適しています。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">セルフタイマー</td><td colspan="2">自分の写真を撮影したり、全員が揃ったグループ写真を撮影したりするときに使用します。撮影時の手ぶれを防ぐためにもセルフタイマーを使用できます。</td></tr>
<tr><td>ON（10秒）</td><td>を押してから10秒後に撮影します。</td></tr>
<tr><td>ON（2秒）</td><td>を押してから2秒後に撮影します。</td></tr>
<tr><td>OFF</td><td>を押すとすぐに撮影します。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">タッチ撮影</td><td colspan="2">撮影画面をタップするとすぐに写真を撮影できるように設定します（P.118）。</td></tr>
<tr><td>ON</td><td>画面をタップして撮影します。</td></tr>
<tr><td>OFF</td><td>を押して撮影します。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>設定項目</th><th>アイコン</th><th>説明</th></tr>
<tr><td rowspan="4">スマイルレベル</td><td colspan="2">スマイル検出機能が反応する笑顔のレベルを設定します。
この設定は「撮影モード」が「スマイル検出」のときのみ利用できます（P.120）。</td></tr>
<tr><td>大笑い</td><td>大笑いしている顔を検出したときに写真を撮影します。</td></tr>
<tr><td>普通の笑顔</td><td>普通の笑顔を検出したときに写真を撮影します。</td></tr>
<tr><td>ほほ笑み</td><td>ほほ笑み程度の笑顔でも写真が撮影されます。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">ジオタグ</td><td colspan="2">写真に詳細な撮影場所を示す位置情報のタグを付けることができます（P.121）。</td></tr>
<tr><td>ON</td><td>オンに設定すると、位置情報が撮影した写真に付加されます。ジオタグを使用するには設定メニューで位置情報機能をオンにします。位置情報の詳細については、「位置情報サービスについて」（P.147）をご参照ください。
• ジオタグを写真に追加するには、撮影前に位置を確認しておく必要があります。撮影画面にが表示されると、位置が特定されます。現在地の検索中は、が表示されます。</td></tr>
<tr><td>OFF</td><td>写真を撮影した場所を地図上で確認することはできません。</td></tr>
</table>

設定項目	アイコン	説明
撮影方向	スイングパノラマの撮影方向を設定します。 この設定は「撮影モード」が「スイングパノラマ」のときのみ利用できます。	
	右	左から右へ撮影します。
	左	右から左へ撮影します。
	下	上から下へ撮影します。
	上	下から上へ撮影します。
照明	暗い場所や逆光があるときは、フォトライトを使用して撮影します。 この設定は「撮影モード」が「3Dスイングパノラマ」、または「スイングパノラマ」のときのみ利用できます。	
	ON	フォトライトが点灯します。
	OFF	フォトライトは点灯しません。
シャッター音	写真を撮影するときに鳴るシャッター音を選択します。	

動画を録画する

■カメラキー（ ）を使用して動画を録画する

1 ホーム画面で ▶「カメラ」

- 動画撮影画面が表示されていない場合は、 をタップします。

2 を押して、録画を開始

3 を押して、録画を停止

録画データが自動的にmicroSDカードに保存されます。

■画面をタップして動画を録画する

1 ホーム画面で ▶「カメラ」

- 動画撮影画面が表示されていない場合は、 をタップします。

2 をタップ

すべての設定が表示されます。

3 「タッチ撮影」▶ (ON)

4 画面をタップして、録画を開始

5 画面をタップして、録画を停止

■動画を再生する

1 撮影画面でサムネイルバーを左にドラッグ

写真と動画がすべて表示されます。

- サムネイルバーは、画面の右側にあります。

2 上下にフリックし、目的の動画を探す

- 動画には、 が付いています。

3 再生する動画をタップ

4 をタップ

動画が再生されます。

❖お知らせ

- 動画を一時停止して をタップし、左右にフリックすると、他の写真や動画を表示できます。

■ 動画を削除する

1 撮影画面でサムネイルバーを左にドラッグ

写真と動画がすべて表示されます。

- サムネイルバーは、画面の右側にあります。

2 削除する動画をタップ

3 [≡]▶「削除」▶「削除」

撮影時の設定を変更する

■ 撮影時の設定を変更する

1 ホーム画面で[▦]▶「カメラ」

- 動画撮影画面が表示されていない場合は、[▦]をタップします。

2 [≡]▶設定項目を選択

- あらかじめ撮影画面に5つの設定項目アイコンが表示されています。設定内容により表示される設定項目アイコンは変わります。
- 各設定項目とアイコンについては、「動画録画設定」（P.127）をご参照ください。

3 選択した設定の項目の1つをタップ

撮影画面に表示される設定項目アイコンが、変更した項目のアイコンに変わります。

■ 動画撮影設定パネルを変更する

1 ホーム画面で[▦]▶「カメラ」

- 動画撮影画面が表示されていない場合は、[▦]をタップします。

2 [≡]をタップ

すべての設定が表示されます。

3 移動する設定アイコンをロングタッチ▶希望の位置までドラッグ

- 設定パネルの外までアイコンをドラッグすると、変更がキャンセルされます。

動画録画設定

設定項目	アイコン	説明
シーン	プログラム済みのシーン設定を使用して、さまざまな状況に合わせてカメラを簡単に設定できます。	
	OFF	自動的に色合いや明るさを調整します。
	ポートレート	人物の肌の色を、明るく暖かい色調で、きれいに撮影します。
	風景	木々の色を鮮やかに表現し、遠景にピントを合わせて撮影します。

設定項目	アイコン	説明
シーン	夜景モード	暗所での撮影に適しています。動きの速い被写体を録画した場合、ぼやけることがあります。カメラを構えて手をしっかり制止させるか、支えを使用します。照明条件が良い場合は、夜景モードをオフにすると、動画の画質が向上します。
	ビーチ＆スノー	ビーチや雪景色を明るく鮮やかに再現します。
	スポーツ	動きの速い被写体の撮影で、露出時間を短くして動きのぶれを最小限に抑えます。
	パーティー	室内の照明の雰囲気を活かしながら、きれいに撮影します。動きの速い被写体を録画した場合、ぼやけることがあります。カメラを構えて手をしっかり制止させるか、支えを使用します。
照明	暗い場所や逆光があるときは、フォトライトを使用して録画します。	
	ON	フォトライトが点灯します。
	OFF	フォトライトは点灯しません。十分な明るさがなくても、フォトライトなしできれいに撮影できる場合もあります。フォトライトなしで動画をきれいに撮影するには、カメラを安定させる必要があります。

設定項目	アイコン	説明
フォーカスモード	ピントの合わせかたを設定します。	
	シングルオートフォーカス	選択した被写体にカメラが自動的にピントを合わせます。
	顔検出	カメラが最高5つまで顔を自動的に検出し、ピントを合わせる顔は黄色、その他の顔は白色のフレームで示します。録画を開始すると、ピントを合わせる顔は緑色のフレームで示します。カメラからの距離と、中心からの距離のバランスにより、最適な顔が判断され、自動的にピントが合わせられます。フレームをタップして、ピントを合わせる顔を選択することもできます。 顔検出はシーンタイプによっては使用できない場合もあります。
	無限遠	離れた場所から撮影するときに使用します。遠く離れた被写体にピントを合わせます。カメラに近い被写体はぼけることがあります。
ムービーサイズ	各フォーマットに合わせてサイズを調整します。	
	HD 720p	縦横比16:9のHD形式 1280×720ピクセル
	フルワイドVGA	縦横比16:9のフルワイドVGA形式 864×480ピクセル
	VGA	縦横比4:3のVGA形式 640×480ピクセル
	QVGA	縦横比4:3のQVGA形式 320×240ピクセル

設定項目	アイコン	説明
セルフタイマー	グループで動画を撮影する場合に、全員が動画に写ることができます。また、本機を手に持たずに固定できるので、録画時にカメラが動いてしまうのを避けることもできます。	
	ON（10秒）	を押してから10秒後に録画を開始します。
	ON（2秒）	を押してから2秒後に録画を開始します。
	OFF	を押すとすぐに録画を開始します。
明るさ（EV補正）	撮影する動画の明るさを設定します。数値を高くすると、明るくなります。	
測光	撮影画面の明るさを測定して、最適な露出のバランスを自動的に判断します。 この設定は「シーン」が「OFF」のときのみ利用できます。	
	中央	撮影画面の中央に重心を置き、画面全体で測光して露出を調整します。
	平均	撮影画面全体の明るさに基づいて露出を調整します。
	スポット	撮影画面内の中央の一点のみで測光して露出を調整します。

設定項目	アイコン	説明
ホワイトバランス	周囲の光源に合わせて色合いを調整します。 この設定は「シーン」が「OFF」のときのみ利用できます。	
	自動	周囲の光源に合わせて自動的に色合いを調整します。
	電球	電球のような照明に合わせて色合いを調整します。
	蛍光灯	蛍光灯のような照明に合わせて色合いを調整します。
	太陽光	日向での撮影に合わせて色合いを調整します。
	曇り	曇り空や日陰に合わせて色合いを調整します。
手ぶれ補正	動画撮影の際に、わずかな手の動きによるカメラの揺れを補正します。	
	ON	手ぶれを軽減します。
	OFF	手ぶれ補正を使用しません。
タッチ撮影	撮影画面をタップするとすぐに撮影を開始／終了できるように設定します（P.126）。	
	ON	画面をタップして録画を開始／終了します。
	OFF	を押して録画を開始／終了します。
マイク	録画時に周囲の音を録音するかどうかを選択します。	
	ON	録画時に周囲の音を録音します。
	OFF	録画時に周囲の音を録音しないようにします。
シャッター音	録画開始音／停止音を選択します。	

ギャラリー

ギャラリーで写真／動画を再生する

ギャラリーを使って、画像や、カメラで撮影した写真や動画を閲覧・再生できます。FacebookやPicasaなど同期可能なオンラインサービスにログインしている場合は、同期することによりオンラインサービス上のアルバムも表示できます。また、Bluetooth®、メッセージなどを経由してギャラリーの写真や動画を共有したり、Media Goを使って本機のmicroSDカードにデータを転送したり、外部からデータを取り込んだりできます。詳細については、「Media Goを利用する」（P.145）をご参照ください。

ブラビアエンジン

色鮮やかで美しい写真や動画を表示するために、画質改善処理（モバイルブラビアエンジン）を設定します。コントラストや色合いなどが調節されます。

■ モバイルブラビアエンジンをオンにする

1 **ホーム画面で▶「設定」**

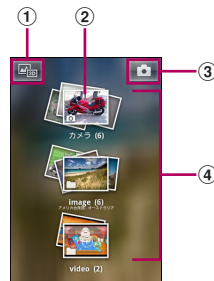
2 **「画面設定」**

3 **「モバイルブラビアエンジン」にチェックを入れる**

アルバムを表示する

撮影した写真や動画、パソコンからmicroSDカードに保存した写真／動画がアルバムで表示されます。FacebookやPicasaなど同期可能なオンラインサービスにログインしている場合は、同期することによりオンラインサービス上のアルバムが表示されます。

1 **ホーム画面で▶「ギャラリー」**

ギャラリー画面が表示されます。

《ギャラリー画面》

① **3Dアルバム：撮影した3Dスイングパノラマ写真を表示**
- 「3Dアルバム」アプリケーションからも機能を起動できます。

② **カメラで撮影した写真と動画のアルバム**
- ピンチアウトすると、アルバム内を表示します。

③ **カメラボタン：タップしてカメラを起動**

④ **アルバム一覧**
- 画面を左右にフリックすると、他のアルバムが表示されます。

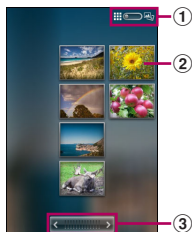
❖お知らせ

- 本機を横向きにしても自動的に画面の向きが変わらないときは、ホーム画面で ▶「設定」▶「画面設定」と操作し、「画面の自動回転」にチェックを入れます。
- 「3Dアルバム」アプリケーションを起動するには、ホーム画面で ▶「3Dアルバム」と操作します。

■アルバムを開く

1 ホーム画面で ▶「ギャラリー」

2 表示するアルバムをタップ

アルバム内の写真／動画ファイルが時系列で表示されます。

《アルバム画面》

① 一覧表示／日時別アルバム表示を切り替えます（P.131）。
② 写真／動画を表示します。
③ 矢印をタップすると、1画面分スクロールします。左右にドラッグすると、高速でスクロールします。

■アルバムの表示方法を変更する

1 ホーム画面で ▶「ギャラリー」

2 アルバムをタップ▶右上の をタップ

日時で区分したアルバムが表示されます。

- もう一度タップすると、ファイルが時系列で一覧表示されます。

アルバムを操作する

■写真と動画をまとめて操作する

写真／動画の一覧画面では、アルバム内の写真／動画を選択し、まとめて操作することができます。

1 ホーム画面で ▶「ギャラリー」

2 操作する写真／動画を含むアルバムをタップ

3 を2回タップ

チェックボックスにチェックが入り、ファイルが選択されます。

4 続けて他のファイルをタップし、複数のファイルを選択

- 選択したファイルをもう一度タップすると、選択が解除されます。
- ▶「すべて選択」／「選択全解除」と操作すると、すべてのアイテムのチェックを入れる／外すことができます。

5 ▶表示されるメニューをタップ

- 選択したファイルによっては、表示されるメニューが異なったり、操作できない場合があります。

■アルバムを共有する

1 ホーム画面で▦▶「ギャラリー」

2 ≣を2回タップ

チェックボックスにチェックが入り、アルバムが選択されます。

3 共有するアルバムにチェックを入れる

4 ≣▶「共有」

5 転送方法を選択

選択した転送方法のアプリケーションが開きます。

❖お知らせ

- Gmail経由でアルバムを共有する場合、メッセージが完全に送信されるまでは、添付ファイルのオリジナルを削除しないでください。添付ファイルが送信されません。

■アルバムを削除する

1 ホーム画面で▦▶「ギャラリー」

2 ≣を2回タップ

3 削除するアルバムにチェックを入れる

4 ≣▶「削除」▶「削除」

写真を表示／編集する

カメラで撮影したりmicroSDカードにダウンロードやコピーした写真を表示することができます。また、microSDカードの写真を編集して、友人と共有することもできます。

■写真を表示する

1 ホーム画面で▦▶「ギャラリー」

2 表示するアルバムをタップ

3 表示する写真をタップ

- 左にフリックすると、次の写真が表示されます。右にフリックすると、前の写真が表示されます。

❖お知らせ

- 本機を横向きにしても自動的に画面の向きが変わらないときは、ホーム画面で▦▶「設定」▶「画面設定」と操作し、「画面の自動回転」にチェックを入れます。

■写真を拡大／縮小表示する

1 写真をダブルタップ／2本指でピンチ

■写真のスライドショーを再生する

1 ホーム画面で▦▶「ギャラリー」

2 表示するアルバムをタップ

3 表示する写真をタップ

4 ≣▶「スライドショー」

- 写真をタップすると、スライドショーが終了します。

■写真を回転する

1 写真表示中に［≡］

2 「その他」▶「左に回転」／「右に回転」

- 写真は回転後の向きで保存されます。

■写真を連絡先の画像として使用する

1 写真表示中に［≡］

2 「登録」▶「連絡先の画像」

3 写真を登録する連絡先をタップ

4 必要に応じて、写真をトリミング

5 「保存」

■写真を壁紙として使用する

1 写真表示中に［≡］

2 「登録」▶「壁紙」

3 必要に応じて、写真をトリミング

4 「保存」

■写真をトリミングする

1 写真表示中に［≡］

2 「その他」▶「トリミング」

3 トリミング枠を調整

- トリミング枠のサイズを変更するには、トリミング枠をロングタッチします。矢印が表示されたら、ドラッグしてサイズを変更します。
- トリミング枠の四辺をすべて同時に変更するには、4つの角のいずれかをロングタッチし、ドラッグしてサイズを変更します。
- トリミング枠を写真の別のエリアに移動させるには、枠の中をロングタッチし、目的の位置までドラッグします。

4 「保存」

トリミングした写真のコピーが保存され、トリミングしていない元の写真はmicroSDカードに残ります。

■写真を共有する

1 写真表示中に［≡］

2 「共有」

3 転送方法を選択

■写真を削除する

1 写真表示中に［≡］

2 「削除」▶「削除」

■Facebookの写真を表示する

1 **Facebookにログインしていることを確認**

2 **ホーム画面で▶「ギャラリー」**

3 **Facebookのアイコンが表示されている任意のアルバムをタップ**

写真は時系列で一覧表示されます。

- 初めてFacebookアルバムをタップすると、Facebookの写真がギャラリーにコピーされます。

4 **表示する写真をタップ**

- 左にフリックすると、次の写真が表示されます。右にフリックすると、前の写真が表示されます。

地図上に写真を表示する

写真を撮影した場所を地図上に表示することができます。友人や家族に自分がいた場所を見せたり、目的地から帰る道順を検索したりできます。

カメラで撮影した写真を地図上に表示するには、写真を撮る前に写真撮影設定のジオタグをオンにする必要があります。また、あらかじめ「現在地情報とセキュリティ」の設定も行う必要があります。詳細については、「位置情報サービスについて」（P.147）をご参照ください。

1 **写真表示中に**

2 **「その他」▶「地図に表示」**

動画を再生／編集する

カメラで撮影したりmicroSDカードにダウンロードやコピーした動画を再生することができます。また、動画を友人と共有したり、YouTubeに投稿することもできます。

■動画を再生する

1 **ホーム画面で▶「ギャラリー」**

2 **表示するアルバムをタップ▶再生する動画をタップ**

❖**お知らせ**

- 本機を横向きにしても自動的に画面の向きが変わらないときは、動画再生中に▶「画面設定」と操作し、「画面の自動回転」にチェックを入れます。

■動画を一時停止する

1 **動画再生画面をタップ**

再生コントロールが表示されます。

2 **をタップ**

■動画を早送り／巻戻しする

1 **動画再生画面をタップ**

再生コントロールが表示されます。

2 **マーカーを右にドラッグ（早送り）／左にドラッグ（巻き戻し）**

- ／をタップしても早送り／巻き戻しできます。

■動画の音量を調節する

1 **動画再生中に**

■動画を共有する

1 **ホーム画面で▶「ギャラリー」**

2 **表示するアルバムをタップ**

3 **を2回タップ**

4 **共有する動画にチェックを入れる**

5 **▶「共有」**

6 **転送方法を選択**

❖お知らせ

- 著作権保護されたアイテムはコピーや送信、転送ができない場合があります。また、ファイルサイズが大きすぎる場合、一部のアイテムが送信されないことがあります。

■動画を削除する

1 **ホーム画面で▶「ギャラリー」**

2 **表示するアルバムをタップ**

3 **を2回タップ**

4 **削除する動画にチェックを入れる**

5 **▶「削除」▶「削除」**

スクリーンショットを撮る

現在表示されている画面を画像として撮影（スクリーンショット）できます。

撮影したスクリーンショットはギャラリーの「Pictures」アルバムで表示できます。

1 **スクリーンショットを撮影する画面で、Ⓘを長押し**

携帯電話オプションメニューが表示されます。

2 **「スクリーンショットを撮る」**

スクリーンショットが撮影され、画面上に保存先を示すメッセージが表示されます。

❖お知らせ

- 撮影完了時の画面で「共有」／「設定」をタップすると、撮影したスクリーンショットをBluetooth®機能やメールで共有（送信）したり、壁紙や連絡先の画像として登録したりできます。

YouTubeを利用する

オンライン動画ストリーミングサービス「YouTube」を利用して、動画の再生や、キーワード入力による動画検索、カテゴリ別表示、撮影した動画のアップロードができます。

1 **ホーム画面で▶「YouTube」**

2 **利用規約を確認して「同意する」**

YouTube画面が表示されます。

3 **再生する動画を選択**

❖お知らせ

- 動画コンテンツのダウンロード・アップロードの際に、パケット通信料がかかる場合があります。
- 動画をアップロードするには、YouTubeへのログインが必要になります。あらかじめYouTubeアカウントを取得してください。
- アップロード中は、ステータスバーに通知アイコンが表示され、通知パネルでアップロードの進捗状況を確認できます。
- YouTubeの詳細については、YouTube画面▶ ▶「設定」▶「ヘルプ」と操作して確認してください。

Bluetooth®

Bluetooth®機能を利用する

Bluetooth®機能によって、Bluetooth®デバイス（ハンズフリーデバイスなど）にワイヤレス接続できます。障害物のない10メートル以内の範囲での使用を推奨します。Bluetooth®デバイスと通信するには、Bluetooth®機能をオンにする必要があります。本機とBluetooth®デバイスのペア設定を行う必要がある場合もあります。

- お買い上げ時は、Bluetooth®機能はオフです。オンにして本機の電源を切ると、Bluetooth®機能もオフになります。電源をもう一度入れると、Bluetooth®機能は自動的にオンになります。
- 使用しない場合は電池の消耗を抑えるためにBluetooth®機能をオフにしてください。また飛行機の中や病院など、無線機器の使用が禁止されている場所では、Bluetooth®機能をオフにしてください。

■ 無線LAN対応機器との電波干渉について

本機のBluetooth®機能と無線LAN対応機器は、同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LAN対応機器の近辺で使用すると電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。

- Bluetooth®対応機器と無線LAN対応機器は、10m以上離してください。
- 10m以内で使用する場合は、Bluetooth®対応機器または無線LAN対応機器の電源を切ってください。

※ すべてのBluetooth®デバイスとのワイヤレス通信を保証するものではありません。Bluetooth DUNには対応しておりません。

■ Bluetooth®機能をオンにして本機を検出可能にする

1 **ホーム画面で ▶「設定」**

2 **「無線とネットワーク」**

3 **「Bluetooth」にチェックを入れる**

がステータスバーに表示され、Bluetooth®機能がオンになります。

4 **「Bluetooth設定」**

5 **「検出可能」にチェックを入れる**

本機が、他のBluetooth®デバイスから120秒間検出可能になります。

本機の名前を入力する

Bluetooth®機能を使用するときに、Bluetooth®デバイスに表示される本機の名前を入力できます。

1 **Bluetooth®機能がオンになっていることを確認**

2 **ホーム画面で ▶「設定」**

3 **「無線とネットワーク」▶「Bluetooth設定」▶「端末名」**

4 **名前を入力**

5 **「OK」**

Bluetooth®デバイスとペア設定する

本機とBluetooth®デバイスのペア設定を行うことによって、本機をBluetooth®ハンズフリーヘッドセットなどに接続し、これらのデバイスを使用して発着信できるようになります。
一度本機とBluetooth®デバイスのペア設定を行うと、ペア設定情報は記憶されます。
本機とBluetooth®デバイスのペア設定を行うときに、パスコード（PIN）の入力を必要とする場合があります。本機は、自動的にパスコード「0000」を試行します。この試行でうまくいかない場合は、Bluetooth®デバイスの取扱説明書をご参照ください。ペア設定を行ったBluetooth®デバイスに次回接続するときは、パスコードを再入力する必要はありません。
2つのBluetooth®ヘッドセットとペア設定するという使いかたはできませんが、同じBluetooth®プロファイルを使用していない状態で、複数のBluetooth®デバイスとペア設定を行うことはできます。
本機では、次のBluetooth®プロファイルがサポートされています。

- Advanced Audio Distribution Profile
- Audio/Video Remote Control Profile
- Handsfree Profile
- Headset Profile
- Object Push Profile
- Phonebook Access Profile

■ 他のBluetooth®デバイスとペア設定する

1 ホーム画面で▦▶「設定」

2 「無線とネットワーク」▶「Bluetooth設定」

3 「端末のスキャン」

検出されたBluetooth®デバイスが、一覧表示されます。

4 本機とペア設定するBluetooth®デバイス名をタップ

5 必要に応じて、パスコード（PIN）を入力

- ペア設定を行ったBluetooth®デバイスを使用できます。ペア設定と接続の状態は、Bluetooth®端末リストのデバイス名の下に表示されます。
- Bluetooth®デバイスによっては、ペア設定完了後、続けて接続まで行うデバイスがあります。

❖お知らせ

- ペア設定を行うデバイス側で、Bluetooth®機能がオンになっていることとBluetooth®検出機能がオンになっていることを確認してください。

■ 他のBluetooth®デバイスと接続する

1 ホーム画面で▦▶「設定」

2 「無線とネットワーク」▶「Bluetooth設定」

3 Bluetooth®端末リストで、接続するBluetooth®デバイス名をロングタッチ

4 「接続」

❖お知らせ

- Bluetooth®ヘッドセットなど一部のBluetooth®デバイスの場合、接続を確立させる前に、他のBluetooth®デバイスとのペア設定と接続が必要になります。

■Bluetooth®デバイスの接続を解除する

1 ホーム画面で▶「設定」

2 「無線とネットワーク」▶「Bluetooth設定」

3 Bluetooth®端末リストで、接続中のBluetooth®デバイス名をロングタッチ

4 「接続を解除」

❖お知らせ

- Bluetooth®デバイスの接続を解除しても、ペア設定は解除されません。ペア設定を解除するには、「切断してペアを解除」をタップしてください。

■Bluetooth®デバイスのペア設定を解除する

1 ホーム画面で▶「設定」

2 「無線とネットワーク」▶「Bluetooth設定」

3 Bluetooth®端末リストで、ペア設定されたBluetooth®デバイス名をロングタッチ

4 「ペアを解除」
- Bluetooth®デバイスが接続中の場合は「切断してペアを解除」をタップします。

Bluetooth®を使用してアイテムを送受信する

携帯電話本体やパソコンなど、他のBluetooth®互換機器とアイテムを共有します。Bluetooth®機能を使用して、次のアイテムを送受信することができます。

- 写真と動画
- 音楽とその他のオーディオファイル
- 電話帳
- ウェブページ

■Bluetooth®を使用してアイテムを送信する

1 受信側のBluetooth®デバイスで、Bluetooth®機能がオンになっていることを確認

2 本機で、送信するアイテムを含むアプリケーションを開き、アイテムを検索▶メニューを表示
- 送信するアプリケーションとアイテムによっては、アイテムをロングタッチしたり、開いたり、をタップしてメニューを表示する必要があります。他にもアイテムを送信する方法があります。

3 送信メニュー項目を選択／「共有」

4 「Bluetooth」

Bluetooth®がオフになっている場合、ダイアログが表示されます。「ONにする」をタップしてください。

5 Bluetooth®端末リストで、受信側のBluetooth®デバイス名をタップ

6 **受信側のBluetooth®デバイスで、ダイアログが表示されたら接続を許可する**

- パスコード入力ダイアログが表示されたら両方の機器に同じパスコードを入力、または推奨されたパスコードを確認します。

7 **アイテムの受信を許可する**

■ Bluetooth®を使用してアイテムを受信する

1 **ホーム画面で▶「設定」**

2 **「無線とネットワーク」**

3 **「Bluetooth」にチェックを入れる**

がステータスバーに表示され、Bluetooth®機能がオンになります。

4 **「Bluetooth設定」**

5 **「検出可能」にチェックを入れる**

本機が、他のBluetooth®デバイスから120秒間検出可能になります。

6 **Bluetooth®を使用してBluetooth®デバイスから本機に複数のアイテムを送信**

- パスコード入力ダイアログが表示されたら両方の機器に同じパスコードを入力、または推奨されたパスコードを確認します。

7 **本機に受信通知されたらステータスバーを下向きにドラッグ▶通知をタップ**

ファイル転送が許可されます。

8 **「承諾」**

ファイル転送が開始されます。

- 転送の進捗を表示するには、ステータスバーを下向きにドラッグします。
- 受信したアイテムをすぐに開くには、ステータスバーを下向きにドラッグして、対応する通知をタップします。

❖お知らせ

- Bluetooth®を使用してアイテムを受信するには、microSDカードを本機に取り付ける必要があります。

ファイル管理

ファイルの操作

本機でのファイル操作は、ファイルを取り扱うアプリケーションにより行います。例えば、microSDカード内に保存されたファイルの削除は、ファイルを扱うミュージックプレーヤーやギャラリーなどの各アプリケーションの削除機能で削除します。
また、各アプリケーションの「共有」機能では、Bluetooth®機能、メールのファイル添付機能などにより対応している他の端末と送受信して、ファイルをやり取りすることができます。
このほかパソコンと接続した状態で、パソコン上にマウントされたmicroSDカード内のファイルを移動、削除できます。PC Companionをインストールして「Media Go」を利用すると、パソコンと本機の間で相互にファイル管理を行うことができます。
PC Companionの「Sync Zone」を利用すると、本機の連絡先、カレンダーをパソコンのOutlookと同期させることができます。

データの転送と移動

画像やミュージックなどのデータは、転送および移動できます。一部の著作権で保護されたデータのやり取りは許可されていない場合もあります。

USBケーブルを使用する

本機とパソコンを付属のUSBケーブルで接続すると、本機のmicroSDカードとパソコンの間で、データをやり取りできるようになります。

■本機とパソコンでデータをコピー／移動する

1 **USBケーブルで本機とパソコンを接続**

ステータスバーに「メディア転送モードで接続しました」と表示されます。

- 本機に「PC Companionソフトウェア」画面が表示された場合は、「スキップ」をタップします。この画面を表示しないようにするには、「今後表示しない」にチェックを入れます。

2 **パソコンの画面の自動再生ウィンドウで「デバイスを開いてファイルを表示する」をクリックし、「Memory Card」をクリックする**

3 **本機とパソコンの間で、選択したデータをコピー／移動**

USB接続モード

本機と他の機器の間でデータをUSBケーブル経由で共有するには、MTP（メディア転送モード）とMSC（ファイル転送モード）を使用します。

- MTP（メディア転送モード）- Windowsとの通信で最も一般的なプロトコルです。お買い上げ時はMTP（メディア転送モード）に設定されています。
- MSC（ファイル転送モード）- TV、自動車キット、MTPをサポートしない機器に本機を接続する場合に最もよく使用する方法です。

ファイル転送モードでパソコンに接続する

■ファイル転送モードを設定する

1 ホーム画面で▶「設定」

2 「Sony Ericsson」▶「接続設定」▶「USB接続モード」

3 「ファイル転送モード(MSC)」

4 「OK」
- 必要に応じて、「MSCで自動接続」にチェックを入れます。

❖お知らせ
- お買い上げ時は「メディア転送モード」に設定されています。

■ファイル転送モードで本機をパソコンに接続する

1 USBケーブルで本機をパソコンに接続

2 ステータスバーを下向きにドラッグ

3 「ファイル転送モードを選択中」▶「本体のメモリーカードに接続」

❖お知らせ
- 「MSCで自動接続」にチェックが入っている場合は、手順1のみで接続完了できます。
- ファイル転送モードで接続を行うと、本機側でmicroSDカードにアクセスできなくなりますので、カメラ、ギャラリー、ミュージックプレーヤーなどの機能やアプリケーションは利用できなくなる場合があります。microSDカードを使用するアプリケーションを起動している場合は、接続前に閉じる必要があります。

■ファイル転送モードでUSBケーブルを取り外す

- データ転送中にUSBケーブルを取り外さないでください。データが破損するおそれがあります。

1 パソコンのハードウェアの安全な取り外し機能を使用し、USBケーブル接続を無効にする

2 本機のステータスバーを下向きにドラッグ

3 「本体のメモリーカードが接続されました」

4 「接続解除」

5 USBケーブルを取り外す

❖お知らせ
- パソコンの操作はオペレーティングシステムにより異なります。詳細は、パソコンの取扱説明書をご参照ください。

Wi-Fiを使用してファイルをメディア転送モードで転送する

Wi-Fiネットワーク上で本機とパソコン※1をペアになるように接続設定すると、本機のユーザーがWi-Fiネットワークエリア内に出たり入ったりする際、本機のmicroSDカードとパソコンが自動的に接続／切断できるようになります。接続したパソコンからmicroSDカード内にあるファイルに簡単にアクセスできるようになります。

※1 パソコンのオペレーティングシステムは、Microsoft Windows 7である必要があります。Microsoft Windows XP、Microsoft Windows Vista、その他のオペレーティングシステムではペア設定できません。

■メディア転送モードで本機とパソコンをペア設定する

1 ペア設定するパソコンを、Wi-Fiネットワークに接続

2 本機のUSB接続モードを「メディア転送モード（MTP）」に設定
- お買い上げ時は「メディア転送モード」に設定されています。

3 本機をWi-Fiネットワークに接続

4 USBケーブルで本機をパソコンに接続

5 パソコンにポータブルデバイスとして本機の名称が表示されていることを確認
- パソコンのスタートメニューから「コンピューター」を開くと確認できます。

6 ポータブルデバイスのアイコンを右クリックし、「ネットワーク構成」をクリックし、「次へ」をクリックする

7 本機で「ペア」

8 パソコンの画面で「完了」をクリックする

9 両方の機器からUSBケーブルを取り外す
- このまま続けて接続を行う場合は、「メディア転送モードでワイヤレス接続する」（P.143）の手順に従って接続します。

■メディア転送モードでワイヤレス接続する

1 本機のUSB接続モードがメディア転送モードになっていることを確認
- お買い上げ時は「メディア転送モード」に設定されています。

2 本機をWi-Fiネットワークに接続

3 ホーム画面で▦▶「設定」

4 「Sony Ericsson」▶「接続設定」

5 「ワイヤレスのメディア転送用に信頼された機器」欄のペア設定済みの機器名をタップ

6 「接続」

Wi-Fiネットワーク上でファイルをやり取りできるようになります。

■メディア転送モードでのワイヤレス接続を切断する

1 ホーム画面で▦▶「設定」

2 「Sony Ericsson」▶「接続設定」

3 「ワイヤレスのメディア転送用に信頼された機器」欄の接続を切断する機器名をタップ

4 「接続解除」

■別の機器とのペア設定を解除する

1 **ホーム画面で▶「設定」**

2 **「Sony Ericsson」▶「接続設定」**

3 **「ワイヤレスのメディア転送用に信頼された機器」欄のペア設定を解除する機器名をタップ**

4 **「除外する」**

PC Companionを利用する

PC Companionを利用すると、パソコンと本機の間で相互にファイル管理を行うことができます。また、本機をアップデートして、最新のソフトウェアを入手することもできます。
PC Companionアプリケーションを使用するには、次のいずれかのオペレーティングシステムが必要です。

- Microsoft Windows 7（32bit版／64bit版）
- Microsoft Windows Vista（32bit版／64bit版）
- Microsoft Windows XP（SP2 32bit版）

PC Companionをインストールするには、USBケーブルを使用して、本機とパソコンを接続する必要があります。

- PC Companionは同梱のmicroSDカードに保存されています。「データを初期化する」（P.160）やmicroSDカードのフォーマット（P.56）によって削除されますのでご注意ください。PC Companionは、http://www.sonyericsson.co.jp/support/からダウンロードして入手することもできます。

■パソコンにPC Companionをインストールする

1 **USBケーブルで本機をパソコンに接続**
本機に「PC Companionソフトウェア」画面が表示されます。

2 **本機で「インストール」**
パソコン上でPC Companionのインストーラが起動します。

3 **パソコンの画面の指示に従ってインストール**

❖お知らせ

- PC Companionのインストーラは、お買い上げ時は有効になっていますが、ホーム画面で▶「設定」▶「Sony Ericsson」▶「接続設定」と操作して「PC Companionのインストール」のチェックを外すと、無効にすることができます。

■PC Companionを起動する

1 **パソコンのスタートメニューをクリックし、「すべてのプログラム」からPC Companionを起動**

Media Goを利用する

Media Goは、本機とパソコンのメディアコンテンツの転送および管理を支援するパソコンのアプリケーションです。
Media Goを利用すると、CDからパソコンに楽曲を取り込み、本機へ転送することができます。
Media Goを使用するには、次のいずれかのオペレーティングシステムが必要です。

- Microsoft Windows 7（32bit版／64bit版）
- Microsoft Windows Vista（SP2以降 32bit版／64bit版）
- Microsoft Windows XP（SP3以降 32bit版）

Media Goと本機の間でファイルを転送するには、まず、本機とパソコンをUSBケーブルで接続し本機をパソコンに接続できるように設定してください。詳細については、「本機とパソコンでデータをコピー／移動する」（P.141）をご参照ください。

■Media Goをインストールする

1 PC Companionを起動

- PC Companionについては「PC Companionを利用する」（P.144）をご参照ください。

2 PC CompanionでMedia Goの「開始」をクリック

Media Goアプリケーションが起動します。

- Media Goがインストールされるまで待機する場合もあります。

3 パソコンの画面の指示に従ってインストール

❖お知らせ

- Media Goをインストールするには、インターネットに接続する必要があります。
- Media Goは、http://www.sonyericsson.co.jp/mediago/からダウンロードして入手することもできます。

■Media Goを使ってデータを転送する

1 本機のUSB接続モードを「メディア転送モード（MTP）」に設定

- お買い上げ時は「メディア転送モード」に設定されています。

2 USBケーブルで本機をパソコンに接続

3 パソコンのスタートメニューからMedia Goを起動し、Media Goを使用して、パソコンと本機の間でファイルをコピー／移動

❖お知らせ

- Media Goの使いかたについては、Media Goのメインメニューにあるヘルプをご参照ください。

Connected devicesでDLNA機器とファイルを共有する

メディアサーバーを利用すると、Wi-Fi機能を利用して、他のクライアント（DLNA：DigitalLiving Network Alliance）機器と本機のメディアファイルを共有できます。あらかじめ他のクライアント機器とWi-Fi接続（P.97）を設定しておきます。

■ Connected devices（メディアサーバー）を設定する

1 ホーム画面で ▶「Connected devices」

ようこそ画面が表示されたら「OK」をタップします。

2 次の項目を設定

項目	説明
S51SE	クライアント機器上で見える本機（サーバー）の名称を変更できます。
コンテンツ共有	チェックを入れて、Wi-Fi設定（P.97）を行います。
アクセス許可待ちの機器	アクセス許可待ちのクライアント機器を管理します。
登録された機器	本機に登録されたクライアント機器を管理します。

位置情報

位置情報サービスについて

現在地の測位には、モバイルネットワークとWi-Fi（無線ネットワーク）またはGPSを使用する2つの方法があります。無線ネットワークでは、スピーディに現在地が測位されますが、誤差が生じる場合があります。GPSを使用すると、多少時間がかかることはありますが、正確な現在地が測位されます。無線ネットワークとGPSの両方を有効にすると、両方のメリットを活かして測位することができます。

- 当社はナビゲーションサービスに限らず、いずれの位置情報サービスの正確性も保証しません。

■ Wi-Fi／モバイルネットワークを有効にする

1 **ホーム画面で▶「設定」**

2 **「現在地情報とセキュリティ」**

3 **「無線ネットワークを使用」にチェックを入れる**

4 **「同意する」▶「同意する」**

■ GPSを有効にする

1 **ホーム画面で▶「設定」**

2 **「現在地情報とセキュリティ」**

3 **「GPS機能を使用」にチェックを入れる**

4 **「同意する」**

GPSを使用する

本機には、衛星信号を使用して現在地を算出するGPS受信機が搭載されています。いくつかのGPS機能は、インターネットを使用します。データの転送には、課金が発生する場合があります。現在地の測位にGPS受信機を必要とする機能を使用するときは、空を広く見渡せることを確認してください。数分経ってもGPS受信機で現在地を測位できない場合は、別の場所に移動する必要があります。測位しやすくするために、動かず、GPSアンテナをおおわないようにしてください。GPS機能を初めて使用するときは、現在地の測位に最大で10分程度かかることがあります。

❖お知らせ

- GPSシステムのご利用には十分注意してください。システムの異常などにより損害が生じた場合、当社では一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本機の故障、誤動作、異常、あるいは停電などの外部要因（電池切れを含む）によって、測位（通信）結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本機は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 高精度の測量用GPSとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 車の日よけに金属が使用されていると、GPSを受信しにくくなることがあります。
- 衛星利用測位（GPS）は、米国防省により構築され運営されています。同省がシステムの精度や維持管理を担当しています。このため、同省が何らかの変更を加えた場合、GPSシステムの精度や機能に影響が出る場合があります。
- ワイヤレス通信製品（携帯電話やデータ検出機など）は、衛星信号を妨害するおそれがあり、信号受信が不安定になることがあります。
- 各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報（緯度経度情報）に基づく地図上の表示が正確でない場合があります。
- 一部、または全部のGPS機能を使用できない場合は、契約内容にインターネットの利用が含まれていることをご確認ください。

■受信しにくい場所

GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、次の条件では、電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。

- 建物の中や直下
- カバンや箱の中
- 密集した樹木の中や下
- 自動車、電車などの室内
- 本機の周囲に障害物（人や物）がある場合
- 地下やトンネル、地中、水中
- ビル街や住宅密集地
- 高圧線の近く
- 大雨、雪などの悪天候

Googleマップを利用する

Googleマップで、現在地の表示、別の場所の検索、および経路の検索を行うことができます。Googleマップを起動すると、近くの基地局からの情報によって、おおよその現在地が表示されます。GPS受信機が現在地を測位すると、現在地はより正確な場所に更新されます。

- Googleマップを利用するには、データ接続可能な状態にあるか、Wi-Fi接続が必要です。
- Googleマップは、すべての国や地域を対象としているわけではありません。

1 ホーム画面で▶「マップ」

マップ画面が表示されます。

❖お知らせ

- 現在地を取得する前に現在地情報の設定を有効にしてください。

■地図上で現在地を検出する

1 マップ画面で をタップ

現在地が地図上で青い矢印の点滅で表示されます。

■ストリートビューを見る

- ストリートビューは、対応していない地域もあります。

1 マップ画面でストリートビューを見る地点をロングタッチ

2 表示された吹き出しをタップ

3 （ストリートビュー）をタップ

■興味のある場所を検索する

1 マップ画面で ▶「検索」

2 検索ボックスに検索する場所を入力

- 住所、都市、ビジネスの種類や施設（例えば、ロンドン　美術館）を入力できます。

3 「実行」／ をタップ

地図上に検索した場所が表示されます。

4 目的の場所をタップ

詳細情報が表示されます。

❖お知らせ

- マップ画面上の（プレイス）を利用すると、現在地や検索した地点を中心にして「レストラン」「カフェ」などのカテゴリを選択して検索し、地図表示できます。検索カテゴリは追加することもできます。ホーム画面で▶「プレイス」と操作しても、プレイスを利用できます。

■地図を拡大／縮小する

1 **をタップ**

■レイヤを変更する

地図に重ねる情報を選択できます。

1 **マップ画面で をタップ**

2 **レイヤの種類を選択**

- 「渋滞状況」と「路線図」は提供地域が限定されています。

項目	説明
渋滞状況	渋滞状況を表示します
航空写真	航空写真を表示します。
地形	地形を表示します。
路線図	路線情報を表示します。
Latitude	Latitudeに参加します。
マイマップ	パソコンで作成したマイマップを閲覧できます。マイマップは本機からは閲覧するだけで作成できません。
ウィキペディア	Ⓦを表示します。 Ⓦをタップするとその場所に関するWikipediaの記事を閲覧できます。

■道案内を取得する

Googleマップを利用して、目的地への詳しい道案内を取得できます。

1 **マップ画面で ▶「経路」**

2 **上の入力欄に出発地を入力▶下の入力欄に到着地を入力**

3 **（車）／（公共交通機関）／（徒歩）をタップ**

4 **「実行」**

経路が表示されます。

- 公共交通機関で検索した場合は、リストの中から好みの経路をタップしてください。
- 車や徒歩で経路検索した場合は、経路が表示されています。をタップすると、経路が地図で表示されます。

❖お知らせ

- 「ナビ」アプリケーションを利用すると、現在地を出発点にした経路検索が簡単にご利用いただけます。

■地図をクリアする

表示されたレイヤや経路検索結果などを削除します。

1 **マップ画面で ▶「地図をクリア」**

- クリアする内容がない場合には「地図をクリア」はタップできません。

■Googleマップのヘルプを利用する

1 **マップ画面で ▶「その他」▶「ヘルプ」**

Google Latitudeで友人の現在地を確認する

Google Latitudeを利用すると、地図上で友人と位置を確認しあったり、ステータスメッセージを共有したりできます。Latitude上では、メッセージ（SMS）やEメールを送ったり、電話をかけたり、友人の現在地への経路を検索したりできます。
位置情報は自動的に共有されません。Latitudeに参加して自分の位置情報を提供する友人を招待するか、友人からの招待を受ける必要があります。

■Latitudeに参加する

1 地図の表示中に［≡］▶「Latitudeに参加」

- 初めてLatitudeに参加するときに、友人とGoogleに現在地の共有を許可するかどうかを確認するメッセージが表示される場合があります。
- 一度Latitudeに参加すると、メニュー項目は「Latitude」に変わります。

■Latitudeを開く

Latitudeに参加すると、画面を開いて友人の現在地や更新情報を確認することができます。

1 地図の表示中に［≡］▶「Latitude」

Latitude画面が表示されます。
- マップ画面に戻るには、［≡］▶「地図を表示」と操作します。

■Latitudeを更新する

1 Latitude画面で［≡］▶「友だちを更新」

■友だちを追加する

1 Latitude画面で［≡］▶「友だちを追加」

2 友だちの追加方法を選択

3 画面の指示に従って操作

❖お知らせ

- Latitudeの詳細については、マップ画面で［≡］▶「その他」▶「ヘルプ」▶「Latitude」と操作し、ヘルプをご覧ください。

Latitudeを設定する

1 Latitude画面で［≡］▶「設定」

2 項目を設定

項目	説明
現在地を検出	現在地が自動的に更新されます。
現在地を設定	地図上の任意の場所を現在地として設定します。
現在地を更新しない	現在地を共有しないように設定します。
ロケーション履歴を有効にする	過去の位置情報を保存します。
Latitudeからログアウト	Latitudeからログアウトします。

セキュリティ

PINコード

EM chipには、PIN／PIN2と呼ばれる2種類の暗証番号があります。大切な暗証番号ですので、他人に知られないように十分ご注意ください。
また、PIN／PIN2の入力を続けて3回間違えた場合は、間違えた方の暗証番号がロックされ、使用できなくなります（PINロック状態）。ロックを解除するには、PINロック解除コード（PUKコード）の入力が必要になります。

PINコード

PINコードとは、第三者による本機、またはEM chipの無断使用を防ぐための4～8桁の暗証番号です。

- お買い上げ時は、「9999」に設定されています。
- PINコードは変更できます（P.152）。
- EM chipを本機に取り付けて電源を入れたときに、PINコードを入力しないと本機を使用できないようにすることができます（P.152）。

PIN2コード

PIN2コードとは、EM chipに記録されている情報を変更する場合などに入力する4～8桁の暗証番号です。

- お買い上げ時は、「9999」に設定されています。

PINロック解除コード（PUKコード）

PINコードの入力を3回続けて間違えると、PINロックが設定されます。PINロック解除コード（PUKコード）を入力すると、PINロックは解除されます。

- PINロック解除コードについては、お問い合わせ先（P.181）までご連絡ください。

❖お知らせ

- PINロック解除コードの入力を10回続けて間違えた場合は、EM chipがロックされ、使用できなくなります（EM chipロック）。EM chipがロックされた場合は、ロックを解除する方法はありませんので、新たなEM chipと交換する必要があります。また、手続きにともない所定の手数料が請求される場合があります。手続きの詳細については、お問い合わせ先（P.181）までご連絡ください。
- 買い増しなどにより、別のイー・モバイル携帯電話やEM chip対応機器にご利用中のEM chipを取り付けてご使用になる場合は、ご利用中のEM chipに設定されているPIN／PIN2が有効となります。

PINコードを設定する

EM chipが不正に使用されることを防ぐため、電源を入れたときなどにPINコードを入力して認証するかどうかを設定できます。設定すると、電源を入れたときなどにPINコードの入力画面が表示されます。

- PINコードの入力を続けて3回間違えた場合は、暗証番号がロックされ使用できなくなります（PINロック状態）ので、設定したPINコードは必ず別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。

■PINコードを有効にする

1 ホーム画面で▶「設定」

2 「現在地情報とセキュリティ」▶「SIMカードロック設定」をタップして、「SIMカードをロック」にチェックを入れる

3 PINコードを入力▶「OK」

❖お知らせ

- PINコードを無効にするには、PINコードが有効な状態で「SIMカードをロック」のチェックを外す▶現在のPINコードを入力▶「OK」と操作します。

■PINコードを変更する

- PINコードを有効にしているときのみ変更できます。

1 ホーム画面で▶「設定」

2 「現在地情報とセキュリティ」▶「SIMカードロック設定」▶「SIM PINの変更」

3 現在のPINコードを入力▶「OK」

4 新しいPINコードを入力▶「OK」

5 もう一度新しいPINコードを入力▶「OK」

■PINロックを解除する

1 PUKコードの入力画面でPUKコードを入力▶「OK」

2 新しいPINコードを入力▶「OK」

3 もう一度新しいPINコードを入力▶「OK」

画面ロックの解除セキュリティを設定する

本機の電源を入れたり、スリープモードから復帰したりするたびにパスワードなどを入力して画面のロック解除が必要になることで、データを保護します（画面ロックの解除セキュリティ）。
画面ロックの解除セキュリティには、「パターン」「PIN」「パスワード」の3種類があります。

- 画面ロックの解除セキュリティを設定していない場合は、キーやタッチスクリーンの誤動作防止を行う画面ロックがかかります（P.26）。

■画面ロックの解除セキュリティをパターンで設定する

1 ホーム画面で▶「設定」

2 「現在地情報とセキュリティ」▶「画面ロックの設定」▶「パターン」

3 「次へ」▶「次へ」▶パターンを入力▶「次へ」

4 もう一度パターンを入力▶「確認」▶「OK」

- 画面の指示に従ってパターンを忘れた場合の秘密の質問および答えを設定してください。

■設定したパターンで画面ロックを解除する

1 **または を押す**

画面が起動します。

2 **を までドラッグ**

3 **パターンを入力**

ホーム画面が表示されます。

❖お知らせ

- パターンを5回続けて間違えると、「パターンが違います」と表示されます。「次へ」▶「質問に回答」▶「次へ」と操作すると、パターン設定時に設定した質問に答えることで画面ロックを解除できます。
- Googleアカウントを登録している場合は、「パターンが違います」画面で「次へ」▶「Googleアカウント情報を入力」▶「次へ」と操作して、Googleアカウントとパスワードを入力して画面ロックを解除することもできます。

■パターンを変更する

1 **ホーム画面で▶「設定」**

2 **「現在地情報とセキュリティ」▶「画面ロックの変更」**

3 **画面の指示に従って入力**

■パターンを無効にする

1 **ホーム画面で▶「設定」**

2 **「現在地情報とセキュリティ」▶「画面ロックの変更」**

3 **パターンを入力**

4 **「なし」**

■画面ロックの解除セキュリティをPIN（数字）で設定する

1 **ホーム画面で▶「設定」**

2 **「現在地情報とセキュリティ」▶「画面ロックの設定」▶「PIN」**

3 **PIN（数字）を入力**

- 画面の指示に従って、4〜16桁の数字を入力します。この「PIN」は、EM chipに設定されるPINコード（P.151）とは別のものです。

4 **「次へ」▶もう一度PIN（数字）を入力▶「OK」**

■PINを無効にする

1 **ホーム画面で▶「設定」**

2 **「現在地情報とセキュリティ」▶「画面ロックの変更」**

3 **PIN（数字）を入力▶「次へ」**

4 **「なし」**

■画面ロックの解除セキュリティをパスワード（英数字）で設定する

1 **ホーム画面で▶「設定」**

2 **「現在地情報とセキュリティ」▶「画面ロックの設定」▶「パスワード」**

3 **パスワード（英数字）を入力**

- 画面の指示に従って、アルファベットを含む4～16文字を入力します。

4 **「次へ」▶もう一度パスワード（英数字）を入力▶「OK」**

■パスワードを無効にする

1 **ホーム画面で▶「設定」**

2 **「現在地情報とセキュリティ」▶「画面ロックの変更」**

3 **パスワード（英数字）を入力▶「次へ」**

4 **「なし」**

ソフトウェア更新

ソフトウェアを更新する

最新のソフトウェアに更新することで、最適なパフォーマンスを実現し、最新の拡張機能を入手することができます。

- パソコンに接続して更新する場合、PC Companionのインストールが必要です。本機とパソコンの接続後はPC Companionの画面の指示に従ってください。

❖お知らせ

- ソフトウェア更新には通信料がかかる場合があります。通信料はご契約内容によって異なります。
- 本機は、ソフトウェアのアップデートや、サーバーとの接続を維持する通信など一部自動的に通信を行う仕様となっております。
- ソフトウェア更新には時間がかかることがあります。
- ソフトウェア更新は、電池パックが十分に充電されているか、本機をACアダプタに接続した状態で実行してください。電池残量が不十分な場合は、更新に失敗したり、更新が開始できなかったりすることがあります。
- ソフトウェア更新中は、電源を切ったり、microSDカードや電池パック、EM chipを取り外したりしないでください。更新に失敗する場合があります。
- ソフトウェア更新は、電波状態の良い環境で、移動せずに実行してください。
- ソフトウェア更新中は、他の機能を操作できません。
- ソフトウェア更新の内容によっては、データの初期化（P.160）が必要になる場合があります。本操作により、初めて電源を入れる前のお買い上げ時の状態にリセットされるため、ダウンロードしたアプリケーションを含む本機内のすべてのデータが削除されます。
- ソフトウェア更新の前には、すべてのデータのバックアップを確実に行ってください。ソフトウェア更新前に本機に登録されたデータはそのまま残りますが、本機の状況（故障、破損、水濡れなど）によってはデータが失われる可能性があります。データ消失に関しては、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 詳細については、http://www.sonyericsson.co.jp/support/をご参照ください。
- ソフトウェア更新に失敗した場合、本機を使用できなくなることがあります。お問い合わせ先（P.181）までご連絡ください。また、失敗した状態によっては修理対応が必要となる場合があります。その際には所定の修理費用が発生する場合がありますのでご了承ください。

ワイヤレスでソフトウェア更新をダウンロードする

■ソフトウェアを手動でダウンロードして更新する

1 **ホーム画面で▦▶「更新センター」**

2 **☰▶「更新」**

3 **画面の指示に従って更新**

■ソフトウェアの自動更新を有効にする

1 **ホーム画面で▦▶「更新センター」**

2 **☰▶「設定」**

3 **「自動更新」にチェックを入れる**

4 **自動更新の方法を選択▶「OK」**

❖お知らせ

- 自動更新機能が設定されると、ステータスバーに更新に関する通知アイコンが表示されるようになります。
- 自動検索するためにパケット通信料が発生する場合がありますのでご注意ください。
- ホーム画面で▦▶「設定」▶「端末情報」▶「ソフトウェア更新」と操作しても更新センターにアクセスできます。

パソコンに接続して更新する

ワイヤレス接続ではダウンロードできない更新の場合は、PC Companionを使ってソフトウェアを更新できます。

- PC Companionのインストール方法は、「PC Companionを利用する」（P.144）をご参照ください。
- パソコンは、インターネットに接続されている必要があります。

1 **パソコン上でPC Companionが起動しているかどうか確認**

- 起動していない場合は、パソコンのスタートメニューをクリックし、「すべてのプログラム」からPC Companionを起動します。

2 **USBケーブルで本機をパソコンに接続**

ソフトウェアの更新がある場合は自動的に通知されます。

- 本機に「PC Companionソフトウェア」画面が表示された場合は、「スキップ」をタップします。この画面を表示しないようにするには、「今後表示しない」にチェックを入れます。

3 **画面の指示に従って操作**

端末設定

設定メニュー項目一覧

ホーム画面で▶「設定」と操作して、本機をカスタマイズできます。

項目		説明
Sony Ericsson	Sony Ericsson 端末用 Facebook	Sony EricssonアプリケーションでFacebook機能を有効にします。
	接続設定	P.142「ファイル転送モードでパソコンに接続する」 P.142「Wi-Fiを使用してファイルをメディア転送モードで転送する」
無線とネットワーク	機内モード	P.54「機内モード」
	Wi-Fi	P.96「Wi-Fiを利用する」
	Wi-Fi設定	
	Bluetooth	P.137「Bluetooth®機能を利用する」
	Bluetooth設定	
	テザリングとPocket WiFi	P.99「テザリング機能を利用する」
	VPN設定	P.101「VPN（仮想プライベートネットワーク）に接続する」
	モバイルネットワーク	P.57「データ通信をオフにする」 P.57「データローミングをオンにする」 P.61「海外で利用する」 P.95「アクセスポイント（APN）を設定する」

項目		説明
通話設定	発信番号制限	本機能はご利用いただけません。
	留守番電話サービス	本機は、本機能の設定にかかわらず「留守番電話」（P.64）をご利用いただけます。
	留守番電話の設定	留守番電話センターの電話番号を表示します。
	着信転送	P.63「転送電話」 P.64「留守番電話」
	通話制限	P.66「通話制限」
	その他の設定	P.65「割込通話」 P.65「発信者番号通知」
	ノイズ抑制	通話中、通話相手が会話の内容を聞き取りやすくなります。
	アカウント	インターネット通話（SIP）アカウントの設定をします。
	通話方法	インターネット通話（SIP）の通話方法を設定します。
音設定	xLOUD™	P.51「スピーカーのオーディオ再生レベルを強調する」
	マナーモード	P.51「マナーモードを設定する」
	バイブレーション	P.53「バイブレータを設定する」
	音量	音量の調節をします。
	着信音	P.52「着信音を設定する」
	通知音	P.53「通知音を選択する」
	タッチ操作音	P.52「タッチ操作時の音をオンにする」
	選択時の操作音	
	画面ロックの音	画面ロック解除時に音を鳴らすかどうかを設定します。
	入力時バイブレーション	P.53「入力時バイブレーションを設定する」

項目		説明
画面設定	モバイルブラビアエンジン	P.130「ブラビアエンジン」
	画面の明るさ	P.53「画面の明るさを調節する」
	画面の自動回転	本機の向きに合わせて縦横表示を切り替えるかどうかを設定します。
	アニメーション表示	画面や項目を表示するときのアニメーション表示を設定します。
	バックライト消灯	P.53「画面のバックライトが消灯するまでの時間を設定する」
	テーマ	P.38「ホーム画面のテーマを変更する」
現在地情報とセキュリティ	無線ネットワークを使用	P.147「位置情報サービスについて」
	GPS機能を使用	
	画面ロックの設定	P.152「画面ロックの解除セキュリティを設定する」
	SIMカードロック設定	P.151「PINコードを設定する」
	パスワードを表示	パスワードの入力画面で、「・」が表示される前に入力した文字を表示するかどうかを設定します。
	デバイス管理者を選択	デバイス管理者を有効にするかどうかを設定します。
	安全な認証情報の使用	安全な証明書とその他の認証情報へのアクセスをアプリケーションに許可します。 • あらかじめ認証情報ストレージのパスワードを設定しておいてください。
	SDカードからインストール	暗号化された証明書をmicroSDカードからインストールします。
	パスワードの設定	認証情報ストレージ(証明書や認証情報を保管)のパスワードを設定したり、変更したりします。
	ストレージの消去	認証情報ストレージ(証明書や認証情報を保管)からすべての証明書や認証情報を削除して、認証情報ストレージのパスワードをリセットします。
アプリケーション	提供元不明のアプリ	P.89「Androidマーケット以外のアプリケーションのインストールを許可する」
	アプリケーションの管理	P.88「アプリケーションを管理する」
	実行中のサービス	現在実行中のサービスを表示／管理します。
	ストレージ使用状況	すべてのアプリケーションの容量や使用状況などを表示します。
	電池使用量	P.54「電池使用量を確認する」
	開発	アプリケーション開発時の設定をします。
アカウントと同期	バックグラウンドデータ	本機にインストールされているすべてのアプリケーションが自動的にデータ通信を行います。
	自動同期を有効にする	P.93「アカウントを同期する」

項目		説明
プライバシー設定	データのバックアップ	チェックを入れると、お買い上げ後にインストールしたアプリケーションの設定やWi-Fiのパスワードなどを Googleサーバーにバックアップします。
	自動復元	チェックを入れると、バックアップ済みの設定やデータなどを、アプリケーションの再インストール時に復元します。
	データの初期化	P.160「データを初期化する」
	設定のリセット	P.160「設定をリセットする」
ストレージ	合計容量	microSDカードの合計容量を表示します。
	空き容量	microSDカードの空き容量を表示します。
	SDカードをマウント／SDカードのマウント解除	P.55「microSDカードを安全に取り外す」
	SDカード内データを消去	P.56「microSDカードをフォーマットする」
	空き容量	本機内の空き容量を表示します。

項目		説明
言語とキーボード	地域／言語を選択	P.54「使用する言語を変更する」
	単語リスト	単語を登録します。
	外国語キーボード	P.44「入力方法の選択」 P.49「文字入力の設定」 P.49「POBox Touchの設定」
	POBox Touch（日本語）	
	中国語キーボード	
音声入出力	音声認識の設定	Google音声検索時に入力する言語の設定や、不適切な検索結果を表示するかどうかの設定などをします。
	テキスト読み上げの設定	テキスト読み上げ機能に対応したアプリケーションなどを利用する際に必要な設定をします。
ユーザー補助	ユーザー補助	ユーザー補助サービスのオン／オフを設定します。
	電源ボタンで通話を終了	⓪を押すことで通話が終了できるように設定します。
日付と時刻	自動	ネットワーク上の日付・時刻情報を使って、自動的に時刻を補正します。
	日付設定	P.51「日付と時刻」
	タイムゾーンの選択	
	時刻設定	
	24時間表示	
	日付形式	

項目		説明
端末情報	ソフトウェア更新	P.155「ソフトウェアを更新する」
	端末の状態	自分の電話番号や電波の状態、電池残量などを確認できます。
	電池使用量	P.54「電池使用量を確認する」
	法的情報	使用許諾条件や利用規約などを確認できます。
	モデル番号、Androidバージョン、ベースバンドバージョン、カーネルバージョン、ビルド番号	バージョンや番号を確認できます。

本機を初期化／リセットする

本機を初期化すると、ダウンロードしたアプリケーションを含むすべてのデータ、およびGoogleアカウントが削除され、初期状態（お買い上げ時の状態）に戻ります。また、リセットを行うと、お客さまのデータは保持したまま本機の設定がお買い上げ時の状態に戻ります。必ず本機の重要なデータをバックアップしてから初期化／リセットしてください。

- 初期化／リセット中や再起動中は、そのままお待ちください。初期化／リセット中や再起動中に電池パックを取り外すと、本機が故障するおそれがあります。

■データを初期化する

1 **ホーム画面で ▶「設定」▶「プライバシー設定」**

2 **「データの初期化」**

3 **「携帯端末をリセット」**

- microSDカード内のデータも削除する場合は、「SDカード内データを消去」にチェックを入れます。microSDカードにあらかじめインストールされているデータも削除されますのでご注意ください。

4 **「すべて削除」**

本機が初期化され、自動的に再起動します。

■設定をリセットする

1 **ホーム画面で ▶「設定」▶「プライバシー設定」**

2 **「設定のリセット」**

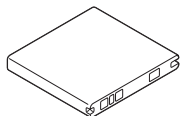
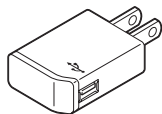
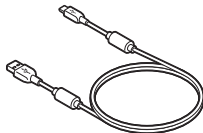
3 **「リセットします」**

4 **「設定のリセット」**

本機がリセットされ、自動的に再起動します。

付録／索引

オプション品について

■ 電池パック（PBS51SEZ10）

■ ACアダプタ（PCS51SEZ10）

《ACアダプタ》

《USBケーブル》

❖お知らせ

- オプション品の詳細については、イー・モバイルのホームページにてご確認ください。

主な仕様

■ 本体

項目		仕様
プラットフォーム		Android™ 2.3
サイズ		約88×52×16mm
質量		約99g（電池パック含む）
ディスプレイ	方式	TFT 16,777,216色
	サイズ	約3inch
	ドット数	320×480ドット
メモリ		ROM　1GB RAM　512MB
外部メモリ※1		microSD　2GBまで microSDHC　32GBまで
ACアダプタでの充電時間		約160分
連続待受時間	3G	約320時間※2
	GSM	約340時間※2
連続通話時間	3G	約270分
	GSM	約270分
カメラ	有効画素数	約500万画素
	デジタルズーム	最大8倍
Bluetooth®	対応バージョン	標準規格Ver.2.1+EDR準拠
	対応プロファイル	A2DP、AVRCP、HFP、HSP、OPP、PBAP
Wi-Fi		IEEE802.11b/g/n準拠 （IEEE802.11n対応周波数帯：2.4GHz）

※1 すべてのmicroSD／microSDHCカードの動作を保証するものではありません。
※2 使用環境や電波状況などにより変動します。

■ファイル形式

次のファイル形式の表示・再生に対応しています。

種類	ファイル形式
音	MP3、3GPP、MP4、AMR、SMF、WAV、OTA、Ogg vorbis
静止画	JPEG、GIF、PNG、BMP、WBMP
動画	3GPP、MP4

静止画は次のファイル形式で保存されます。

種類	ファイル形式
静止画	JPEG

故障と思われる前に

現象	確認すること／対処方法
電源が入らない	• 電池パックは正しく取り付けられていますか？（P.23） • 電池切れになっていませんか？（P.30） • ⓘを長押ししましたか？
電池パックを充電できない	• 付属のACアダプタをご使用の場合、USBケーブルが本機とACアダプタにしっかりと接続されていることを確認してください（P.31）。 • ACアダプタのプラグがしっかりと家庭用コンセントに差し込まれていることを確認してください（P.31）。 • 電池パックは正しく取り付けられていますか？（P.23） • 本機、電池パックおよびACアダプタの端子が汚れていませんか？ 汚れたときは、乾いたきれいな布、綿棒などで拭いてください。 • 使用環境の温度が5℃～35℃の範囲を超えると充電できない可能性があります。 • 電池パックの寿命、または電池パックの異常の可能性があります。新しい電池パックと交換してください。

現象	確認すること／対処方法
電源を入れたときに「SIMカードが挿入されていません」というメッセージが表示される	• EM chipが正しく本機に取り付けられていますか？（P.25） • 指定された正しいEM chipをお使いですか？ • EM chipのIC部分に指紋などの汚れが付いていませんか？ 汚れたときは、乾いたきれいな布で汚れを落として、正しく取り付けてください。
電源を入れた後、通常の操作ができない	• 画面ロックがかかっていませんか？ 画面ロックを解除してください（P.26）。画面が消灯している場合は、ホーム／電源を押して画面を起動させてから画面ロックを解除してください。 • 解除パターン／PIN／パスワードの入力画面が表示されていませんか？ 画面ロックの解除セキュリティが設定されています。パターン／PIN／パスワードを入力して画面ロックを解除してください（P.152）。 • ステータスバーに が表示されていませんか？ 電源を切り、EM chipが正しく取り付けられていることを確認してください（P.25）。
電話がつながらない、またはメールやインターネットが利用できない	• ステータスバーに が表示されていませんか？またはサービスエリア外か電波の届きにくい場所にいませんか？ 電波の届く場所に移動してかけ直してください。 • 電源を切り、EM chipが正しく取り付けられていることを確認してください（P.25）。 • ネットワークに正しく接続されていることを確認してください（P.95、P.157）。 • 機内モードが設定されていませんか？ 機内モードを解除してください（P.54）。
電話がかけられない	• 市外局番を含んだ電話番号全桁を入力してかけていますか？
通話の途中に途切れたり、切れたりする	• ステータスバーに が表示されていませんか？またはサービスエリア外か電波の届きにくい場所にいませんか？ 電波の届く場所に移動してください。
キーやディスプレイに触れても、何も反応しない	• 画面ロックがかかっていませんか？ 画面ロックを解除してください（P.26）。画面が消灯している場合は、ホーム／電源を押して画面を起動させてから画面ロックを解除してください。

現象	確認すること／対処方法
使用できない機能がある	• microSDカードを本機に取り付けていますか？ 電源を切り、microSDカードが正しく取り付けられていることを確認してください（P.25）。 本機にmicroSDカードを取り付けていないと、一部使用できない機能があります。 • ステータスバーにが表示されていませんか？ microSDカードのマウントが解除されています。マウント状態にしてください（P.55）。 • microSDカードのメモリがいっぱいではありませんか？ microSDカードのメモリの空き容量を確認して、いっぱいであれば不要なデータを削除するか、microSDカードを取り替えてください。

現象	確認すること／対処方法
写真、動画、音楽などのファイルが表示されない	• microSDカードを本機に取り付けていますか？ 電源を切り、microSDカードが正しく取り付けられていることを確認してください（P.25）。 • microSDカードにファイルが保存されていますか？ あらかじめパソコンからmicroSDカードにファイルをコピーしてください（P.141）。 • ステータスバーにが表示されていませんか？ microSDカードのマウントが解除されています。マウント状態にしてください（P.55）。
本機／アクセサリーが温かい	• 充電中は本機およびACアダプタが温かくなる可能性がありますが、手で触れることのできる温度であれば異常ではありません。ただし、長時間触れたまま使用していると低温やけどになるおそれがあります。
本機の待受時間および通話／通信時間が短い	• 気温、充電条件、電波の強さ、設定などにより異なりますので、ご確認ください。

こんなときはご使用になれません

が表示されているとき	サービスエリア外か電波が届きにくい場所です。受信電波の強さを示すバーが1本以上表示される場所に移動してください。
画面ロックが設定されているとき	誤動作防止のため画面ロック（P.26）が設定されているか、データ保護のため画面ロックの解除セキュリティ（P.152）が設定されています。画面ロックを解除しないと本機を操作できません。ただし、画面ロック中でもかかってきた電話に出ることはできます。
「機内モード」が設定されているとき	「機内モード」が設定されていると、電波の送受信が制限されます（P.54）。
電池残量がわずかな旨のメッセージ、または電池が空であることを警告するメッセージが表示されたとき	電池残量が不足しているか、なくなっています。電池パックを充電する（P.30）、または充電済みの電池パックと交換してください（P.23）。

保証とアフターサービス

保証について

お買い上げいただくと、保証書が添付されています。保証書に「お買い上げ日」および「販売店」の記載がされているかをご確認の上、内容をよくお読みになって大切に保管してください。「お買い上げ日」や「販売店」の記載がない場合や、納品書または領収書等にて「お買い上げ日」や「販売店」が特定できる書類がない場合、改ざんのある場合には保証対象外となりますのでご注意ください。保証内容については、保証書に記載されています。
また本機の故障、誤動作または不具合などにより、通話などの機会を逸したためにお客さままたは第三者が受けた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

修理について

本書の「故障と思われる前に」をお読みになり、もう一度お調べください（P.162）。それでも正常に戻らない場合には、お問い合わせ先（P.181）までご連絡ください。

- 保証期間中の修理
  保証書の記載内容に基づいて修理致します。
- 保証期間経過後の修理
  修理によって使用できる場合は、お客さまのご要望により有料にて修理致します。

ご注意

- 本機は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 故障または修理により、お客さまが登録・設定した内容が消失・変化する場合がありますので、電話帳など大切なデータは控えを取っておかれることをお勧めします。
- 故障または修理の際に、本機に登録したデータ（電話帳やデータフォルダの内容など）または設定した内容が消失・変化した場合、その損害について当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本機を分解・改造すると電波法に触れることがあります。また、改造された場合は修理をお引き受けできませんので、ご注意ください。
- アフターサービスについてご不明な場合は、お問い合わせ先（P.181）までご連絡ください。

補修用部品について

本機および周辺機器の補修用性能部品の最低保有期間は生産終了後4年間です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

携帯電話機の比吸収率などについて

Mobile Phone GSM/GPRS/EGPRS 850/900/1800/1900&UMTS JP/EU

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種S51SEの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。

この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人体の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）について、これが2W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機構（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じものとなっています。
この携帯電話機S51SEのSARは、0.93W/kgです。
この値は、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。
個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。
総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
一般社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/
イー・モバイルのホームページ
http://emobile.jp/
ソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズ株式会社のホームページ
http://www.sonyericsson.co.jp/product/SAR/
※ 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。

Radio Wave Exposure and Specific Absorption Rate (SAR) Information

■ United States & Canada

THIS PHONE MODEL HAS BEEN CERTIFIED IN COMPLIANCE WITH THE GOVERNMENT'S REQUIREMENTS FOR EXPOSURE TO RADIO WAVES.
The S51SE mobile phones have been designed to comply with applicable safety requirements for exposure to radio waves. Your wireless phone is a radio transmitter and receiver. It is designed to not exceed the limits* of exposure to radio frequency (RF) energy set by governmental authorities. These limits establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by international scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a safety margin designed to assure the safety of all individuals, regardless of age and health.
The radio wave exposure guidelines employ a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). Tests for SAR are conducted using standardized methods with the phone transmitting at its highest certified power level in all used frequency bands. While there may be differences between the SAR levels of various phone models, they are all designed to meet the relevant guidelines for exposure to radio waves. For more information on SAR, please refer to the safe and efficient use chapter in the User Guide.
The highest SAR value as reported to the authorities for this phone model when tested for use by the ear is 0.76 W/kg*, and when worn on the body is 0.57 W/kg* for speech and 1.04 W/kg* for data calls. For body-worn operation, the phone has been tested when positioned a minimum of 15 mm from the body without any metal parts in the vicinity

of the phone or when properly used with an appropriate Sony Ericsson accessory and worn on the body.
For devices which include "WiFi hotspot" functionality, body-worn SAR measurements for operation of the device operating in WiFi hotspot mode were taken using a separation distance of 9mm.
Use of third-party accessories may result in different SAR levels than those reported.
** Before a phone model is available for sale to the public in the US, it must be tested and certified by the Federal Communications Commission (FCC) that it does not exceed the limit established by the government-adopted requirement for safe exposure*. The tests are performed in positions and locations (i.e., by the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model. The FCC has granted an Equipment Authorization for this phone model with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. While there may be differences between the SAR levels of various phones, all mobile phones granted an FCC equipment authorization meet the government requirement for safe exposure. SAR information on this phone model is on file at the FCC and can be found under the Display Grant section of http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/ after searching on FCC ID PY7A3880133. Additional information on SAR can be found on the Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) website at http://www.ctia.org/.

* In the United States and Canada, the SAR limit for mobile phones used by the public is 1.6 watts/kilogram (W/kg) averaged over one gram of tissue. The standard incorporates a margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

** This paragraph is only applicable to authorities and customers in the United States.

■ Europe

This mobile phone model S51SE has been designed to comply with applicable safety requirements for exposure to radio waves. These requirements are based on scientific guidelines that include safety margins designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.
The radio wave exposure guidelines employ a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. Tests for SAR are conducted using standardized methods with the phone transmitting at its highest certified power level in all used frequency bands.
While there may be differences between the SAR levels of various phone models, they are all designed to meet the relevant guidelines for exposure to radio waves.

For more information on SAR, please refer to the safety chapter in the User's Guide.
SAR data information for residents in countries that have adopted the SAR limit recommended by the International Commission of Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP), which is 2 W/kg averaged over ten (10) gram of tissue (for example European Union, Japan, Brazil and New Zealand):
The highest SAR value for this model phone tested by Sony Ericsson for use at the ear is 0.97 W/kg (10g).

Guidelines for Safe and Efficient Use

Please follow these guidelines. Failure to do so might entail a potential health risk or product malfunction. If in doubt as to its proper function, have the product checked by a certified service partner before charging or using it.

■ Recommendations for care and safe use of our products

- Handle with care and keep in a clean and dust-free place.
- **Warning!** May explode if disposed of in fire.
- Do not expose to liquid or moisture or excess humidity.
- For optimum performance, the product should not be operated in temperatures below +5°C(+41°F) or above +35°C(+95°F). Do not expose the battery to temperatures above +60°C(+140°F).

- Do not expose to flames or lit tobacco products.
- Do not drop, throw or try to bend the product.
- Do not paint or attempt to disassemble or modify the product. Only Sony Ericsson authorised personnel should perform service.

- Consult with authorised medical staff and the instructions of the medical device manufacturer before using the product near pacemakers or other medical devices or equipment.
- Discontinue use of electronic devices, or disable the radio transmitting functionality of the device, where required or requested to do so.
- Do not use where a potentially explosive atmosphere exists.
- Do not place the product, or install wireless equipment, in the area above an air bag in a car.
- **Caution:** Cracked or broken displays may create sharp edges or splinters that could be harmful upon contact.

- Do not use the Bluetooth Headset in positions where it is uncomfortable or will be subject to pressure.

■ Children

Warning! Keep out of the reach of children. Do not allow children to play with mobile phones or accessories. They could hurt themselves or others. Products may contain small parts that could become detached and create a choking hazard.

■ Power supply (Charger)

Connect the charger to power sources as marked on the product. Do not use outdoors or in damp areas. Do not alter or subject the cord to damage or stress. Unplug the unit before cleaning it. Never alter the plug. If it does not fit into the outlet, have a proper outlet installed by an electrician. When a power supply is connected there is a small drain of power. To avoid this small energy waste, disconnect the power supply when the product is fully charged. Use of charging devices that are not Sony Ericsson branded may pose increased safety risks.

■ Battery

New or idle batteries can have short-term reduced capacity. Fully charge the battery before initial use. Use for the intended purpose only. Charge the battery in temperatures between +5°C(+41°F) or above +35°C(+95°F). Do not put the battery into your mouth. Do not let the battery contacts touch another metal object. Turn off the product before removing the battery. Performance depends on temperatures, signal strength, usage patterns, features selected and voice or data transmissions. Only Sony Ericsson service partners should remove or replace built-in batteries. Use of batteries that are not Sony Ericsson branded may pose increased safety risks. Replace the battery only with another Sony Ericsson battery that has been qualified with the product per the standard IEEE-1725. Use of an unqualified battery may present

a risk of fire, explosion, leakage or other hazard.

■ Personal medical devices

Mobile phones may affect implanted medical equipment. Reduce risk of interference by keeping a minimum distance of 22 cm(8.7 inches) between the phone and the device. Use the phone at your right ear. Do not carry the phone in your breast pocket. Turn off the phone if you suspect interference. For all medical devices, consult a physician and the manufacturer.

■ Driving

Some vehicle manufacturers forbid the use of phones in their vehicles unless a handsfree kit with an external antenna supports the installation. Check with the vehicle manufacturer's representative to be sure that the mobile phone or Bluetooth handsfree will not affect the electronic systems in the vehicle. Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.

■ GPS/Location based functions

Some products provide GPS/Location based functions. Location determining functionality is provided "As is" and "With all faults". Sony Ericsson does not make any representation or warranty as to the accuracy of such location information.

Use of location-based information by the device may not be uninterrupted or error free and may additionally be dependent on network service availability. Please note that functionality may be reduced or prevented in certain environments such as building interiors or areas adjacent to buildings.

Caution: Do not use GPS functionality in a manner which causes distraction from driving.

■ Emergency calls

Calls cannot be guaranteed under all conditions. Never rely solely upon mobile phones for essential communication. Calls may not be possible in all areas, on all networks, or when certain network services and/or phone features are used.

■ Antenna

Use of antenna devices not marketed by Sony Ericsson could damage the phone, reduce performance, and produce SAR levels above the established limits. Do not cover the antenna with your hand as this affects call quality, power levels and can shorten talk and standby times.

■ Radio Frequency (RF) exposure and Specific Absorption Rate (SAR)

When the phone or Bluetooth handsfree is turned on, it emits low levels of radio frequency energy. International safety guidelines have been developed through periodic and thorough evaluation of scientific studies. These guidelines establish permitted levels of radio wave exposure. The guidelines include a safety margin designed to assure the safety of all persons and to account for any variations in measurements.

Specific Absorption Rate (SAR) is used to measure radio frequency energy absorbed by the body when using a mobile phone. The SAR value is determined at the highest certified power level in laboratory conditions, but because the phone is designed to use the minimum power necessary to access the chosen network, the actual SAR level can be well below this value. There is no proof of difference in safety based on difference in SAR value.

Products with radio transmitters sold in the US must be certified by the Federal Communications Commission (FCC). When required, tests are performed when the phone is placed at the ear and when worn on the body. For body-worn operation, the phone has been tested when

positioned a minimum of 15 mm from the body without any metal parts in the vicinity of the phone or when properly used with an appropriate Sony Ericsson accessory and worn on the body.

For more information about SAR and radio frequency exposure, go to: *http://www.sonyericsson.co.jp/product/SAR/*.

■ Flight mode

Bluetooth and WLAN functionality, if available in the device, can be enabled in Flight mode but may be prohibited onboard aircraft or in other areas where radio transmissions are prohibited. In such environments, please seek proper authorisation before enabling Bluetooth or WLAN functionality even in Flight mode.

■ Malware

Malware (short for malicious software) is software that can harm the mobile phone or other computers. Malware or harmful applications can include viruses, worms, spyware, and other unwanted programs. While the device does employ security measures to resist such efforts, Sony Ericsson does not warrant or represent that the device will be impervious to the introduction of malware. You can however reduce the risk of malware attacks by using care when downloading content or accepting applications, refraining from opening or responding to messages from unknown sources, using trustworthy services to access the Internet, and only downloading content to the mobile phone from known, reliable sources.

■ Accessories

Use only Sony Ericsson branded original accessories and certified service partners. Sony Ericsson does not test third-party accessories. Accessories may influence RF exposure, radio performance, loudness, electric safety and other areas. Third-party accessories and parts may pose a risk to your health or safety or decrease performance.

■ Disposal of old electrical and electronic equipment

Electronic equipment and batteries should not be included as household waste but should be left at an appropriate collection point for recycling. This helps prevent potential negative consequences for the environment and human health. Check local regulations by contacting your local city office, your household waste disposal service, the shop where you purchased the product or calling a Sony Ericsson Contact Center. Do not attempt to remove internal batteries. Internal batteries shall be removed only by a waste treatment facility or trained service professional.

■ Disposing of the battery

Check local regulations or call a Sony Ericsson Contact Center for information. Never use municipal waste.

■ Memory card

If the product comes complete with a removable memory card, it is generally compatible with the handset purchased but may not be compatible with other devices or the capabilities of their memory cards. Check other devices for compatibility before purchase or use. If the product is equipped with a memory card reader, check memory card compatibility before purchase or use.

Memory cards are generally formatted prior to shipping. To reformat the memory card, use a compatible device. Do not use the standard operating system format when formatting the memory card on a PC. For details, refer to the operating instructions of the device or contact customer support.

Warning!

If the device requires an adapter for insertion into the handset or another device, do not insert the card directly without the required adapter.

Precautions on memory card use

- Do not expose the memory card to moisture.
- Do not touch terminal connections with your hand or any metal object.
- Do not strike, bend, or drop the memory card.
- Do not attempt to disassemble or modify the memory card.
- Do not use or store the memory card in humid or corrosive locations or in excessive heat such as a closed car in summer, in direct sunlight or near a heater, etc.
- Do not press or bend the end of the memory card adapter with excessive force.
- Do not let dirt, dust, or foreign objects get into the insert port of any memory card adapter.
- Check you have inserted the memory card correctly.
- Insert the memory card as far as it will go into any memory card adapter needed. The memory card may not operate properly unless fully inserted.
- We recommend that you make a backup copy of important data. We are not responsible for any loss or damage to content you store on the memory card.
- Recorded data may be damaged or lost when you remove the memory card or memory card adapter, turn off the power while formatting, reading or writing data, or use the memory card in locations subject to static electricity or high electrical field emissions.

Protection of personal information

Erase personal data before disposing of the product. To delete data, perform a master reset. Deleting data from the phone memory does not ensure that it cannot be recovered. Sony Ericsson does not warrant against recovery of information and does not assume responsibility for disclosure of any information even after a master reset.

Loudness warning!

Avoid volume levels that may be harmful to your hearing.

FCC Statement for the USA

This device complies with Part 15 of the FCC rules.
Operation is subject to the following two conditions:

(1) This device may not cause harmful interference, and

(2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Any change or modification not expressly approved by Sony Ericsson may void the user's authority to operate the equipment.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation.

If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Industry Canada Statement

This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.
Cet appareil numérique de la classe B est conforme á la norme NMB-003 du Canada.
This device complies with RSS-210 of Industry Canada.
Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause interference, and (2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

Declaration of Conformity for S51SE

We, **Sony Ericsson Mobile Communications AB** of Nya Vattentornet
SE-221 88 Lund, Sweden
declare under our sole responsibility that our product
Sony Ericsson type AAD-3880133-BV and in combination with our accessories, to which this declaration relates is in conformity with the appropriate standards EN 301 511:V9.0.2, EN 301 908-1:V4.2.1, EN 301 908-2:V4.2.1, EN 300 328:V1.7.1, EN 300 440-2:V1.4.1, EN 301 489-7:V1.3.1, EN 301 489-17:V2.1.1, EN 301 489-24:V1.5.1, EN 301 489-3:V1.4.1 and EN 60 950-1:2006+A11:2009+A1:2010 following the provisions of, Radio Equipment and Telecommunication Terminal Equipment directive **1999/5/EC**.

CE 0682 ⓘ

Lund, September 2011

Pär Thuresson,
Corporate Vice President, Head of Development
われわれはR&TTE指令の要求事項を満たしています（1999/5/EC）
We fulfill the requirements of the R&TTE Directive (1999/5/EC).

End User Licence Agreement／エンドユーザーライセンス契約

End User Licence Agreement

Software delivered with this device and its media is owned by Sony Ericsson Mobile Communications AB, and/or its affiliated companies and its suppliers and licensors.
Sony Ericsson grants you a non-exclusive limited licence to use the Software solely in conjunction with the Device on which it is installed or delivered. Ownership of the Software is not sold, transferred or otherwise conveyed.
Do not use any means to discover the source code or any component of the Software, reproduce and distribute the Software, or modify the Software. You are entitled to transfer rights and obligations to the Software to a third party, solely together with the Device with which you received the Software, provided the third party agrees in writing to be bound by the terms of this Licence.
This licence exists throughout the useful life of this Device. It can be terminated by transferring your rights to the Device to a third party in writing.
Failure to comply with any of these terms and conditions will terminate the licence immediately.
Sony Ericsson and its third party suppliers and licensors retain all rights, title and interest in and to the Software. To the extent that the Software contains material or code of a third party, such third parties shall be beneficiaries of these terms.
This licence is governed by the laws of Sweden. When applicable, the foregoing applies to statutory consumer rights.
In the event Software accompanying or provided in conjunction with your device is provided with additional terms and conditions, such provisions shall also govern your possession and usage of the Software.

エンドユーザーライセンス契約

本製品及び付属のメディアに含まれるソフトウェア（以下「本ソフトウェア」という）は、Sony Ericsson Mobile Communications AB（以下「ソニー・エリクソン」という）及び／又はその子会社、サプライヤー、ライセンサーがその権利を有するものとします。
ソニー・エリクソンは、お客様に対し、本ソフトウェアについて、本製品と共に使用する場合に限り、非独占、限定的なライセンス（以下「本ライセンス」という）を許諾します。
本ソフトウェアの権利は、何ら販売、移転、その他の方法で譲渡されるものではありません。
お客様は、いかなる手段を用いても、本ソフトウェアのソースコード及びコンポーネントを解読してはならず、また、本ソフトウェアを複製、頒布、修正することは出来ません。
お客様が本ソフトウェアについての権利及び義務を第三者に譲渡出来るのは、本ソフトウェアを本製品と共に第三者に譲渡し、かつ、当該第三者が、本ライセンスの条件を遵守することにつき書面をもって合意した場合に限られます。
本ライセンスは、お客様の本製品使用期間中、有効に存続します。
本ライセンスは、お客様の権利を本製品と共に第三者に書面により譲渡することによって終了することが出来ます。
お客様が、本契約のいずれかの条項に違反した場合、本ライセンスは直ちに取り消されます。
本ソフトウェアに関する全ての権利、権原、権益は、ソニー・エリクソン、サプライヤー、及びライセンサーに帰属するものとします。
本ソフトウェアに、サプライヤー又はライセンサーが権利を有する素材又はコードが含まれている場合は、その限りにおいて、かかるサプ

ライヤー又はライセンサーは本契約における受益者となるものとします。
本契約の準拠法は、スウェーデン法とします。
上記準拠法は、適用可能な場合には、消費者の法定の権利にも適用されるものとします。
本ソフトウェアにつき追加的な条件が付された場合は、かかる条件は、本契約の各条項に加えて、お客様の本ソフトウェアの保有及び使用について適用されるものとします。

About Open Source Software／オープンソースソフトウェアについて

About Open Source Software

This product includes certain open source or other software originating from third parties that is subject to the GNU General Public License (GPL), GNU Library/Lesser General Public License (LGPL) and different and/or additional copyright licenses, disclaimers and notices. The exact terms of GPL, LGPL and some other licenses, disclaimers and notices are reproduced in the about box in this product and are also available at http://opensource.sonyericsson.com.

Sony Ericsson offers to provide source code of software licensed under the GPL or LGPL or some other open source licenses allowing source code distribution to you on a CD-ROM for a charge covering the cost of performing such distribution, such as the cost of media, shipping and handling, upon written request to Sony Ericsson Mobile Communications AB, Open Source Software Management, Nya Vattentornet, SE-221 88 Lund, Sweden. This offer is valid for a period of three (3) years from the date of the distribution of this product by Sony Ericsson.

オープンソースソフトウェアについて

本製品は、オープンソースソフトウェアまたはその他のGNU General Public License (GPL)、GNU Library/Lesser General Public License (LGPL)及び/またはその他の著作権ライセンス、免責条項、ライセンス通知の適用を受ける第三者のソフトウェアを含みます。GPL、LGPL及びその他のライセンス、免責条項及びライセンス通知の具体的な条件については、本製品の「端末情報」から参照いただけるほか、http://opensource.sonyericsson.comでも参照いただけます。

ソニー・エリクソンは、Sony Ericsson Mobile Communications AB, Open Source Software Management, Nya Vattentornet, SE-221 88 Lund, Sweden宛の書面による要求があった場合、GPL、LGPL又はその他のソースコードの配布を要求しているオープンソースライセンスのもとでライセンスされているソフトウェアのソースコードにつき、配布のために必要な費用(メディア費用、物流費用、取扱い費用等)を負担いただくことを条件に、CD-ROMにて配布をいたします。
上記のソースコードの提供の申し出は、本製品がソニー・エリクソンにより販売されてから3年間有効なものとします。

索引

英数字

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

携帯電話・PHS端末のリサイクルについて

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するために、お客さまが不要となってお持ちになる電話機端末・電池・充電器を、ブランド・メーカー問わず下記マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

- 回収した電話機端末・電池・充電器はリサイクルするためご返却できません。
- プライバシー保護のため、電話機端末に記憶されているお客さまの情報（連絡先、通信履歴、メールなど）は事前に消去してください。

お問い合わせ先

お困りのときや、ご不明な点などがございましたら、お気軽に下記お問い合わせ窓口までご連絡ください。
電話番号はお間違いのないようおかけください。

イー・モバイル カスタマーセンター

イー・モバイル携帯電話から：157（無料）
一般電話から：0120-736-157（無料）

※ 他社の携帯電話、PHSからもご利用いただけます。
※ 間違い電話が多くなっております。
　番号をよくお確かめの上、おかけください。
※ 一部の光電話、IP電話等からはご利用いただけない
　場合があります。

海外から：+81-3-6831-3333（有料）
受付時間　9：00～21：00（日本時間／年中無休）

ホームページ　http://emobile.jp/